



設置説明書

ネットワーク CM・BGM プレーヤー

NA-3000
(Ver. 3)

このたびは、TOA ネットワーク CM・BGM プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの設置説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	5
第 1 章 概 要	
概 要	1-2
特 長	1-2
使用上のご注意	1-2
メモリーカードの取り扱い	1-3
使用できるメモリーカード	1-3
メモリーカード取扱上のご注意	1-3
メモリーカードの取り付け・取り外し	1-3
各部の名称とはたらき	1-4
前面	1-4
後面	1-5
メニューの階層	1-7
第 2 章 ブラウザーでの設定	
パソコンのネットワーク設定をする	2-2
機器設定画面を表示する	2-5
機器設定	2-6
機器設定の手順	2-6
ネットワーク	2-6
外部サーバー	2-8
通信	2-10
放送	2-13
運用管理	2-17
メンテナンス	2-23
メンテナンス	2-23
名称設定	2-27
第 3 章 操作・設定	
お使いになる前に	3-2
運用画面	3-3
運用画面とは	3-3
スケジュール情報表示画面	3-3
コンテンツ情報表示画面	3-4
通信状況表示画面（通信中のみ）	3-4

放送内容を更新（サーバーリクエスト）するには	3-5
サーバーリクエストとは.....	3-5
手動でサーバーリクエストをする場合	3-5
通信を途中で停止する場合	3-6
放送音量を調節するには	3-7
ライン出力音量（放送する音量）を調節するとき	3-7
モニタースピーカーの音量を調節するとき	3-7
メニュー画面（各種設定と操作）	3-8
メニュー画面を表示させる	3-8
メニュー画面で使用するキー	3-8
音量を設定する（メニュー画面での設定）	3-9
設定項目	3-9
設定のしかた	3-9
本体放送および外部入力放送の設定音量とミックスレベル	3-11
ダイレクト再生をする（メニュー画面での操作）	3-13
ダイレクト再生とは	3-13
ダイレクト再生をする	3-13
ダイレクト再生を停止するとき	3-14
スケジュールを変更する（メニュー画面での操作）	3-14
スケジュールの変更とは	3-14
スケジュールを変更する	3-15
スケジュールを通常運用に戻すとき	3-16
日時設定のしかた（メニュー画面での設定）	3-17
日時を設定するとき	3-17
時刻だけを設定するとき	3-19
動作確認のために時刻設定をするとき	3-20
エラー確認のしかた（メニュー画面での操作）	3-21
シャットダウンをする（メニュー画面での操作）	3-22
シャットダウンとは	3-22
シャットダウンをする	3-22
システム停止状態から復帰させるとき	3-23
第 4 章 メンテナンス	
メンテナンスメニュー画面	4-2
メンテナンスメニュー画面を表示させる	4-2
メンテナンスメニュー画面で使用するキー	4-3
機器情報を確認する	4-3
機器情報表示	4-4
LAN 設定表示	4-5
IP 再取得	4-6

動作ログ取得	4-7
内部時計補正	4-8
機器設定を変更する	4-14
通信設定	4-15
画面設定	4-18
詳細エラーを確認する	4-19
保守管理を行う	4-20
設定保存	4-22
設定読み込み	4-23
設定初期化	4-24
アクセス設定	4-25
データ転送	4-26
接続確認	4-27
ファームウェアの更新	4-29

第5章 設置・接続

接続のしかた	5-2
電源の接続	5-2
LAN の接続	5-3
外部機器の接続	5-3
機能アースの接続	5-3
制御入力端子の接続	5-4
制御出力端子の接続	5-5
着脱式ターミナルプラグの接続のしかた	5-7
設置のしかた	5-8
ラックマウントのしかた	5-8
卓上設置のしかた	5-8

第6章 資 料

サンプル音源の再生	6-2
エラーコード	6-3
外部サーバー接続確認エラー一覧	6-4
故障かな？と思ったら	6-5
仕 様	6-6
付属品	6-6
別売品	6-6

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
				
分解禁止	禁 止	接触禁止	強 制	電源プラグを抜く



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

屋外で使用しない

本機は、屋内専用品です。
屋外で使用する雨などがかかると、感電の原因となります。



禁 止

組み合わせは指定のものを使用する

ラックマウント金具は指定のものを使用してください。
指定以外の組み合わせで使用すると、落下して、けがの原因となります。



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を止めて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



強制

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機のメモリーカードスロットなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない（AC アダプター使用時）

雷が鳴り出したら、AC アダプターの電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグをさわらない

（AC アダプター使用時）

ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない（AC アダプター使用時）

AC アダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは AC アダプターの電源プラグを抜く

（AC アダプター使用時）

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- 電源コードをコンセントに接続するときは、コンセントの許容電流を超えないこと。
- ラックマウント金具に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。



強 制

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強 制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁 止

AC アダプターは指定のものを使用する(AC アダプター使用時)

指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



強 制

AC アダプターの電源プラグやコンセント部の掃除をする (AC アダプター使用時)

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。

また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強 制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源ケーブルを本機から抜いてください。

守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け

本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し、接続してください。

第 1 章

概 要

概要

本機は、業務用の CM・BGM プレーヤーです。

あらかじめ設定されたスケジュールに従って CM・BGM データを再生することができます。

また、別途サービス*をご契約いただくことで、インターネット経由でのスケジュールの更新、CM・BGM データの配信などを利用することができます。

* サービスのご契約については最寄りの営業所またはコンテンツパートナーにお問い合わせください。最寄りの営業所、コンテンツパートナーについては、TOA ホームページ (<https://www.toa.co.jp/>) でご確認ください。

※ 以下、CM・BGM データを「コンテンツ」と呼びます。

特長

- インターネットに接続することで、最新のスケジュールやコンテンツをダウンロードします。(ただし、別途サービス契約が必要です。)
- インターネットへの接続は、LAN を使用することで高速通信が可能になります。
また、ファームウェアが Ver. 3 より前の場合*¹ は、シリアル (RS-232) 接続の外付けモデム (市販品) を使用して電話回線でインターネットへ接続することもできます。
- コンテンツは不揮発性のメモリーカードに記憶されるので、劣化することなくクリアな音楽を放送できます。
- メモリーカードには、サンプル音源として 10 曲をプリインストールしています。
ダイレクト再生機能により、初期設定なしで使用することができます (▶ P.6-2 「サンプル音源の再生」)
- オフィスや工場を想定したアナウンス CM、サイン音楽、チャイム音、簡易 BGM が収録された TOA の標準コンテンツ集 (TOA サウンドパッケージ)*² を音源として使用することができます。

*¹ ファームウェアバージョンの確認方法については、P.4-3 「機器情報を確認する」をお読みください。

*² 別途ご購入いただく必要があります。最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

使用上のご注意

- 運用中は、メモリーカードを抜かないでください。抜いてしまった場合は、メモリーカードが破損したり本機が故障してしまう可能性があります。
- フロントカバーは、誤操作や故障の防止のために、取り付けて運用してください。
- 本機および AC アダプター (別売品) は、ラジオやワイヤレスチューナーなどの機器からできるだけ離して使用してください。受信障害を引き起こすことがあります。
- インターネットを使用する設定になっている場合、本機は定期的にインターネットを使用して通信を行います。
音楽を再生していないときでも、ケーブルを抜いたり、接続したネットワーク機器の電源を切ったりしないで、24 時間いつでもインターネットへの通信ができるようにしておいてください。
- AC アダプターを安心してご使用いただくためには、点検、交換が必要です。
通常の使用状態で 24 時間連続使用すると、約 5 年が交換の目安となります。
ただし、設置環境と使用状況によっては、これより短時間で寿命となる場合もあります。
- メモリーカードにダウンロードしたコンテンツとサンプル音源は、本機でのみ使用可能です。複製または他の機器で転用する際には著作権者の許諾を得る必要があります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。

メモリーカードの取り扱い

■ 使用できるメモリーカード

本機で使用できるのは、付属のメモリーカードまたは別売のメモリーカード NA-CF32G のみです。
これ以外のカードを使用した場合、動作の保証はできません。
インターネット CM・BGM プレーヤー NA-2100B のメモリーカードは使用できません。

■ メモリーカード取扱上のご注意

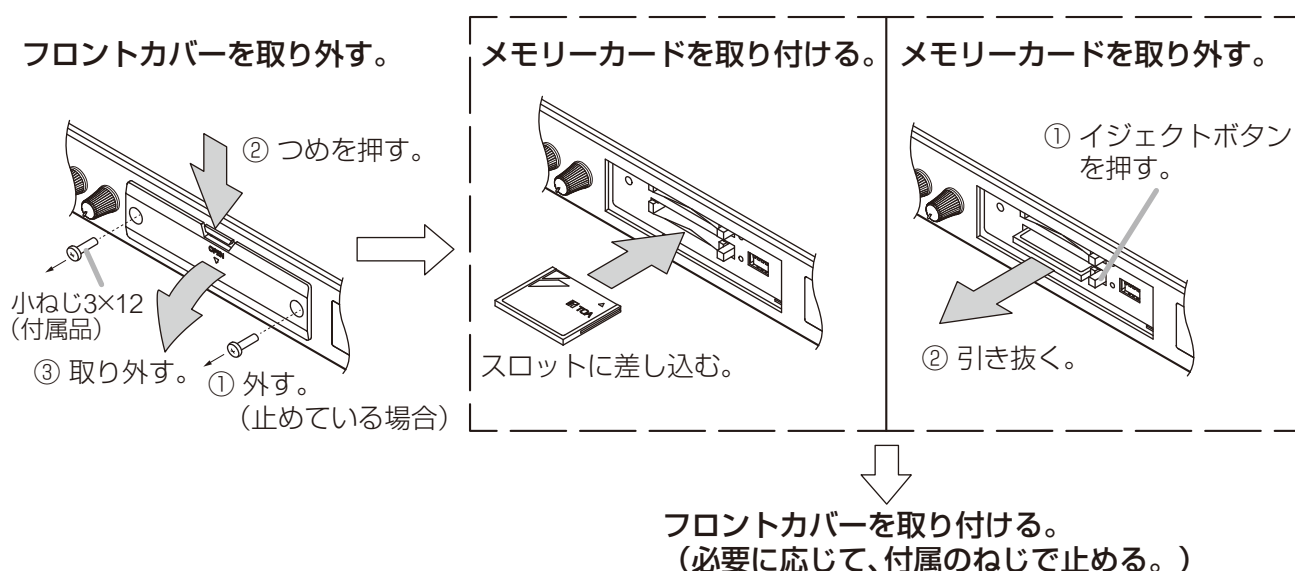
- メモリーカードの端子部を手で触れないでください。静電気により、データ破損の原因となることがあります。
- コネクタ部にちり、ほこりなど異物が入らないようにしてください。
接触不良の原因となります。
- ラジオ、テレビ、オーディオ機器の近くやモーターなどノイズを発生する機器の近くでは使用しないでください。
誤動作することがあります。
- 以下の場所では保管しないでください。
 - ・高温多湿の場所 ・ちりやほこりの多い場所
 - ・温度差の激しい場所 ・振動や衝撃の加わる場所
- データの書き込みまたは読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、カードスロットから取り出したりしないでください。また、カードをデジタルカメラなどで使用しないでください。
データの破壊や消失の恐れがあります。

■ メモリーカードの取り付け・取り外し

メモリーカードの抜き差しは、本機をシステム停止状態にし（ P. 3-22）、フロントカバーを取り外してから行います。

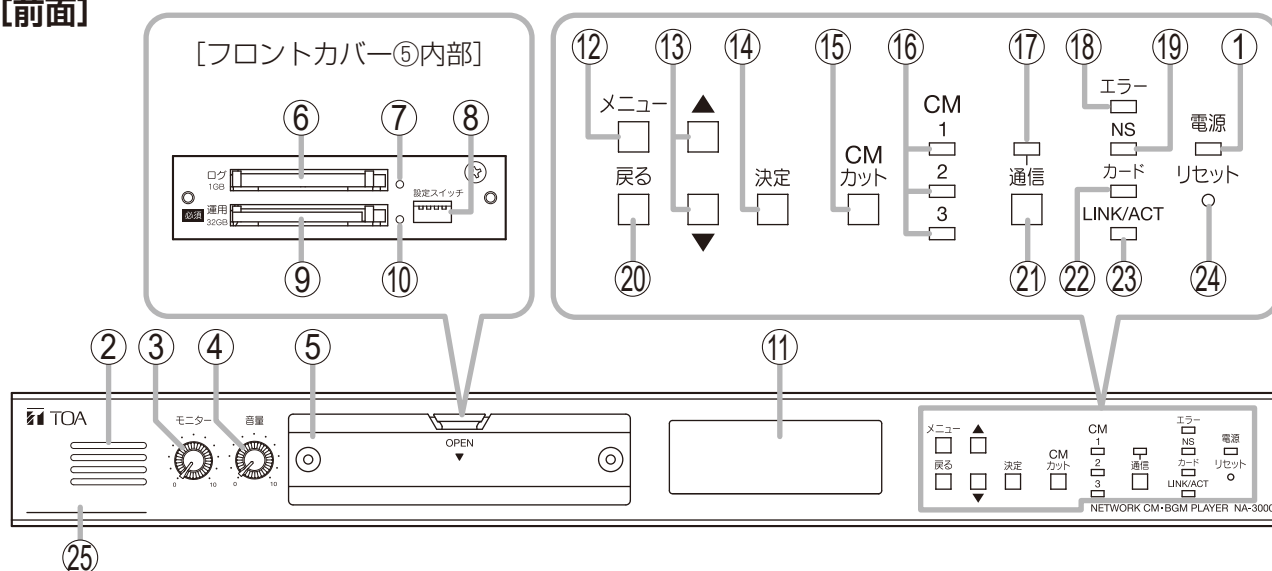
ご注意

本機の運用中または動作中にメモリーカードの抜き差しをすると、カードのデータが失われることがあります。



各部の名称とはたらき

【前面】



1. 電源表示灯

機器に電源を投入すると緑色に点灯します。シャットダウン操作（[P. 3-22](#)）をすると橙色に変わり、電源を停止できる状態になります。電源の供給が停止すると消灯します。

2. モニタースピーカー

出力：0.2 W

放送中の音声を確認するときを使用します。ライン出力端子（39）と同じ音声を出力します。

3. モニタースピーカー出力音量調節つまみ

モニタースピーカー（2）から出力される音声の音量を調節します。ライン出力端子（39）から出力される音声の音量には影響しません。

4. 音量調節つまみ

ライン出力端子（39）から出力される音声の音量を調節します。モニタースピーカー（2）から出力される音声の音量には影響しません。

5. フロントカバー

誤操作防止のカバーです。

× モ

必要に応じてカバー両側を付属のねじで固定します。

6. ログメモリーカードスロット

使用しません。

7. ログメモリーカードアクセス表示灯（緑）

使用しません。

8. 機器設定用 DIP スイッチ

機器の各種機能を設定するときを使用します。

9. 運用メモリーカードスロット

付属のメモリーカードまたは別売のメモリーカード NA-CF32G を挿入します。

10. 運用メモリーカードアクセス表示灯（緑）

運用メモリーカードにアクセスしているときに点灯または点滅します。

11. 表示部

各種情報と操作メニューを表示します。

× モ

5分以上何も操作しないと、表示部のバックライトが消灯します。

バックライトが消灯しているときは、一度いずれかのキーを押して点灯させてから、希望のキー操作をしてください。

12. メニューキー

表示部（11）にメニュー画面を表示させるときに使用します。

13. 上下キー

メニュー画面で、項目の選択に使用します。

14. 決定キー

メニュー画面で、画面切り換えや操作などの確定に使用します。

15. CM カットキー

使用しません。

16. CM 表示灯

使用しません。

17. 通信表示灯

機器が通信しているときに緑色に点灯します。
通信に異常が発生したときは橙色に点滅します。

18. エラー表示灯 (赤)

機器に通信以外の異常が発生したときに点滅または点灯します。

19. 運用モード表示灯 (緑)

使用しません。

20. 戻るキー

メニュー画面で、画面切り換えや操作などの取り消しに使用します。

21. 通信キー

通信を開始または停止させるときに使用します。

22. カードアクセス表示灯 (緑)

運用メモリーカードにアクセスしているときに点灯または点滅します。

23. LINK/ACT 表示灯 (緑)

本機をネットワークに接続すると点灯し、データ送受信中は点滅します。

× モ

後面の LAN 端子 (27) の LINK/ACT 表示灯と同期して点灯または点滅します。

24. 本体リセットキー

機器が操作できなくなったときに使用します。2秒以上押しとシステムを再起動します。

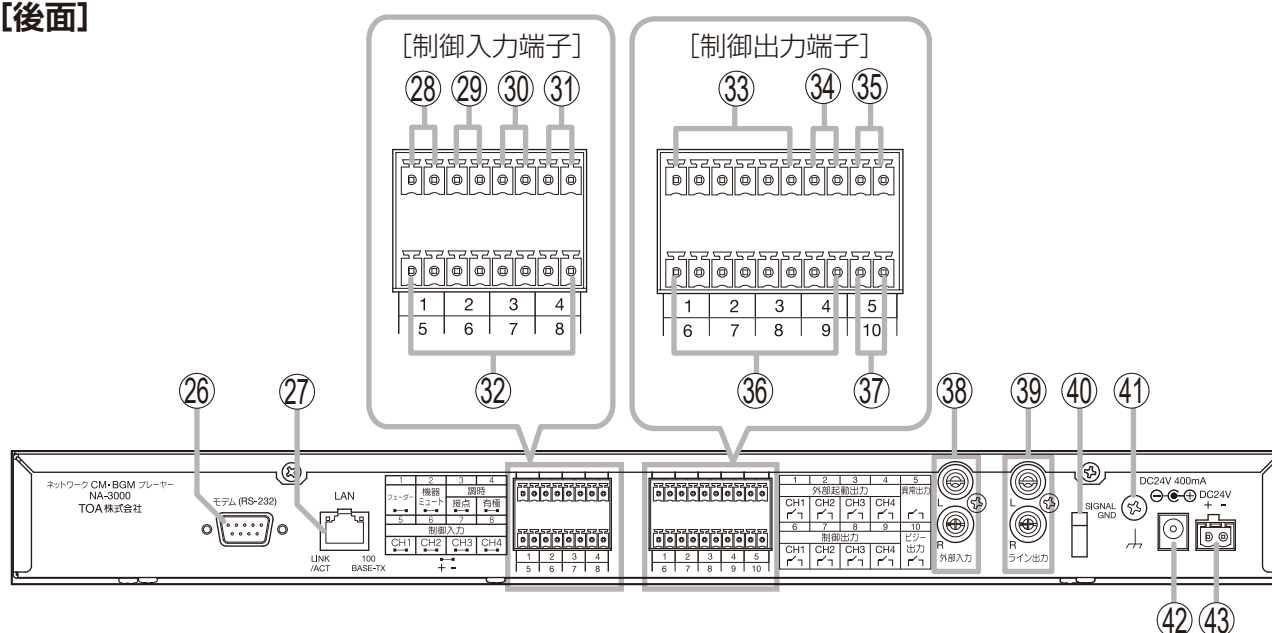
ご注意

カードアクセス表示灯 (22) が点灯または点滅しているときはリセットしないでください。

25. MAC アドレス

本機の MAC アドレス*です。

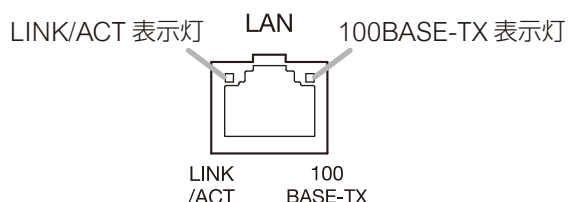
* ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12 桁の 16 進法で表現されます。

【後面】**26. モデム接続端子 (RS-232)**

使用しません。

27. LAN 端子

100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。(イーサネット RJ-45 ジャック)

**・ LINK/ACT 表示灯 (緑)**

本機をネットワークに接続すると点灯し、データ送受信中は点滅します。

× モ

前面の LINK/ACT 表示灯 (23) と同期して点灯または点滅します。

・ 100BASE-TX 表示灯 (橙)

ネットワーク接続時に点灯します。

28. フェーダー入力端子

本体放送と外部入力放送のうち、優先度の低い放送を強制的にフェードアウトさせるときに使用します。(☞ P. 5-4 「制御入力端子の接続」)

29. 機器ミュート入力端子

NA-3000 の放送を強制的にミュートしたいときに使用します。

(☞ P. 5-4 「制御入力端子の接続」)

ご注意

ファームウェアが Ver. 3.2.0 以降*¹ の場合のみ使用できます。

30. 調時(接点)入力端子

外部から機器の内部時計を調節するときに使用します。(☞ P. 5-4 「制御入力端子の接続」)

ご注意

調時(有極)入力端子(31)と併用しないでください。

31. 調時(有極)入力端子

外部から機器の内部時計を調節するときに使用します。(☞ P. 5-4 「制御入力端子の接続」)

ご注意

調時(接点)入力端子(30)と併用しないでください。

32. 制御入力端子 (CH1 ～ 4)

外部から機器に対する制御を入力するときに使用します。制御できる機能は機器の設定内容により異なります。

(☞ P. 5-4 「制御入力端子の接続」)

ご注意

ファームウェアが Ver. 3.2.0 以降*¹ の場合のみ使用できます。

33. 外部起動出力端子 (CH1 ～ 3)

外部機器を制御するときに使用します。スケジュールで設定された時間に従ってメイク接点を出力します。(☞ P. 5-5 「制御出力端子の接続」)

34. 外部起動出力端子 (CH4)

使用しません。

35. 異常出力端子

機器またはメモリーカードに異常があるとき、あるいは機器の電源が停止しているときに、メイク接点を出力します。(☞ P. 5-5 「制御出力端子の接続」)

36. 制御出力端子 (CH1 ～ 4)

外部機器を制御するときに使用します。

制御出力の機能は、機器の設定内容により異なります。(☞ P. 5-5 「制御出力端子の接続」)

ご注意

ファームウェアが Ver. 3.4.0 以降*¹ の場合のみ使用できます。

37. ビジー出力端子

機器の放送中にメイク接点を出力します。

(☞ P. 5-5 「制御出力端子の接続」)

38. 外部入力端子

0 dB *²、10 kΩ、RCA ピンジャック (ステレオ)、不平衡

外部演奏機器の音声を放送するときに接続します。ラインレベルの音声を入力します。

39. ライン出力端子

0 dB *²、600 Ω、RCA ピンジャック (ステレオ)、不平衡

モニタースピーカー(2)と同じ音声を出力します。外部入力放送と本体放送をミキシングしてラインレベルの音声を出力します。

40. コードクランプ

AC アダプターのプラグが抜け落ちないように、固定します。

41. 機能アース端子

必ず接地してください。

42. AC アダプター入力端子

別売の AC アダプター AD-246 を接続します。

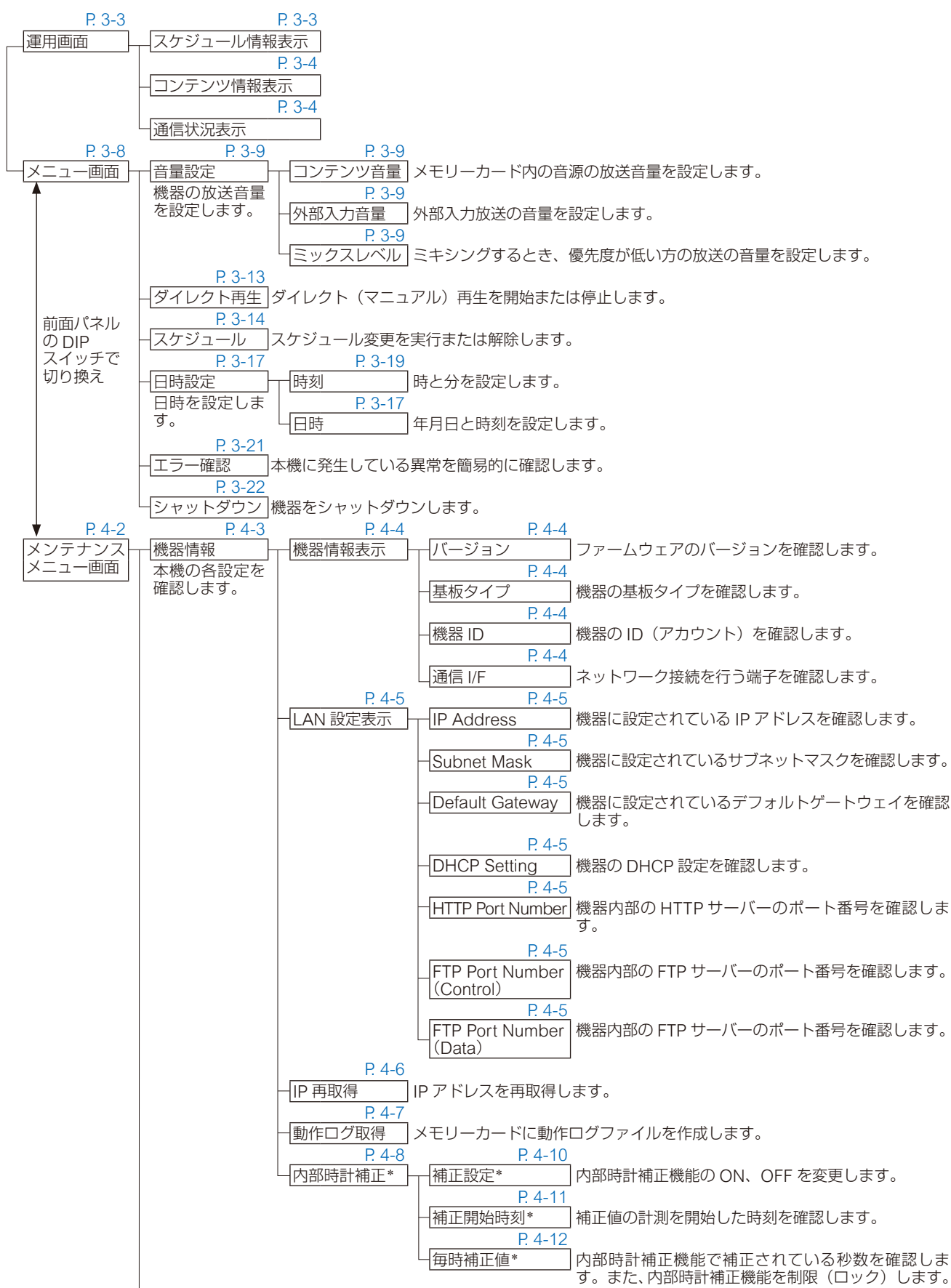
43. DC 電源入力端子

DC24 V 電源を接続します。

*¹ ファームウェアバージョンの確認方法については、P. 4-3 「機器情報を確認する」をお読みください。

*² 0 dB = 1 V

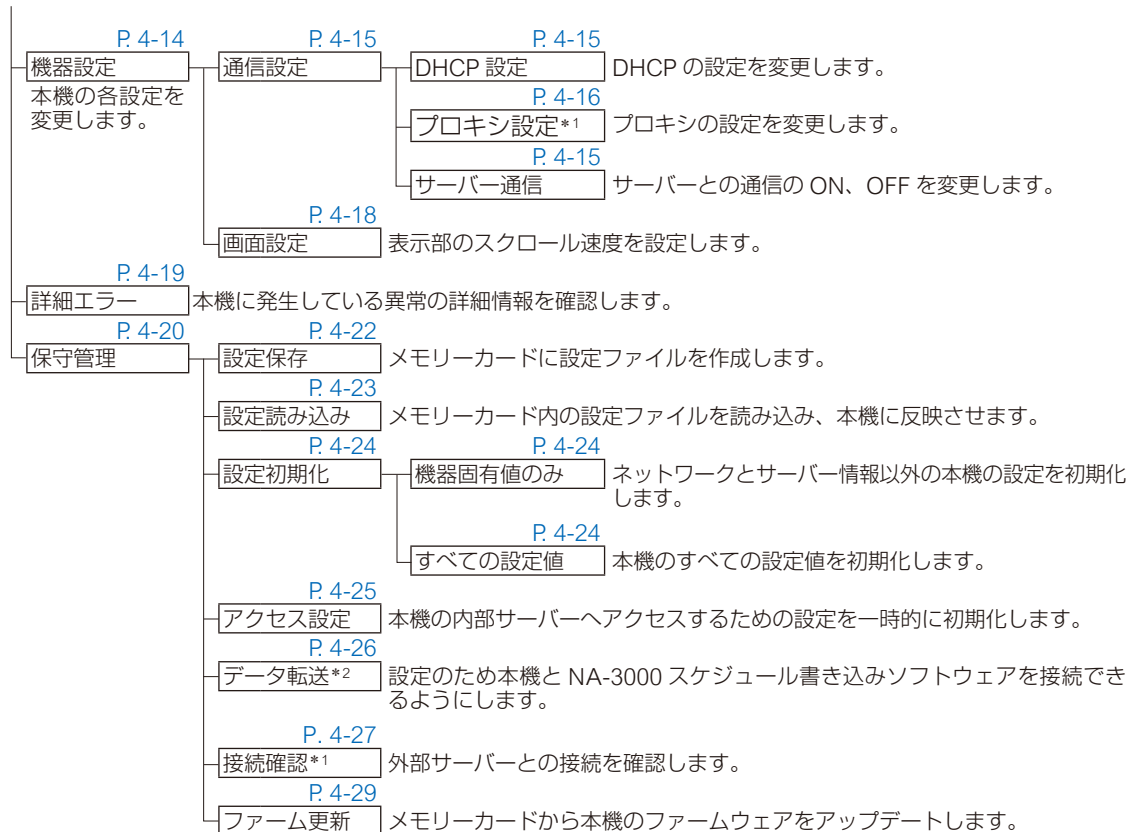
メニューの階層



次ページへ

* これらの項目は、NA-3000 の基板タイプ (P. 4-4) が「0」のときだけ表示されます。

前ページから



*1 ファームウェアが Ver.3.3.0 以降の場合のみ表示されます。

*2 ファームウェアが Ver.3.2.0 以降の場合のみ表示されます。

第2章

ブラウザーでの設定

パソコンのネットワーク設定をする

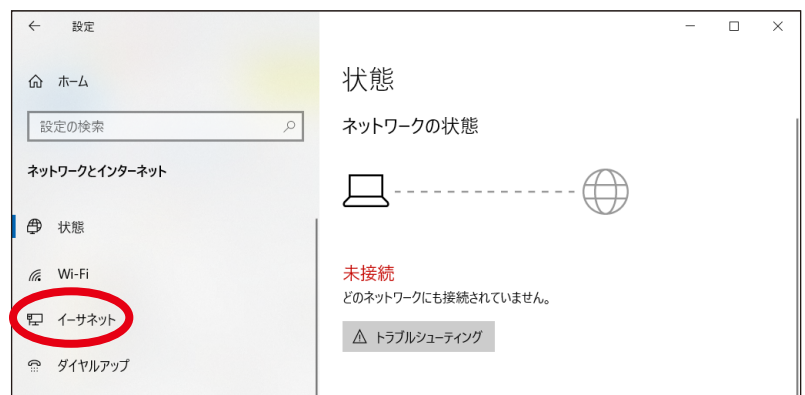
ブラウザーでの設定を行うために、事前に、パソコンの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

本書では Windows 10 での画面および操作のしかたを基本に記載しています。

- 1** [スタート] → [設定] で Windows の設定画面を開き、「ネットワークとインターネット」をクリックする。

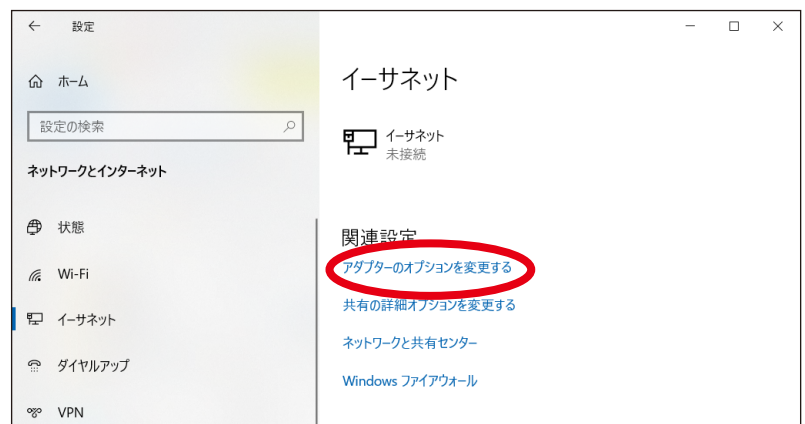


- 2** イーサネットをクリックする。



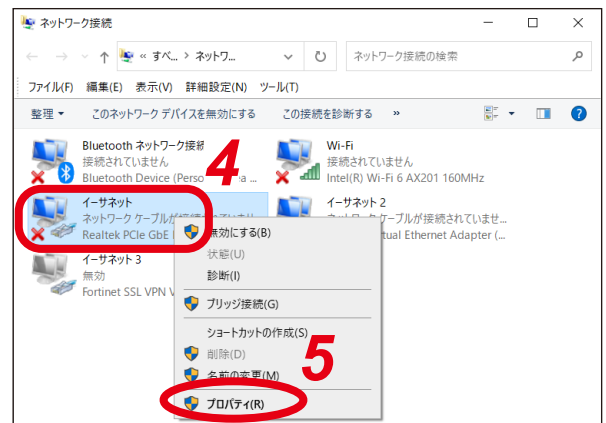
イーサネットの設定画面が開きます。

- 3** 「アダプターのオプションを変更する」をクリックする。



ネットワーク接続の画面が開きます。

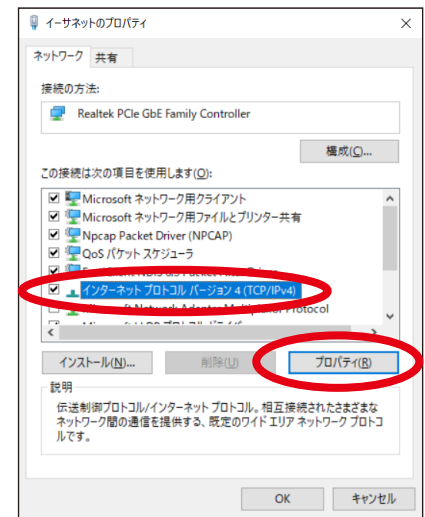
- 4** 本機と接続する「イーサネット」を選択し、右クリックする。



- 5** プロパティをクリックする。

イーサネットのプロパティ画面が表示されます。

6 「インターネットプロトコルバージョン (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする。



インターネットプロトコルバージョン (TCP/IPv4) のプロパティ画面が表示されます。

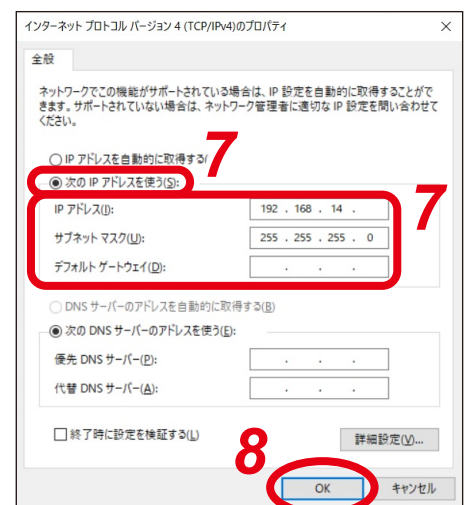
7 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスとサブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力する。

メモ

NA-3000 の工場出荷時の IP アドレスは「192.168.14.1」、サブネットマスクは「255.255.255.0」、デフォルトゲートウェイは空欄です。

パソコンの IP アドレスは NA-3000 と異なる IP アドレスを設定してください。

例：192.168.14.2 (NA-3000 が工場出荷状態の場合)

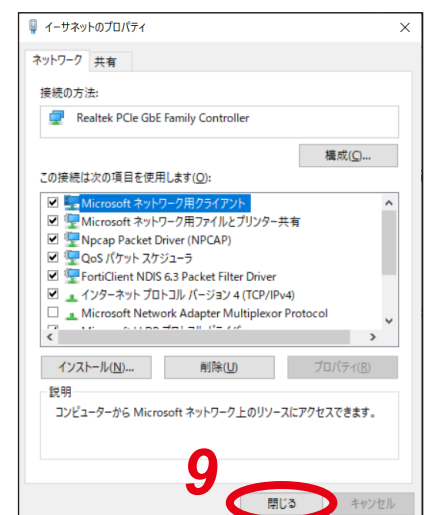


8 OK ボタンをクリックする。

インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ画面が閉じ、イーサネットのプロパティ画面に戻ります。

9 閉じるボタンをクリックする。

イーサネットのプロパティ画面が閉じ、設定が有効になります。



10 プロキシの設定を変更する。

10-1 [スタート]→[設定]でWindowsの設定画面を開き、「ネットワークとインターネット」をクリックする。



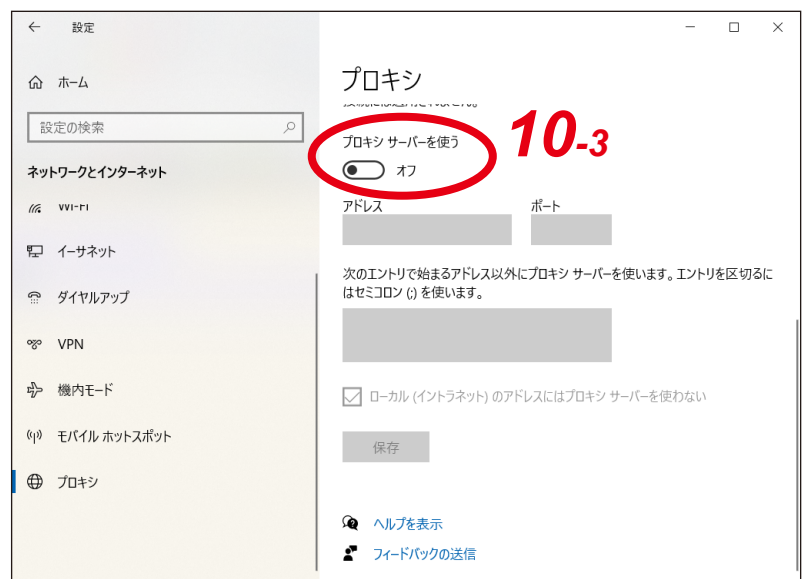
10-2 「プロキシ」をクリックする。



プロキシの設定画面が開きます。

10-3 「プロキシサーバーを使う」をオフにする。

プロキシの設定がオフになります。



機器設定画面を表示する

NA-3000 の機器設定・メンテナンスは、Web ブラウザーからその対象機器に LAN 経由で接続して行います。

【動作確認済みのブラウザー】

Google Chrome

本書では、Google Chrome の表示画面で操作を説明しています。

※ Google Chrome は、Google LLC の商標です。

ご注意

- パソコンと NA-3000 が通信できるように、あらかじめネットワーク設定（[P.2-2](#)）を行ってください。
- 設定変更中に電源を切ったり、LAN ケーブルを抜いたりしないでください。
故障の原因となります。
- 設定を変更した後は、必ず再起動してください。
- メンテナンス機能使用時は、再生およびサーバーリクエスト（[P.3-5](#)）ができなくなります。

1 ブラウザーを起動して、URL を入力する。

URL	例
http:// [IP アドレス] : [HTTP ポート番号] /main.html	http://192.168.14.1/main.html

※ 工場出荷時の IP アドレスは「192.168.14.1」、HTTP ポート番号は「80」です。

HTTP ポート番号が「80」のときは、「:」以下のポート番号の記述を省略できます。

※ IP アドレスの設定は NA-3000 のメンテナンスメニュー画面で確認できます。（[P.4-5](#)）

ユーザー認証画面が表示されます。

2 ユーザー名とパスワードを入力し、OK ボタンをクリックする。

※ 工場出荷時のユーザー名は「NA3000」、パスワードは「guest」です。

ユーザー名・パスワードは、大文字・小文字を区別します。

ユーザー名とパスワードを正しく入力すると、機器設定画面が表示されます。

TOA

Network CM/BGM Player
NA-3000

機器設定

ネットワーク
外部サーバー
通信
放送
運用管理

メンテナンス
メンテナンス
名称設定

LAN情報

DHCP ☐ ON ☒ OFF

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSサーバー（プライマリ）

DNSサーバー（セカンダリ）

ポート番号

HTTP

内部FTP（データ用）

内部FTP（制御用）

プロキシサーバーの使用 ☐ ON ☒ OFF

プロキシサーバー

プロキシサーバーポート番号

機器設定

機器設定の手順

1 「ネットワーク」、「外部サーバー」、「通信」、「放送」、「運用管理」の各項目を設定する。

ネットワーク  次項
 外部サーバー  2章
 通信  P. 2-10
 放送  P. 2-13
 運用管理  P. 2-17

2 手順1のすべての項目を設定した後、適用ボタンをクリックする。

パソコンと接続されている NA-3000 に設定が適用されます。

3 NA-3000 を再起動する。

設定変更後に表示される再起動ボタンをクリックするか、メンテナンス画面で再起動ボタンをクリックする（ P. 2-24）と、再起動できます。



ネットワーク

「機器設定」の「ネットワーク」をクリックします。

● LAN 情報

DHCP	☐ ON ☒ OFF
IPアドレス	192.168.14.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNSサーバー（プライマリ）	
DNSサーバー（セカンダリ）	
ポート番号	
HTTP	80
内部FTP（データ用）	60020
内部FTP（制御用）	21
プロキシサーバーの使用	☐ ON ☒ OFF
プロキシサーバー	
プロキシサーバーポート番号	8080

設定項目		初期値	設定範囲
DHCP		OFF	ON、OFF
IP アドレス* 1、* 2		192.168.14.1	
サブネットマスク* 2		255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ* 1、* 2		0.0.0.0	
DNS サーバー（プライマリ）* 1、* 2、* 3		—	
DNS サーバー（セカンダリ）* 1、* 2、* 3		—	
ポート番号	HTTP	80	1 ～ 65535
	内部 FTP（データ用）	60020	
	内部 FTP（制御用）	21	
プロキシサーバーの使用		OFF	ON、OFF
	プロキシサーバー* 4	—	
	プロキシサーバーポート番号* 4	8080	1 ～ 65536

* 1 クラス D、E およびループバックアドレスは設定できません。

* 2 DHCP で OFF 選択時のみ、編集できます。

* 3 プライマリサーバーと接続できない場合に、セカンダリサーバーと接続します。

* 4 「プロキシサーバーの使用」で ON 選択時のみ、編集できます。

■ 外部サーバー

「機器設定」の「外部サーバー」をクリックします。

(外部サーバーとの通信：ON 選択時)

The screenshot shows the TOA NA-3000 web interface. On the left sidebar, '外部サーバー' (External Server) is highlighted. The main content area is titled '外部サーバー通信設定' (External Server Communication Settings). At the top, '外部サーバーとの通信' (Communication with external server) has the 'ON' radio button selected. Below this, there are two sections: 'WEBサーバー' (Web Server) and 'NTPサーバー' (NTP Server). The 'WEBサーバー' section includes fields for 'WEBサーバーアドレス' (na.ssd.t-cloudsystem.net), '端末ユーザー名' (na012345), and '端末パスワード'. The 'NTPサーバー' section includes fields for 'NTPサーバー (プライマリ)' (ntp.iplas.ne.jp), 'NTPサーバーポート番号 (プライマリ)' (123), 'NTPサーバー (セカンダリ)' (ntp.iplas.ne.jp), and 'NTPサーバーポート番号 (セカンダリ)' (123).

(外部サーバーとの通信：OFF 選択時)

This screenshot is identical to the previous one, but the 'OFF' radio button for '外部サーバーとの通信' is selected instead of 'ON'. The rest of the interface elements remain the same.

● 外部サーバー通信設定

外部サーバーとの通信	☐ ON	☒ OFF
------------	--------------------------	--------------------------------------

設定項目	初期値	設定範囲
外部サーバーとの通信	OFF	ON、OFF

外部サーバーとの通信を ON に設定すると、サーバーリクエスト（[P. 3-5](#)）に伴う「WEB サーバー」、「NTP サーバー」との接続を行います。

● WEB サーバー（外部サーバーとの通信：ON 選択時のみ）

WEBサーバーアドレス	na.ssd.t-cloudsystem.net
端末ユーザー名	na012345
端末パスワード	

設定項目	初期値	設定範囲
WEB サーバーアドレス	na.ssd.t-cloudsystem.net	半角英数記号のみ 63 文字まで。 使用禁止記号は『& < > " ' 』。
端末ユーザー名	na（MAC アドレスの下 6 桁）	
端末パスワード	（機器が自動的にパスワードを生成します。）	

ご注意

- 自動的に生成されたパスワードは表示されません。
- 端末ユーザー名と端末パスワードは、初期値以外で運用する場合のみ変更してください。

メモ

「外部サーバーとの通信設定」が ON 選択時に端末ユーザー名を空欄にして設定することで、WEB サーバーへ接続を行わなくなります。

WEB サーバーに接続しないで、NTP サーバーだけに接続したいときは、端末ユーザー名の欄を空欄にしてください。

● NTP サーバー（外部サーバーとの通信：ON 選択時のみ）

選択した項目により、設定項目が異なります。

（NTP：ON 選択時）

NTPサーバー（プライマリ）	ntp.iplas.ne.jp
NTPサーバーポート番号（プライマリ）	123
NTPサーバー（セカンダリ）	ntp.iplas.ne.jp
NTPサーバーポート番号（セカンダリ）	123

設定項目	初期値	設定範囲
NTP サーバー（プライマリ）*	ntp.iplas.ne.jp	半角英数記号のみ 255 字まで。 使用禁止記号は『& < > " ' 』。
NTP サーバーポート番号（プライマリ）*	123	1 ～ 65535
NTP サーバー（セカンダリ）*	ntp.iplas.ne.jp	半角英数記号のみ 255 字まで。 使用禁止記号は『& < > " ' 』。
NTP サーバーポート番号（セカンダリ）*	123	1 ～ 65535

* プライマリサーバーと接続できない場合に、セカンダリサーバーと接続します。

■ 通信

「機器設定」の「通信」をクリックします。

TOA
Network CM/BGM Player
NA-3000

機器設定
 ネットワーク
 外部サーバに
通信
 カセット
 運用管理

メンテナンス
 メンテナンス
 名称設定

サーバーリクエスト設定

サーバーリクエスト ☐ 開始日時設定 ☒ 間隔設定

リクエスト間隔 分

起動時のサーバーリクエスト ☒ ON ☐ OFF

リモート制御 ☐ ON ☒ OFF

通知設定

コンテンツ再生エラー通知 ☐ パターン終了時 ☐ 一定間隔毎 ☒ OFF

スケジュール終了通知 日前

通信キー

通信キーによる通信停止機能 ☐ ON ☒ OFF

通信リトライ

リトライ回数 回

● サーバーリクエスト設定

選択した項目により、設定項目が異なります。

(サーバーリクエスト：開始日時設定選択時、リモート制御：ON 時)

サーバーリクエスト ☒ 開始日時設定 ☐ 間隔設定

開始日時設定

No.	開始日	開始時刻	リクエスト時間幅
1	-	0 時	1 時間
2	-	0 時	1 時間
3	-	0 時	1 時間
4	-	0 時	1 時間
5	-	0 時	1 時間

起動時のサーバーリクエスト ☒ ON ☐ OFF

リモート制御 ☒ ON ☐ OFF

(リクエスト間隔 秒)

(サーバーリクエスト：間隔設定選択時、リモート制御：OFF 時)

サーバーリクエスト ☐ 開始日時設定 ☒ 間隔設定

(リクエスト間隔 分)

起動時のサーバーリクエスト ☒ ON ☐ OFF

リモート制御 ☐ ON ☒ OFF

設定項目		初期値	設定範囲
サーバーリクエスト* ¹		間隔設定	開始日時設定、間隔設定
開始日時設定 1～5* ²	開始日	—	— / 毎日 / 毎週○曜日（月曜日～日曜日） / 毎月○日（1日～28日） / 月末
	開始時刻	0 時	0 ～ 23 時
	リクエスト 時間幅	1 時間	0 ～ 3 時間
リクエスト間隔		30 分	1 ～ 999 分
起動時のサーバーリクエスト		ON	ON、OFF
リモート制御		OFF	ON、OFF
リクエスト間隔* ³		5 秒	5 ～ 600 秒

*¹ WEB サーバーから受信した要求を確認して放送内容を最新の状態にしたり、NTP サーバーと時刻を同期する機能

*² 開始日時設定は、5 つまで設定することができます。開始日を設定しないと、開始時刻およびリクエスト時間幅は設定できません。

*³ リモート制御で ON 選択時のみ編集できます。

● 通知設定

選択した項目により、設定項目が異なります。

（コンテンツ再生エラー通知：一定間隔毎選択時）

コンテンツ再生エラー通知	☐ パターン終了時 ☒ 一定間隔毎 ☐ OFF
(間隔)	60 分
スケジュール終了通知	14 日前

（コンテンツ再生エラー通知：パターン終了時または OFF 選択時）

コンテンツ再生エラー通知	☒ パターン終了時 ☐ 一定間隔毎 ☐ OFF
(スケジュール終了通知)	14 日前

設定項目	初期値	設定範囲
コンテンツ再生エラー通知	OFF	パターン終了時、一定期間毎、OFF
間隔	60 分	1 ～ 99 分
スケジュール終了通知*	14 日前	0 ～ 31 日前

* 0 日前に設定すると、スケジュール終了通知は行いません。

● 通信キー

NA-3000 の通信キーの操作で通信の停止ができるかどうかを設定します。

通信キーによる通信停止機能	☐ ON ☒ OFF
---------------	---

設定項目	初期値	設定範囲
通信キーによる通信停止機能	OFF	ON、OFF

● 通信リトライ

WEB サーバー接続失敗時に、再度接続を試みる回数を設定します。

リトライ回数	5 回
--------	----------------------------------

設定項目	初期値	設定範囲
リトライ回数*	5 回	0 ～ 10 回

* 0 回に設定すると、再度接続は行いません。

■ 放送

「機器設定」の「放送」をクリックします。

TOA

Network CM/BGM
Player
NA-3000

機器設定
ネットワーク
外部サーバー
通信
放送
運用管理

メンテナンス
メンテナンス
名称設定

放送音量

コンテンツ 5

外部入力 5

ミックスレベル 3

相対音量

BGM 0

CM 0

ダイレクト再生 0

コマンド再生 0

フェード時間

フェードイン時間 3 秒

フェードアウト時間(本体-外部間) 3 秒

フェードアウト時間(コンテンツ間) 3 秒

フェードウェイト時間 3 秒

AGC

AGC(本体放送) ☐ ON ☒ OFF

AGC(外部入力放送) ☐ ON ☒ OFF

ビジー出力設定

ビジー出力 ☒ 本体放送中 ☐ 本体および外部入力放送中

放送開始前ビジー出力時間 5 秒

放送終了後ビジー出力保持時間 10 秒

スケジュール設定

スケジュール保持最大数 10 個

スケジュール変更機能 ☐ ON ☒ OFF

外部入力放送設定

優先設定 ☒ 本体放送優先 ☐ 外部入力放送優先

● 放送音量

コンテンツ	5 ▼
外部入力	5 ▼
ミックスレベル	3 ▼

設定項目	初期値	設定範囲
コンテンツ* ¹	5	0 ～ 10
外部入力* ²	5	0 ～ 10
ミックスレベル* ³	3	0 ～ 10

*¹ メモリーカードの音源の再生音量を設定します。

*² 外部入力端子に接続した外部演奏機器からの音量を設定します。

*³ 本体放送と外部入力放送が同時に放送されているときに、優先度（本体放送と外部入力放送の間に設定された優先関係）が低い放送の音量を設定します。

項目 \ 設定値	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
コンテンツ	-45 dB	-33 dB	-26 dB	-20 dB	-15 dB	-10 dB	-5 dB	-2 dB	-1 dB	0 dB	0 dB
外部入力	-45 dB	-35 dB	-28 dB	-23 dB	-18 dB	-14 dB	-10 dB	-6 dB	-3 dB	-1 dB	0 dB
ミックスレベル	-65 dB	-41 dB	-28 dB	-23 dB	-18 dB	-13 dB	-8 dB	-4 dB	-2 dB	-1 dB	0 dB

（放送音量設定例①）

以下の設定のとき、本体放送（BGM）を行うと、0 dB で入力された音が 0 dB で出力されます。

コンテンツの設定値	10 (0 dB)
BGM の相対音量 (次項)	0 dB

（放送音量設定例②）

以下の設定のとき、外部入力放送と本体放送を同時に行うと、外部入力は $(-14) + (-13) = -27$ dB で出力されます。

優先度	外部入力放送 < 本体放送
外部入力の設定値	5 (-14 dB)
ミックスレベルの設定値	5 (-13 dB)

● 相対音量

BGM	0 ▼
CM	0 ▼
ダイレクト再生	0 ▼
コマンド再生	0 ▼

設定項目	初期値	設定範囲
BGM	0	-4 ～ 4
CM	0	-4 ～ 4
ダイレクト再生* ¹	0	-4 ～ 4
コマンド再生* ²	0	-4 ～ 4

*¹ 事前にコンテンツを登録しておくことで、スケジュールに関係なくコンテンツを再生する機能

*² コマンドメールによってコンテンツを再生する機能

相対音量設定では、スケジュールなどの再生リストに設定されている音量設定を再調整します。

-6 dB から 6 dB の範囲で 3 dB 刻みの調整が可能です。

最終的に出力される音量については、下表を参照してください。

再生リストの 音量設定値	相対音量設定値、および設定後の出力音量								
	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
1 (-6 dB)	-6 dB	-6 dB	-6 dB	-6 dB	-6 dB	-3 dB	0 dB	3 dB	6 dB
2 (-3 dB)	-6 dB	-6 dB	-6 dB	-6 dB	-3 dB	0 dB	3 dB	6 dB	6 dB
3 (0 dB)	-6 dB	-6 dB	-6 dB	-3 dB	0 dB	3 dB	6 dB	6 dB	6 dB
4 (3 dB)	-6 dB	-6 dB	-3 dB	0 dB	3 dB	6 dB	6 dB	6 dB	6 dB
5 (6 dB)	-6 dB	-3 dB	0 dB	3 dB	6 dB	6 dB	6 dB	6 dB	6 dB

● フェード時間

フェードイン時間	3 ▼ 秒
フェードアウト時間(本体-外部間)	3 ▼ 秒
フェードアウト時間(コンテンツ間)	3 ▼ 秒
フェードウェイト時間	3 ▼ 秒

設定項目	初期値	設定範囲
フェードイン時間* ¹	3 秒	0 ～ 10 秒
フェードアウト時間 (本体 - 外部間) * ²	3 秒	0 ～ 10 秒
フェードアウト時間 (コンテンツ間) * ³	3 秒	0 ～ 10 秒
フェードウェイト時間* ⁴	3 秒	0 ～ 10 秒

*¹ フェードウェイト時間の後、音量が設定値に戻るまでの時間

*² BGM ステップおよび CM ステップと、外部機器（マイクなどを含む）の音声重なったときのフェードアウト時間

*³ BGM ステップ同士、CM ステップ同士、または BGM ステップと CM ステップなど、コンテンツ同士で再生時間が重なったときに、再生中だった音声のフェードアウト時間

*⁴ フェードアウトした音声を設定値に戻し始めるまでの待ち時間

● AGC

AGC(本体放送)	☐ ON	☒ OFF
AGC(外部入力放送)	☐ ON	☒ OFF

設定項目	初期値	設定範囲
AGC (本体放送) *	OFF	ON、OFF
AGC (外部入力放送) *	OFF	ON、OFF

* AGC (自動音量調整) を ON にすると、放送音量のばらつきを抑えることができます。
スケジュールまたは外部入力放送で使用している音源の音量にばらつきがある、音量が小さ過ぎる、または音量が大き過ぎる場合は、AGC を ON にしてください。

● ビジー出力設定

ビジー出力	☒ 本体放送中	☐ 本体および外部入力放送中
放送開始前ビジー出力時間	5 秒	
放送終了後ビジー出力保持時間	10 秒	

設定項目	初期値	設定範囲
ビジー出力* ¹	本体放送中	本体放送中、本体および外部入力放送中
放送開始前ビジー出力時間* ²	5 秒	0 ～ 10 秒
放送終了後ビジー出力保持時間* ³	10 秒	0 ～ 10 秒

*¹ NA-3000 のビジー出力接点を ON にする条件を設定します。
ダイレクト再生状態のみビジー出力したいときは、その機能を制御出力端子に設定することができます。
( P.2-22)

*² *¹ で設定した放送開始の何秒前からビジー出力接点を ON にするかを設定します。

*³ *¹ で設定した放送終了後に何秒間ビジー出力接点を ON のまま維持するかを設定します。

● スケジュール設定

スケジュール保持最大数	10 個
スケジュール変更機能	☐ ON ☒ OFF

設定項目	初期値	設定範囲
スケジュール保持最大数* ¹	10 個	1 ～ 100 個
スケジュール変更機能* ²	OFF	ON、OFF

*¹ NA-3000 に登録するスケジュールの最大数

*² NA-3000 の操作でスケジュールの変更ができるかどうかを設定します。

● 外部入力放送設定

優先設定	☒ 本体放送優先	☐ 外部入力放送優先
------	---	--------------------------------

設定項目	初期値	設定範囲
優先設定*	本体放送優先	本体放送優先、外部入力放送優先

* 本体放送、外部入力放送のどちらを優先するかを設定します。
スケジュールによる再生中は、スケジュールファイルの設定に従います。
ダイレクト再生による再生中は、常に本体放送を優先します。

■ 運用管理

「機器設定」の「運用管理」をクリックします。

TOA
Network CM/BGM
Player
NA-3000

機器設定 適用
ネットワーク
外部サーバー
通信
放送
運用管理
メンテナンス
メンテナンス
名称設定

定期再起動設定

定期再起動 ☐ ON ☒ OFF

調時設定

調時方式 ☒ NTP ☐ 調時入力
調時有効時間 0 時から 24 時間

制御入力端子設定

制御入力

No.	接続機器名称	機能	オプション
1		機能なし	-
2		機能なし	-
3		機能なし	-
4		機能なし	-

制御出力端子設定

制御出力

No.	機能	オプション
1	機能なし	-
2	機能なし	-
3	機能なし	-
4	機能なし	-

● 定期再起動設定

定期再起動の機能を設定します。

定期再起動とは、指定時刻に NA-3000 が自動的に再起動する機能です。

(定期再起動：ON 選択時)

定期再起動 ☒ ON ☐ OFF

開始時刻 毎日 0 : 0

設定項目		初期値	設定範囲
定期再起動* 1		OFF	ON、OFF
開始時刻* 2	(日付設定)	毎日	毎日／毎週○曜日 (月曜日～日曜日)
	(時分設定)	0:0	0:0 ～ 23:59

* 1 定期再起動の有効／無効を設定します。

* 2 定期再起動を実施する日時を決定します。該当日時にサーバーリクエストを実施している場合は、サーバーリクエスト完了後に再起動します。

● 調時設定

NA-3000 の内部時計を調時する方法を設定します。

NTP で調時するときは、サーバーリクエスト時に、NTP サーバーへ接続し、調時します。

調時入力で調時するときは、NA-3000 後面の調時入力端子（ P. 5-4）からの調時入力により、調時します。

（調時方式：NTP 選択時）

調時方式	☒ NTP ☐ 調時入力
調時有効時間	0 時から 24 時間

（調時方式：調時入力、入力信号の種類：接点入力、調時方法：0 秒アジャスト選択時）

調時方式	☐ NTP ☒ 調時入力
入力信号の種類	☒ 接点入力 ☐ 有極入力
調時方法	☒ 0秒アジャスト ☐ 指定時刻へ調時
次調時までの禁止時間	30 分

（調時方式：調時入力、入力信号の種類：接点入力、調時方法：指定時刻へ調時選択時）

調時方式	☐ NTP ☒ 調時入力																												
入力信号の種類	☒ 接点入力 ☐ 有極入力																												
調時方法	☐ 0秒アジャスト ☒ 指定時刻へ調時																												
指定時刻設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>有効</th> <th>指定時刻</th> <th>時間幅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>☐</td> <td>0 時 0 分 0 秒</td> <td>± 30 秒</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>☐</td> <td>0 時 0 分 0 秒</td> <td>± 30 秒</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>☐</td> <td>0 時 0 分 0 秒</td> <td>± 30 秒</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>☐</td> <td>0 時 0 分 0 秒</td> <td>± 30 秒</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>☐</td> <td>0 時 0 分 0 秒</td> <td>± 30 秒</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>☐</td> <td>0 時 0 分 0 秒</td> <td>± 30 秒</td> </tr> </tbody> </table> 複数の 指定時刻設定が有効となっており、調時する時間帯が重複している場合、No.が小さい方の設定を優先して調時します。	No.	有効	指定時刻	時間幅	1	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒	2	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒	3	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒	4	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒	5	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒	6	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒
No.	有効	指定時刻	時間幅																										
1	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒																										
2	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒																										
3	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒																										
4	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒																										
5	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒																										
6	☐	0 時 0 分 0 秒	± 30 秒																										

(調時方式：調時入力、入力信号の種類：有極入力選択時)

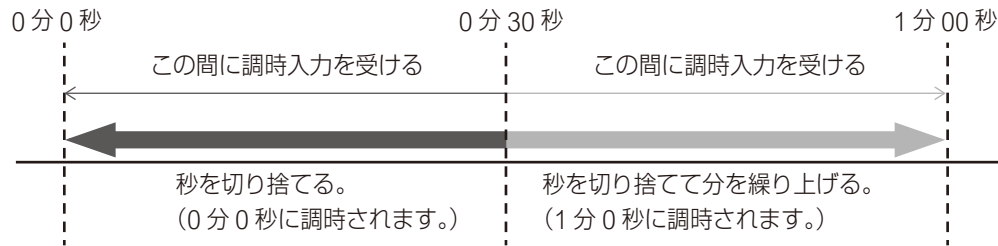
調時方式	☐ NTP ☒ 調時入力
入力信号の種類	☐ 接点入力 ☒ 有極入力
調時方法	0秒アジャスト(固定)
次調時までの禁止時間	30 ▼ 分

設定項目		初期値	設定範囲
調時方式* ¹		NTP	NTP、調時入力
調時有効時間* ²	開始時刻	0 時から	0 ～ 23 時（1 時間刻み）
	時間幅	24 時間	1 ～ 24 時間（1 時間刻み）
入力信号の種類* ³		接点入力	接点入力、有極入力
調時方法* ⁴		0 秒アジャスト	0 秒アジャスト、指定時刻へ調時
次調時までの禁止時間* ⁵		30 分	0 ～ 60 分（1 分刻み）
指定時刻設定 1 ～ 6* ⁶	有効設定	無効	有効、無効（チェックを入れると有効）
	指定時刻	0:00:00	0:0:0 ～ 23:59:00（1 分刻み）
	時間幅	± 30 秒	± 10 ～ 60 秒（10 秒刻み）

- *¹ 調時方式を設定します。調時入力を選択したときは、NTP による調時は無効となります。また、NTP を選択した場合、調時入力による調時は無効となります。
- *² NTP により自動で調時を実施する時間帯を設定します。設定した時間帯以外は NTP による自動での調時は実施しません。手動でサーバーリクエストを実施する場合は、調時有効時間の時間帯以外でも NTP による調時を実施します。
- *³ NA-3000 に接続される調時入力信号の種類を設定します。
- *⁴ 調時入力を受けた場合の調時方法（[次ページ参照](#)）を設定します。入力信号の種類が「有極入力」のときは、「0 秒アジャスト固定」となります。
- *⁵ 調時入力を受けてから、次の調時入力を受付可能となるまでの時間を設定します。調時方法に「0 秒アジャスト」を選択したときのみ設定できます。
- *⁶ 調時入力を受けたとき、調時する時刻および受付可能な時間幅を設定します。調時方法に「指定時刻へ調時」を選択したときのみ設定できます。

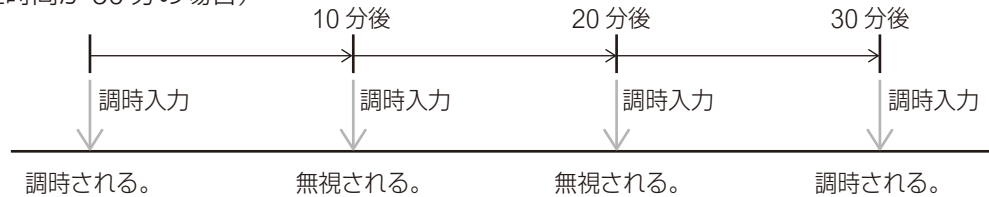
[0 秒アジャスト]

調時入力を受けたときの NA-3000 の内部時計の時刻に応じて、以下のとおり動作します。



「0 秒アジャスト」では、「次調時までの禁止時間」を設定することができます。調時が行われてから、次に調時を受け付けるまでの時間を制限できます。

(禁止時間が 30 分の場合)

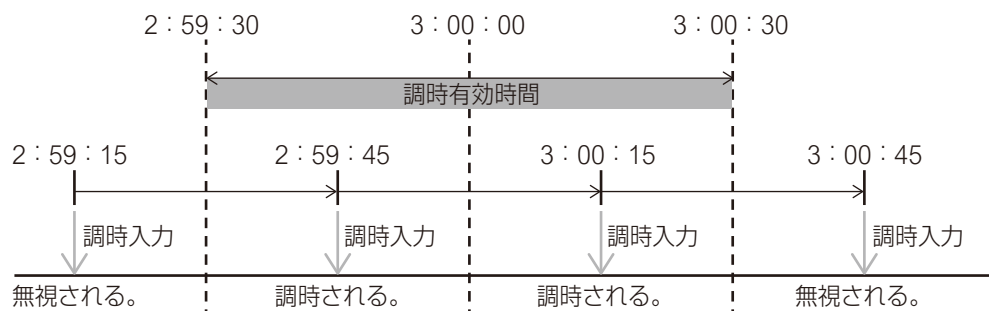


[指定時刻へ調時]

あらかじめ設定した指定時刻に調時を行います。

- ・ 指定時刻として、[時 (0 ~ 23)] [分 (0 ~ 59)] を設定できます。(6 つまで)
- ・ 指定時刻に対し、調時が有効な時間幅を設定できます。

(指定時刻が 3 : 00 : 00 で時間幅が ± 30 秒の場合)



● 制御入力端子設定

NA-3000 後面の制御入力端子 1 ～ 4 に接続される機器の名称、および制御信号が入力されたときの機能を設定します。

No.	接続機器名称	機能	オプション
1		機能なし ▾	- ▾
2		機能なし ▾	- ▾
3		機能なし ▾	- ▾
4		機能なし ▾	- ▾

設定項目		初期値	設定範囲
No.1 ～ 4	接続機器名称* ¹	—	半角英数記号のみ 31 文字まで。 使用禁止記号は『& < > “ ’』
	機能* ²	機能なし	機能なし、異常通知、ダイレクト再生（再生開始）、ダイレクト再生（停止）
	オプション	—	[機能なしの場合] — [異常通知の場合] メイクで異常、ブレイクで異常 [ダイレクト再生（再生開始）の場合] 番号○（0 ～ 99） [ダイレクト再生（停止）の場合] —

*1 制御入力に接続されている機器の名称を設定します。

*2 制御入力端子に機能の割り当てを設定します。

「機能なし」の場合：入力を受けても何も動作しません。

「異常通知」の場合
: 異常をサーバーに通知します。そのとき、異常とする入力状態をオプションで設定します。

「ダイレクト再生（再生開始）」の場合：ワンショット入力によってダイレクト再生を開始します。再生したいダイレクト再生番号をオプションで設定します。

「ダイレクト再生（停止）」の場合：ワンショット入力によって再生中のダイレクト再生を停止します。
ダイレクト再生が再生されていない場合は何も動作しません。

ご注意

スケジュールの読み込みや更新など運用の準備を行っている状態では「ダイレクト再生（再生開始）」または「ダイレクト再生（停止）」の操作を受け付けられないことがあります。（ダイレクト再生 起動エラー状態）
制御出力端子へ「ダイレクト再生（起動エラー）」を設定すると、ダイレクト再生 起動エラー状態となった場合にメイク信号を出力します。（ P 2-22 「制御出力端子設定」）

● 制御出力端子設定

NA-3000 後面の制御出力端子 1 ～ 4 に制御信号を出力する機能を設定します。

No.	機能	オプション
1	機能なし	-
2	機能なし	-
3	機能なし	-
4	機能なし	-

設定項目		初期値	設定範囲
No.1～4	機能 ^{*1}	機能なし	機能なし、ダイレクト再生（範囲ビジー出力） ^{*2} 、ダイレクト再生（ビジー出力） ^{*2} 、ダイレクト再生（起動エラー）
	オプション	—	[機能なしの場合] — [ダイレクト再生（範囲ビジー出力）の場合] 番号○（0～98）から○（1～99） ^{*3} [ダイレクト再生（ビジー出力）の場合] 番号○（0～99） [ダイレクト再生（起動エラー）の場合] —

^{*1} 制御出力端子に機能の割り当てを設定します。

「機能なし」の場合 : 何も動作しません。

「ダイレクト再生（範囲ビジー出力）」の場合 : 設定された番号の範囲内のダイレクト再生が再生中にのみビジー出力を行います。番号の範囲はオプションで設定します。

ダイレクト再生（ビジー出力）の場合 : 設定された単一番号のダイレクト再生が再生中にのみビジー出力を行います。番号はオプションで設定します。

ダイレクト再生（起動エラー）の場合 : 起動エラーとなった制御入力端子の番号に関わらず、3 秒間メイク信号を出力します。この機能は、スケジュールの読み込みや更新など運用の準備を行っている状態では「ダイレクト再生（再生開始）」または「ダイレクト再生（停止）」の操作を受け付けられない場合があります（ダイレクト再生 起動エラー状態）、これを確認するために使用します。

^{*2} ビジー出力の「放送開始前ビジー出力時間」や「放送終了後ビジー出力保持時間」設定については、[P. 2-16 「ビジー出力設定」](#)をお読みください。

^{*3} 範囲の終わりの番号は、始まりの番号より大きい数字にのみ設定できます。

メンテナンス

■ メンテナンス

「メンテナンス」の「メンテナンス」をクリックします。



Network CM/BGM
Player
NA-3000

機器設定

ネットワーク
外部サーバー
通信
放送
運用管理

メンテナンス
メンテナンス
名称設定

時刻設定

現在時刻

メモリーカード空き領域

運用メモリーカード

ログメモリーカード

外部サーバー接続確認

NTPサーバー（プライマリ）

NTPサーバー（セカンダリ）

WEBサーバー

ファームウェア

ファームウェアバージョン

選択されていません

再起動

履歴

機器設定ファイル

選択されていません

HTTPユーザー情報

ユーザー名

新しいパスワード

新しいパスワード（確認）

内部FTPユーザー情報

ユーザー名

古いパスワード

新しいパスワード

新しいパスワード（確認）

● 時刻設定

現在時刻	2019/01/01 00:00:00	時刻取得	時刻送信
------	---------------------	------	------

NA-3000 に設定されている現在時刻を表示します。

時刻取得ボタンをクリックすると、パソコンの時刻を取得します。

時刻送信ボタンをクリックすると、表示されている現在時刻を NA-3000 に送信します。

● メモリーカード空き領域

運用メモリーカード	確認
ログメモリーカード	確認

確認ボタンをクリックすると、各メモリーカードの空き領域を確認できます。

● 外部サーバー接続確認

NTPサーバー（プライマリ）	確認
NTPサーバー（セカンダリ）	確認
WEBサーバー	確認

確認ボタンをクリックすると、各サーバーと接続可能かどうかを確認できます。

× モ

接続確認に失敗した場合、エラーの内容については、[P. 6-4「外部サーバー接続確認エラー一覧」](#)で確認してください。

● ファームウェア

ファームウェアバージョン	03.00.00
ファイルを選択 選択されていません	
ファームウェア更新	

NA-3000 のファームウェアバージョンを表示します。

また、ファームウェアの更新をすることもできます。

「ファイルを選択」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

ファームウェア（拡張子 .bin）を選択し、ファームウェア更新ボタンをクリックすると、ファームウェアの更新が開始されます。

ご注意

ファームウェア更新中は、NA-3000 の電源を切ったり、LAN ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

● 再起動

再起動

再起動ボタンをクリックすると、NA-3000 を再起動します。

● 履歴

履歴ダウンロード

履歴ダウンロードボタンをクリックすると、NA-3000 の履歴データをダウンロードします。

● 機器設定ファイル

機器設定ファイル

ファイルを選択 選択されていません

設定アップロード

設定ダウンロード

全設定初期化

参照ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

設定ファイルを選択し、設定アップロードボタンをクリックすると、設定データを NA-3000 へアップロードします。

設定ダウンロードボタンをクリックすると、NA-3000 の設定データをパソコンにダウンロードします。

全設定初期化ボタンをクリックすると、NA-3000 のすべての設定データを初期設定に戻します。

ご注意

全設定初期化ボタンで初期設定に戻すと、ネットワークに関する設定も初期設定に戻ります。

すべての設定データを初期設定に戻してよいか、十分確認の上、行ってください。

● HTTP ユーザー情報

HTTPユーザー情報

ユーザー名

NA3000

新しいパスワード

新しいパスワード（確認）

HTTPユーザー情報変更

HTTP ユーザー名とパスワードを変更するときは、新しいユーザー名とパスワードを入力します。

「新しいパスワード（確認）」欄にも「新しいパスワード」と同じものを入力します。

HTTP ユーザー情報変更ボタンをクリックすると、HTTP ユーザー名とパスワードが変更されます。

ユーザー名またはパスワードを空白に設定することはできません。

設定項目	初期値	設定範囲
ユーザー名	NA3000	半角英数記号 1 ～ 16 字。 使用禁止記号は『& < > " '』。
パスワード	guest	半角英数記号 1 ～ 16 字。 使用禁止記号は『& < > " '』。

● 内部 FTP ユーザー情報

内部FTPユーザー情報

ユーザー名	NA3000FTP
古いパスワード	
新しいパスワード	
新しいパスワード（確認）	

内部FTPユーザー情報変更

内部 FTP ユーザー名とパスワードを変更するときは、新しいユーザー名、古いパスワード、新しいパスワードを入力します。

「新しいパスワード（確認）」欄にも「新しいパスワード」と同じものを入力します。

内部 FTP ユーザー情報変更ボタンをクリックすると、内部 FTP ユーザー名とパスワードが変更されます。

ユーザー名またはパスワードを空白に設定することはできません。

設定項目	初期値	設定範囲
ユーザー名	NA3000FTP	半角英数記号 1 ～ 16 字。 使用禁止記号は『& < > " ' 』。
パスワード	pass	半角英数記号 1 ～ 16 字。 使用禁止記号は『& < > " ' 』。

■ 名称設定

「メンテナンス」の「名称設定」をクリックします。



TOA

Network CM/BGM Player
NA-3000

機器設定

ネットワーク
外部サーバー
通信
放送
運用管理

メンテナンス
メンテナンス
名称設定

機器検出情報

端末名称

システム名称

● 機器検出情報



機器検出情報

端末名称

システム名称

外部機器からの機器検出を行うときの端末名称とシステム名称を設定します。

変更するときは、新しい名称を入力します。

入力した後に機器検出情報変更ボタンをクリックすると、端末名称とシステム名称が変更されます。

設定項目	初期値	設定範囲
端末名称	—	全角 15 文字、半角 31 文字まで。 使用禁止記号は「& < > " ' 」
システム名称	—	全角 15 文字、半角 31 文字まで。 使用禁止記号は「& < > " ' 」

第 3 章

操作・設定

お使いになる前に

本機をお使いになる前に、次のとおりに準備をしてください。

外部機器と接続する。

必要に応じて、外部機器と接続します。( P. 5-3)

ご注意

この時点では、まだ電源は入れないでください。

付属のメモリーカードを運用メモリーカードスロットに挿入する。

 P. 1-3

電源を入れる。

 P. 5-2

運用画面

■ 運用画面とは

運用画面とは、通常動作時に表示される画面で、以下の3種類があります。

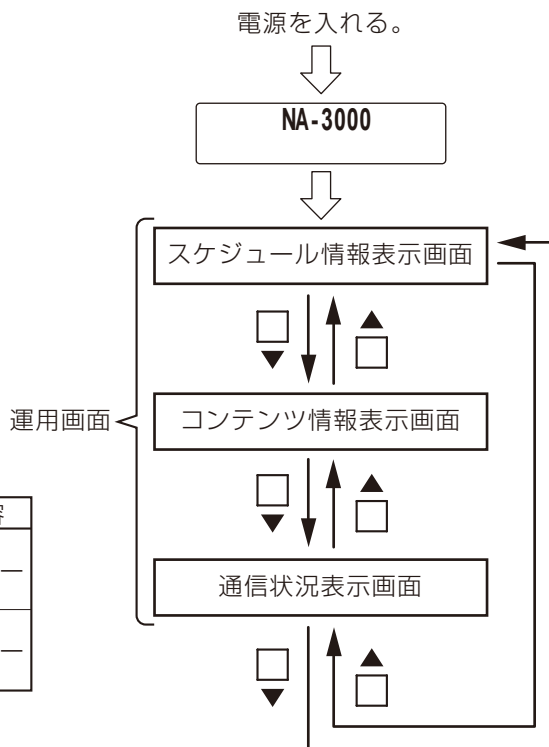
- 「スケジュール情報表示画面」
- 「コンテンツ情報表示画面」
- 「通信状況表示画面」（通信中のみ表示）

電源を入れると、自動的にスケジュール情報表示画面が表示されます。

上下キーの操作でコンテンツ情報表示画面、通信状況表示画面へ移動できます。

【運用画面で表示されるアイコン一覧】

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	スケジュール		コンテンツ(ダイレクト再生中)		決定キー
	スケジュール(変更中)		通信		戻るキー
	コンテンツ(BGM 再生中)		エラー		
	コンテンツ(CM 再生中)		上下キー		



■ スケジュール情報表示画面

【スケジュール情報画面の例】

スケジュール情報画面を示すアイコン



スケジュール情報表示

上下キーで他の画面に移動することを示すアイコン

現在の年月日、曜日、時刻

スケジュール情報表示は、機器の状態に応じて、右図のようになります。
(右図では下段の表示を省略)

・スケジュール運用中の場合

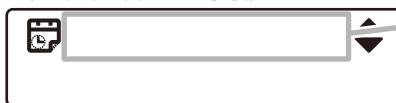


スケジュール名称を表示。
スケジュールに名称がない場合は「名称なし」と表示。

・現在時刻に運用可能なスケジュールがない場合



・現在時刻以降に運用可能なスケジュールが全くない場合



空欄

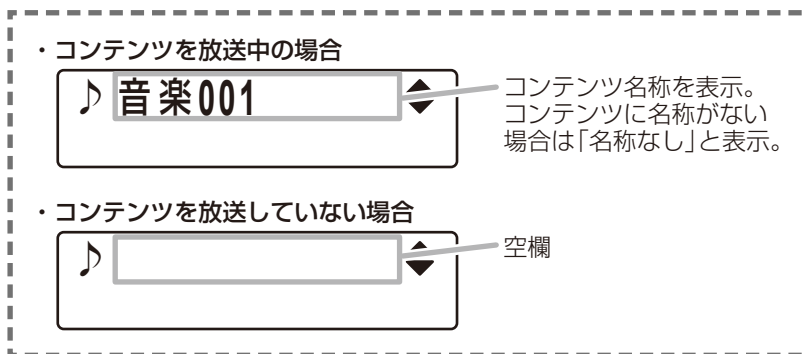
・スケジュールファイルを読み込んでいる場合



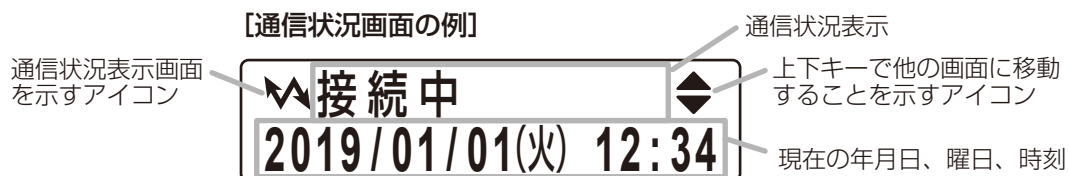
■ コンテンツ情報表示画面



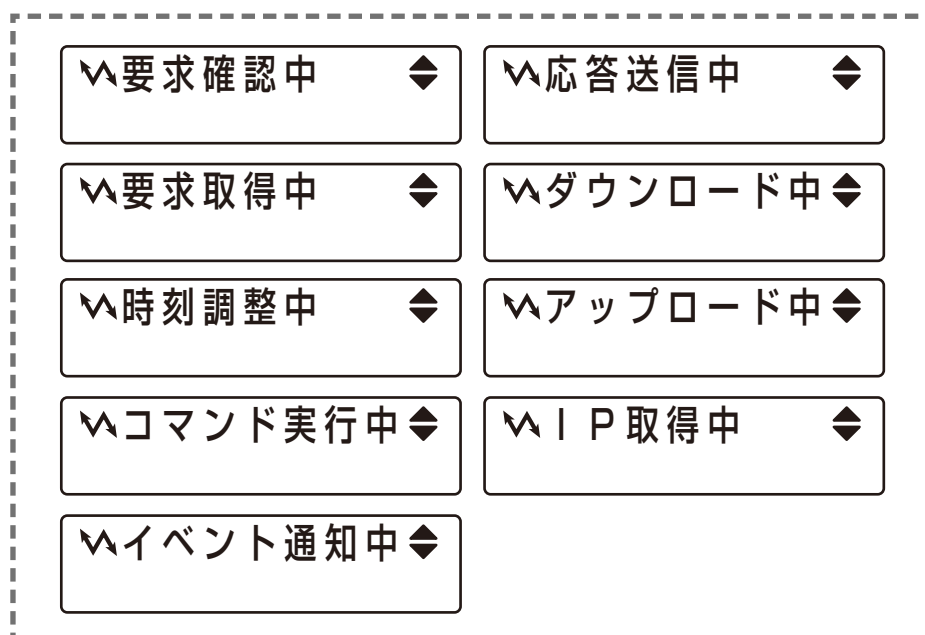
コンテンツ情報表示は、機器の状態に応じて、右図のようになります。
(右図では下段の表示を省略。)



■ 通信状況表示画面（通信中のみ）



通信状況表示は、現在の通信状態によって下図のようになります。（下図では下段の表示を省略。）
通信状態が変化すると、表示は自動的に切り換わります。



放送内容を更新(サーバーリクエスト)するには

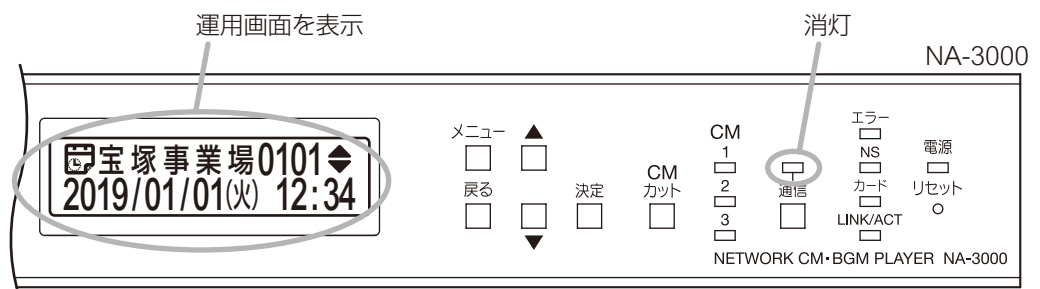
■ サーバーリクエストとは

本機は、コンテンツパートナーから送られてきたスケジュールの更新データなどによって放送内容を最新の状態にします。

通信機能を使って更新データを確認、および放送内容を更新することをサーバーリクエストと呼びます。

■ 手動でサーバーリクエストをする場合

1 運用画面が表示されており、通信表示灯が消灯していることを確認する。



2 通信キーを押す。

通信が開始され、サーバーリクエストが始まります。

通信中は通信表示灯が緑色で点灯します。

更新データを受信すると、自動的に放送内容を最新の状態に更新します。

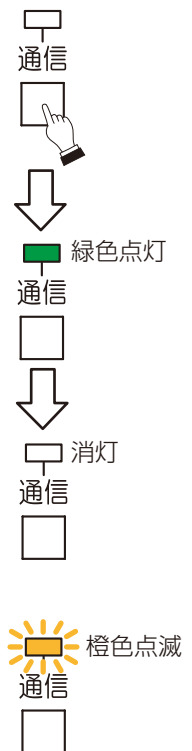
放送内容の更新が終了すると、通信が完了し、通信表示灯が消灯します。

ご注意

通信表示灯が橙色に点滅している場合は、予定した時間内に通信接続ができなかった状態です。

ネットワーク機器の状態およびケーブルの接続を確認してください。

確認後、手動で再度通信キーを押してください。



■ 通信を途中で停止する場合

ご注意

通信停止機能を ON にしないと、通信を途中で停止することはできません。
工場出荷時には、通信停止機能は OFF に設定されています。

1 通信中にもう一度、通信キーを押す。

表示部に確認画面が表示されます。

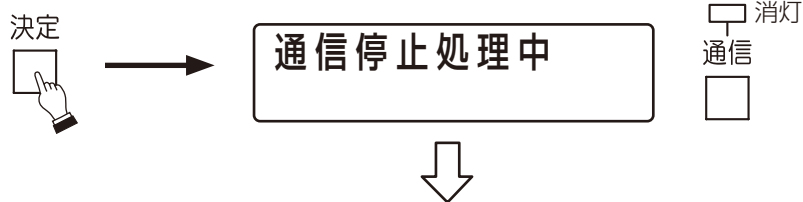


× モ

停止をキャンセルするときは、通信キーまたは戻るキーを押してください。
運用画面「スケジュール情報表示」に移動し、サーバーリクエストを継続します。

2 決定キーを押す。

通信表示灯が消灯し、「通信停止処理中」画面を表示します。



通信停止処理完了後、自動的に運用画面「スケジュール情報表示」に移動します。

宝塚事業場0101◆
2019/01/01(火) 12:35

放送音量を調節するには

ライン出力の音量（放送する音量）とモニタースピーカーの音量は、前面パネルの音量調節つまみで行います。

メ モ

本機では、音量調節つまみによる音量調節のほかに、メニュー画面での音量設定もできます。

メニュー画面では、本体放送と外部入力放送（外部入力端子に接続した外部演奏機器からの放送）の音量を設定します。本体放送と外部入力放送を同時に行う場合は、それぞれの音量に加えて、ミックスレベルを設定しておく必要があります。（ P.3-9）

■ ライン出力音量（放送する音量）を調節するとき

本機からアンプなどの外部機器へ出力する音量を調節するときは、ライン出力音量を調節します。

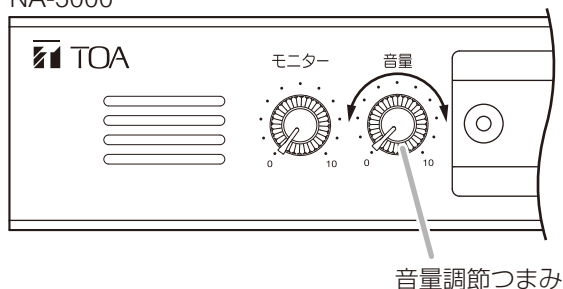
ライン出力音量の調節は、前面の音量調節つまみで行います。

時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

メ モ

ライン出力音量を調節しても、モニタースピーカーの音量は変わりません。

NA-3000



■ モニタースピーカーの音量を調節するとき

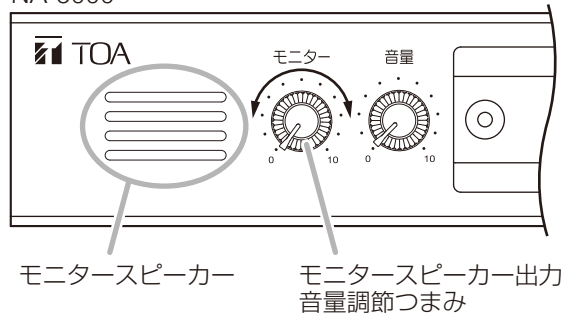
モニタースピーカーの音量の調節は、前面のモニタースピーカー出力音量調節つまみで行います。

時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと音量が小さくなります。

メ モ

モニタースピーカーの音量を調節してもライン出力音量は変わりません。

NA-3000



メニュー画面 (各種設定と操作)

■ メニュー画面を表示させる

- 1** 運用画面表示中に、メニューキーを押す。
メニュー画面が表示されます。

- 2** 上下キーを押して、メニュー項目を選択する。
メニュー項目は次のとおりです。

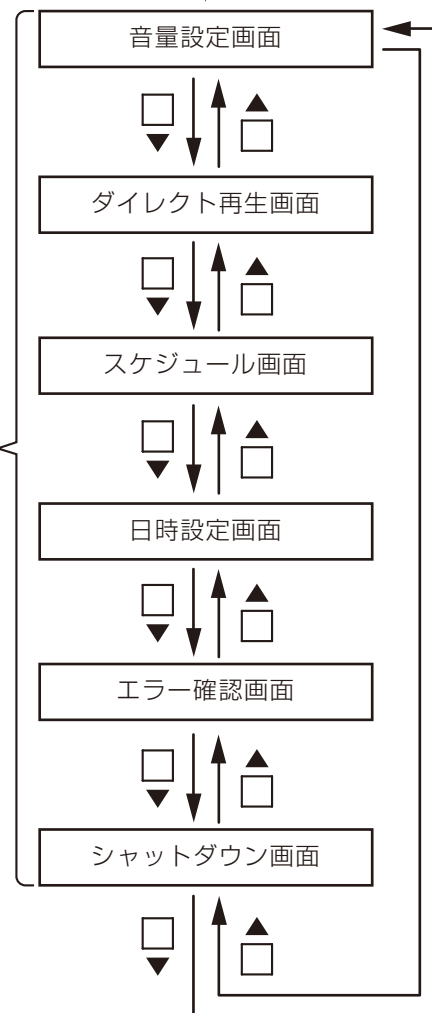
メニュー項目	設定・表示項目
1. 音量設定 (P. 3-9)	コンテンツ音量 外部入力音量 ミックスレベル
2. ダイレクト再生 (P. 3-13)	—
3. スケジュール (P. 3-14)	—
4. 日時設定 (P. 3-17)	時刻 日時
5. エラー確認 (P. 3-21)	—
6. シャットダウン (P. 3-22)	—

メニュー画面

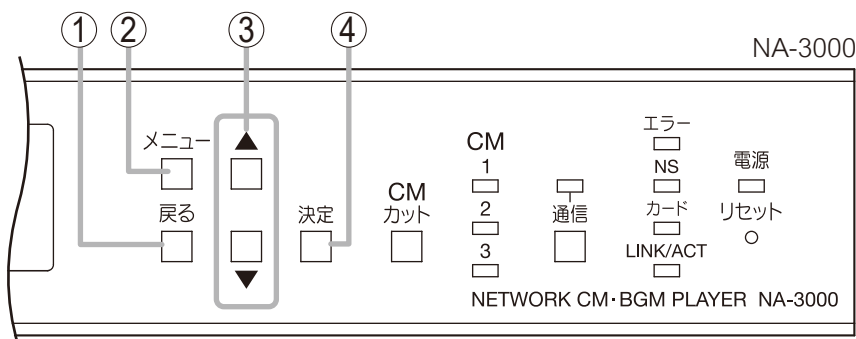
運用画面

宝塚事業場0101
2019/01/01(木) 12:34

メニュー



■ メニュー画面で使用するキー



キー名称	キーの操作による画面の移動
① 戻るキー	前の画面に戻る。 ※ メニュー項目の選択画面で押したときは、メニュー画面を閉じて、運用画面を表示する。
② メニューキー	メニュー画面を閉じて、運用画面を表示する。
③ 上下キー	メニュー項目、設定項目を選択する。
④ 決定キー	次の画面に進む。

音量を設定する（メニュー画面での設定）

本体放送と外部入力放送の音量を設定します。また、本体放送と外部入力放送を同時に行う場合は、ミックスレベルも設定しておく必要があります。（ P. 3-11）

 **モ**

放送中の音量調節は、前面パネルの音量調節つまみで行います。（ P. 3-7）

■ 設定項目

コンテンツ音量：本体放送の音量です。メモリーカードの音源の再生音量を設定します。

外部入力音量：外部入力放送の音量です。外部入力端子に接続した外部演奏機器からの音量を設定します。

ミックスレベル：本体放送と外部入力放送が同時に放送されているときに、優先度*が低い放送の音量（コンテンツ音量または外部入力音量）を下げることができます。そのときの優先度が低い方の放送の音量を 10 段階で設定します。「10」に設定すると、もとの音量のままで上がりません。数値が小さくなるほど音量が下がり、「0」に設定すると、優先度が低い放送をほぼ聞こえない状態にすることができます。

* 本体放送と外部入力放送の間に設定された優先関係で、機器設定の優先設定（ P. 2-16）とスケジュールごとに設定できます。

■ 設定のしかた

1 メニュー画面で上下キーを押して「1. 音量設定」を選択する。

2 決定キーを押す。

音量設定項目選択画面が表示されます。

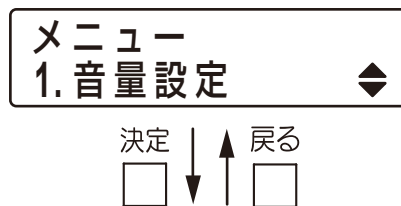
3 上下キーを押して、「コンテンツ音量」、「外部入力音量」、「ミックスレベル」から設定したい項目を選択する。

 **モ**

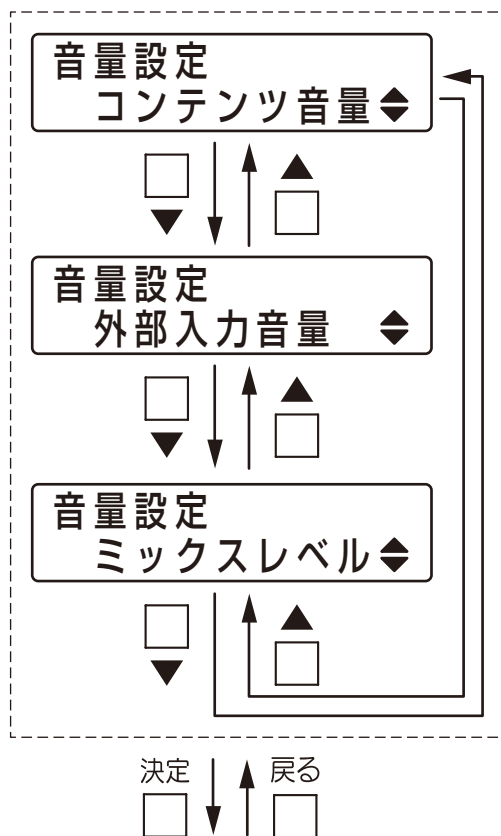
メニューキーを押すと、運用画面に戻ります。

4 決定キーを押す。

音量設定画面（メニュー）



音量設定項目選択画面



次ページへ

選択した項目の音量設定画面が表示されます。

5 上下キーを押して、音量の数値を設定する。

(設定範囲：00 ～ 10)

☐ メ ☐ モ

設定値と音量の詳細については、P. 2-14「放送音量」を参照してください。

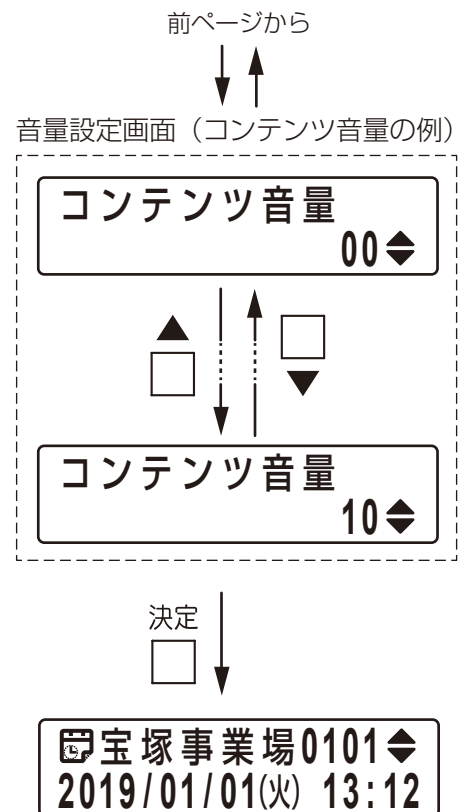
6 決定キーを押す。

音量の設定値が変更され、運用画面に移動します。

ご注意

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、音量の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、音量の設定値は変更されずに手順 2 の音量設定項目選択画面に戻ります。

7 他の音量設定項目を設定する場合は、もう一度メニュー画面を表示させ、手順 1 ～ 6 を繰り返す。



■ 本体放送および外部入力放送の設定音量とミックスレベル

フェーダー入力接点を使用するかどうかで動作が異なります。

● フェーダー入力接点を使用しないとき

音量制御の動作は、本体放送と外部入力放送が混在するかどうかで、次の2つのパターンがあります。

- ① 本体放送と外部入力放送が混在しないとき
入力されている1つの音源が、設定された音量で放送されます。
- ② 本体放送と外部入力放送が混在するとき
優先度の低い放送の放送中に優先度の高い放送が始まると、優先度の低い放送の音量が下がります。(下記の動作例参照)

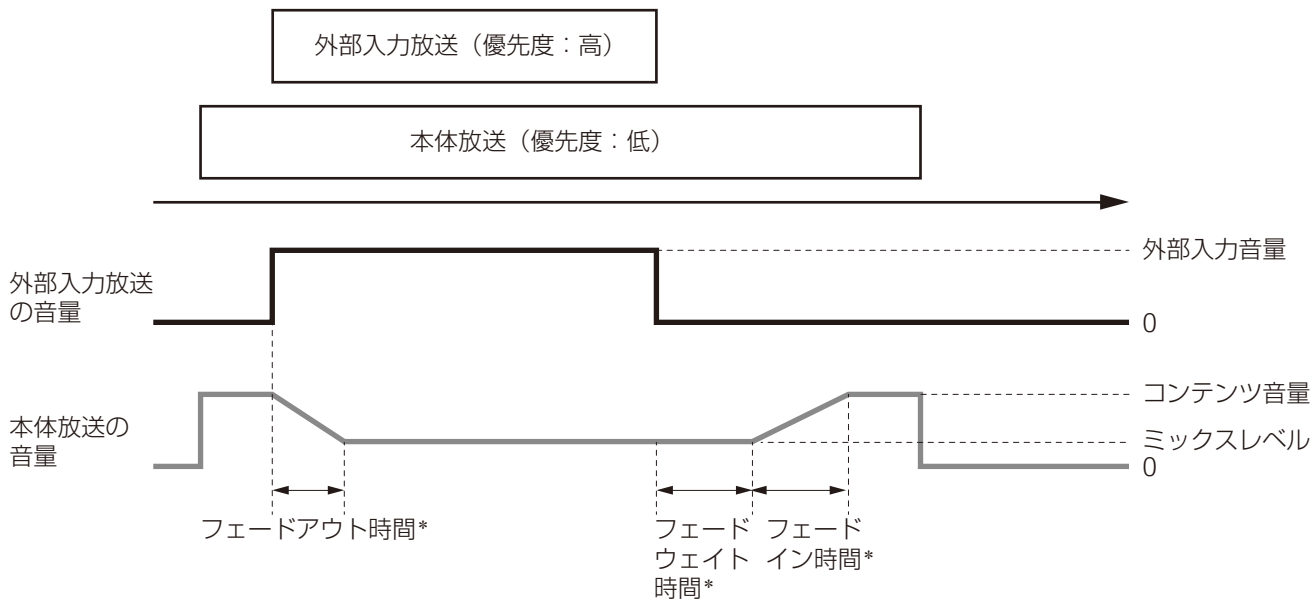
本体放送と外部入力放送が混在するときの音量制御の動作例

通常は本体放送でBGMを放送しているが、時々外部入力放送で臨時CM放送したい場合の例です。

【優先度の設定と放送内容の使用例】

	優先度の設定	放送内容
本体放送	低い	BGM
外部入力放送	高い	臨時CM

【動作イメージ】



📌 ご注意

- 優先度の高い放送が開始してから優先度の低い放送の音量が下がり始めるので、優先度の高い放送の開始部分が聞き取れないことがあります。
- ミックスレベルが「0」に設定されているときでも、フェードアウト中は放送が重なります。

● フェーダー入力接点を使用するとき

フェーダー入力端子をメイクすると、本体放送と外部入力放送の混在に関係なく、優先度の低い放送をフェードアウトさせ、ミックスレベルに従った音量で放送できます。ブレイクすると、優先度の低い放送をフェードインさせ、元の音量で放送できます。

フェーダー入力端子を使って音量制御を行うことで、優先度の低い放送のフェードアウトが完了してから、優先度の高い放送を開始できます。

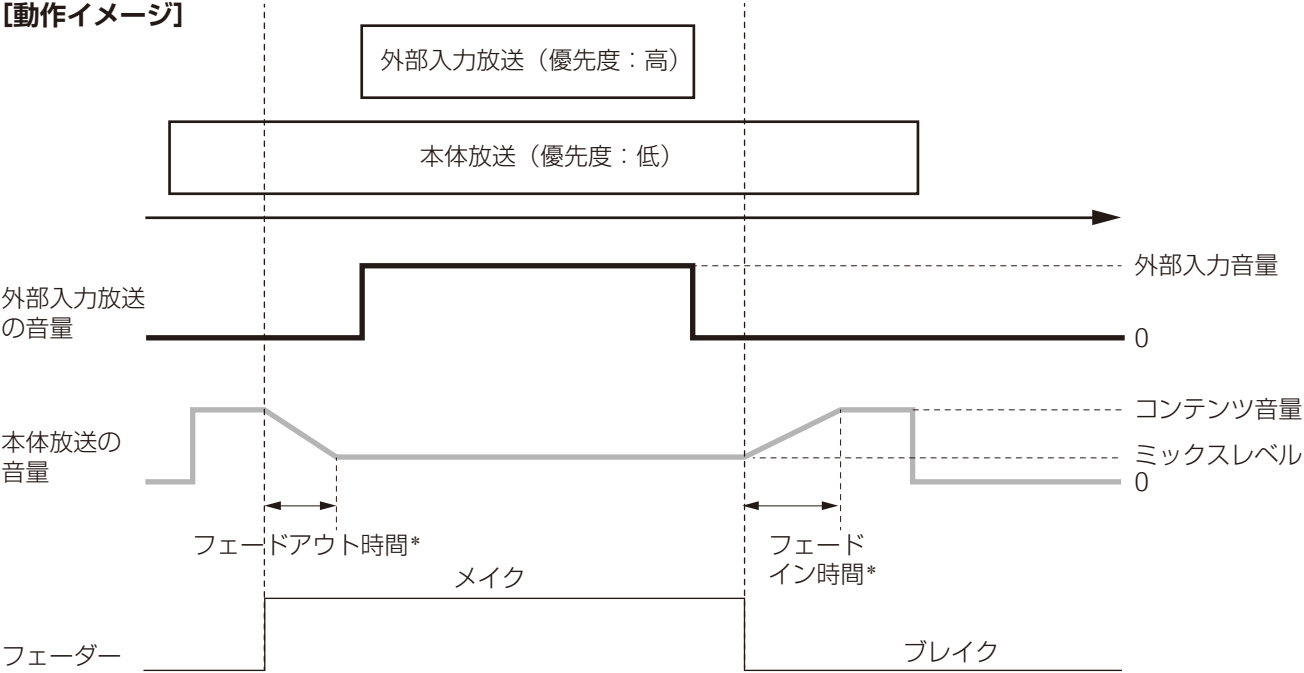
フェーダー入力端子を使用したときの音量制御の動作例

通常は本体放送で BGM を放送しているが、時々外部入力放送で臨時 CM 放送したい場合の例です。

【優先度の設定と放送内容の使用例】

	優先度の設定	放送内容
本体放送	低い	BGM
外部入力放送	高い	臨時 CM

【動作イメージ】



* ブラウザーで設定します。(P. 2-15)

メモ

- 放送の優先度は、本体放送中はスケジュールの優先設定に従い、本体放送をしていないときは、機器設定の優先設定に従います。
- 本体放送と外部入力放送の混在により、すでに優先度が低い放送の音量がミックスレベルまで下がっている場合、フェーダー入力端子をメイクしても音量は変化しません。

ダイレクト再生をする (メニュー画面での操作)

■ ダイレクト再生とは

ダイレクト再生とは、あらかじめ特定のコンテンツを登録しておくことで、スケジュールに関係なくそのコンテンツを再生できる機能です。

不定期で頻繁にお知らせするメッセージなどを放送する場合に使用します。

登録できる最大数は 100 件です。

■ ダイレクト再生をする

スケジュール運用中にメニュー画面を表示させ、以下の操作でダイレクト再生ができます。また、ダイレクト再生中に同様の操作で別の再生リストを選択すると、ダイレクト再生の変更ができます。

1 メニュー画面で上下キーを押して「2. ダイレクト再生」を選択する。

2 決定キーを押す。

ダイレクト再生選択画面が表示されます。

[ダイレクト再生選択画面の例]



登録番号 動作アイコン 再生リスト名*

* スケジュール運用中：登録番号の最も小さい再生リスト名を表示
ダイレクト再生中：放送中の再生リスト名を表示

※コンテンツが 1 件も登録されていないときは、下段に「登録リストなし」とだけ表示されます。

3 上下キーを押して、放送するダイレクト再生の登録名称を選択する。

メモ

- 登録のある番号のみ表示されます。
- 上下キーを長押しする（押し続ける）と、押し続けている間は数値が進み続けます。
- メニューキーを押すと運用画面に戻ります。

4 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

5 決定キーを押す。

再生中のスケジュールまたはダイレクト再生を停止して、選択したダイレクト再生を開始し、表示部の表示が運用画面「コンテンツ情報表示」に移動します。

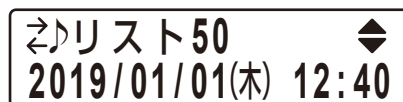
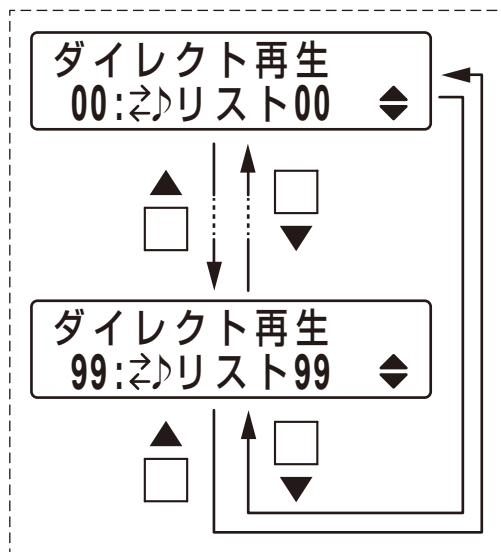
メモ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、手順 4 で決定したダイレクト再生を中止して、運用画面に戻ります。

ダイレクト再生画面（メニュー）



ダイレクト再生選択画面



■ ダイレクト再生を停止するとき

ダイレクト再生中にメニュー画面を表示させ、以下の操作でダイレクト再生を停止できます。

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「2. ダイレクト再生」を選択する。

ダイレクト再生画面（メニュー）



- 2 決定キーを押す。

ダイレクト再生選択画面が表示され、放送中の再生リスト名が表示されます。



ダイレクト再生選択画面



- 3 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

メモ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。



- 4 決定キーを押す。

放送中のダイレクト再生を停止し、表示部の表示が運用画面「コンテンツ情報表示」に移動します。

メモ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、放送中のダイレクト再生を停止せずに、運用画面に戻ります。



スケジュールを変更する（メニュー画面での操作）

■ スケジュールの変更とは

スケジュール変更とは、運用中のスケジュールを任意のスケジュールに変更できる機能です。この機能を使用するには、あらかじめブラウザーでの設定が必要です。（[P. 2-16](#)）

ご注意

変更を解除（[P. 3-16](#)）するまでは、変更したスケジュールで運用を継続します。

■ スケジュールを変更する

通常のスケジュール運用中にメニュー画面を表示させ、以下の操作でスケジュール変更ができます。また、変更したスケジュールを運用中に同様の操作で別のスケジュールを選択すると、スケジュール変更ができます。スケジュール変更機能を OFF に設定しているとき*は、スケジュール名のみ確認ができます。

* スケジュール変更機能の設定については、P.2-16「スケジュール設定」をお読みください。

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「3. スケジュール」を選択する。

スケジュール画面（メニュー）

メニュー
3. スケジュール ◆



- 2 決定キーを押す。

スケジュール選択画面が表示されます。

[スケジュール選択画面の例]

スケジュール
00: 宝塚事業場 ◆

メニュー項目
上下キーで他の登録番号の画面に移動することを示すアイコン

登録番号 動作アイコン スケジュール名*

* 通常のスケジュール運用中：

登録されたスケジュールの中で優先度が高いものを表示。
同じ優先度のスケジュールが複数ある場合は、更新日が新しいものを表示。

スケジュール変更中：変更中のスケジュール名を表示。

※ スケジュールが1件も登録されていないときは、下段に「スケジュールなし」とだけ表示されます。

スケジュール選択画面

スケジュール
00: 宝塚事業場 ◆

スケジュール
99: 宝塚事業場 ◆



- 3 上下キーを押して、変更するスケジュールを選択する。

ご注意

スケジュールには有効期限があります。名称が「一変更不可ー」（有効期限内）または「一期限切れー」（有効期限後）のスケジュールは変更できません。

× モ

- 登録のある番号のみ表示されます。
- 上下キーを長押しする（押し続ける）と、押ししている間は数値が進み続けます。
- メニューキーを押すと運用画面に戻ります。

- 4 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

× モ

スケジュール変更機能を OFF に設定しているときは、決定キーを押しても確認画面は表示されません。

東京事務所に變更？
取消 決定



東京事務所0101 ◆
2019/01/01(火) 12:50

- 5 決定キーを押す。

選択したスケジュールに変更され、表示部の表示が運用画面「スケジュール情報表示」に移動します。

× モ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、手順4で決定したスケジュールへの変更をせずに、運用画面に戻ります。

■ スケジュールを通常運用に戻すとき

変更したスケジュールを運用中にメニュー画面を表示させ、以下の操作で通常の運用に戻すことができます。

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「3. スケジュール」を選択する。

スケジュール画面（メニュー）

メニュー	
3. スケジュール	◆

決定	↓	↑	戻る
☐			☐

- 2 決定キーを押す。

変更中のスケジュール名が表示されます。

スケジュール選択画面

スケジュール
解除：東京事務所 ◆

決定	↓	↑	戻る
☐			☐

- 3 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

☐ メ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。

変更を解除？
取消 ☐ 決定 ☐

決定	↓
☐	

- 4 決定キーを押す。

スケジュール変更が解除され、通常運用に戻ります。

☐ メ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、スケジュール変更状態のままとなり、運用画面に戻ります。

宝塚事業場0101 ◆
2019/01/01(火) 12:48

日時設定のしかた（メニュー画面での設定）

■ 日時を設定するとき

1 メニュー画面で上下キーを押して「4. 日時設定」を選択する。

2 決定キーを押す。
時刻／日時選択画面が表示されます。

3 上下キーを押して「日時」を選択する。

4 決定キーを押す。
日時（年月日）の設定画面が表示され、年の設定が変更できるようになります。

× モ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。

5 上下キーを押して、年の数値を設定する。

× モ

上下キーを長押しする（押し続ける）と、押している間は数値が進み続けます。

6 決定キーを押す。
年の設定が変更され、月の設定が変更できるようになります。

× モ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（年月日）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、年の設定値は変更されずに**手順3**の時刻／日時選択画面に戻ります。

7 上下キーを押して、月の数値を設定する。

× モ

上下キーを長押しする（押し続ける）と、押している間は数値が進み続けます。

日時設定画面（メニュー）

メニュー
4. 日時設定 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

時刻／日時選択画面

日時設定
時刻 ◆

日時設定
日時 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

日時（年月日）
2019 ◆ /01 /01

日時（年月日）
2099 ◆ /01 /01

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

日時（年月日）
2019 /01 ◆ /01

日時（年月日）
2019 /12 ◆ /01

↓ ↑
次ページへ

8 決定キーを押す。

月の設定値が変更され、日の設定が変更できるようになります。

☒ ☒

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（年月日）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、月の設定値は変更されずに手順5の年の設定画面に戻ります。

9 上下キーを押して、日の数値を設定する。

☒ ☒

上下キーを長押しする（押し続ける）と、押している間は数値が進み続けます。

10 決定キーを押す。

日の設定値が変更されます。日時（時刻）の設定画面が表示され、時刻の設定ができるようになります。

☒ ☒

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（年月日）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、日の設定値は変更されずに手順7の月の設定画面に戻ります。

11 上下キーを押して、時間の数値を設定する。

12 決定キーを押す。

時間の設定が変更され、分の設定が変更できるようになります。

☒ ☒

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（時刻）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、時間の設定値は変更されずに手順9の日の選択画面に戻ります。

13 上下キーを押して、分の数値を設定する。

14 時報などに合わせて決定キーを押す。

分の設定値が変更され、同時に秒が「0」に設定されて、メニュー画面に入る前の運用画面に戻ります。

ご注意

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、日時（時刻）の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、分の設定値は変更されずに手順11の時間の設定画面に戻ります。

前ページから
決定 ↓ ↑ 戻る
☐ ☐

日時（年月日）
 2019 / 05 / 01 ◆

▲ ↓ ↑ ▼
 ☐ ☐ ☐ ☐

日時（年月日）
 2019 / 05 / 31 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
☐ ☐ ☐ ☐

日時（時刻）
 00 ◆ : 00

▲ ↓ ↑ ▼
 ☐ ☐ ☐ ☐

日時（時刻）
 23 ◆ : 00

決定 ↓ ↑ 戻る
☐ ☐ ☐ ☐

日時（時刻）
 14 : 00 ◆

▲ ↓ ↑ ▼
 ☐ ☐ ☐ ☐

日時（時刻）
 14 : 59 ◆

決定
☐ ↓

宝塚事業場 0101 ◆
 2019/01/01(火) 14:00

時刻だけを設定するとき

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「4. 日時設定」を選択する。
- 2 決定キーを押す。
時刻／日時選択画面が表示されます。
- 3 上下キーを押して「時刻」を選択する。
- 4 決定キーを押す。
時刻の設定画面が表示され、時間の設定が変更できるようになります。

× モ

 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。
- 5 上下キーを押して、時間の数値を設定する。
- 6 決定キーを押す。
時間の設定が変更され、分の設定が変更できるようになります。

× モ

 - 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、時刻の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
 - 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、時間の設定値は変更されずに手順3の時刻／日時選択画面に戻ります。
- 7 上下キーを押して、分の数値を設定する。
- 8 時報などに合わせて決定キーを押す。
分の設定値が変更され、同時に秒が「0」に設定されて、メニュー画面に入る前の運用画面に戻ります。

ご注意

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、時刻の設定値は変更されずに、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、分の設定値は変更されずに手順5の時間設定画面に戻ります。

日時設定画面（メニュー）

メニュー
 4. 日時設定 ◆



時刻／日時選択画面

日時設定
 時刻 ◆

□
↓
↑
▲
▼
□

日時設定
 日時 ◆



時刻
 00 ◆ : 00

▲
↓
↑
▼
□

時刻
 23 ◆ : 00



時刻
 14 : 00 ◆

▲
↓
↑
▼
□

時刻
 14 : 59 ◆



宝塚事業場0101 ◆
 2019/01/01(火) 14:00

■ 動作確認のために時刻設定をするとき

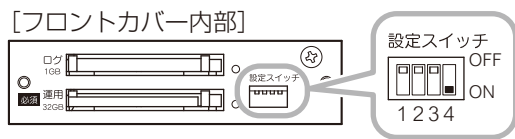
スケジュールの動作確認をするとき、選択した時刻の 10 秒前に本体時刻を自動で設定することができます。例えば 14:00 に放送開始するスケジュールの動作確認をするとき、時刻を 14:00 に設定した後、10 秒の待機で選択した時刻の放送動作を確認できます。

【ご注意】

ファームウェア Ver. 3.4.0 以降* の場合のみ、以下の操作によりこの機能が有効になります。

* ファームウェアバージョンの確認方法については、別冊の設置説明書をお読みください。
 設置説明書は TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) からダウンロードできます。

1 フロントカバー内部の機器設定用 DIP スwitch のスィッチ 4 を ON にする。



2 「日時を設定するとき」(P. 3-17) または 「時刻だけを設定するとき」(P. 3-19) を実施する。

この機能が有効のときは、日時または時刻設定画面の右上に「-10s」と表示されます。



[この機能を有効にしたときの例]

選択した時刻	設定される時刻
2019 年 01 月 01 日 00 時 00 分	2018 年 12 月 31 日 23 時 59 分 50 秒
2019 年 01 月 01 日 14 時 00 分	2019 年 01 月 01 日 13 時 59 分 50 秒

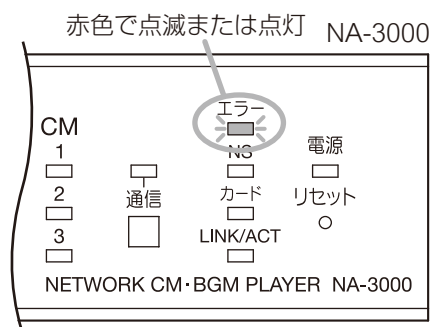
3 スケジュールの動作確認を行う。

4 動作確認が完了したら、手順 1 で ON にしたスィッチ 4 を OFF にする。

5 日時を元に戻す。(参照 P. 3-17、3-19)

エラー確認のしかた (メニュー画面での操作)

本機に異常が発生した場合、前面のエラー表示灯が赤色で点滅または点灯します。



以下の手順でエラー内容を確認してください。

- 1 メニュー画面で上下キーを押して「5. エラー確認」を選択する。

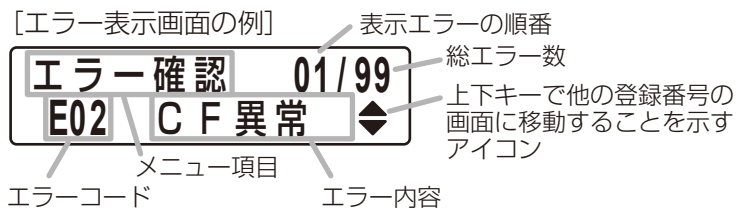
エラー確認画面 (メニュー)



- 2 決定キーを押す。

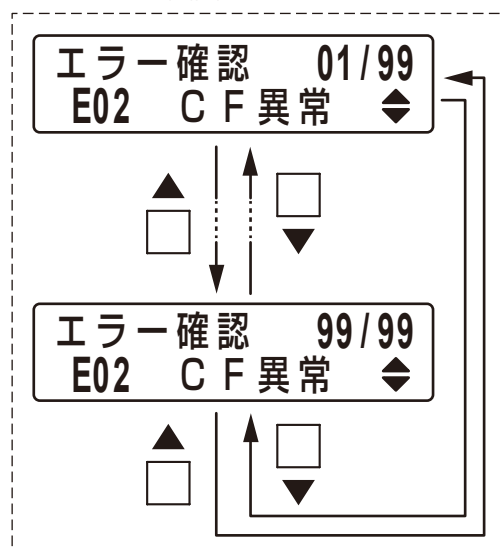
エラー表示画面が表示されます。

[エラー表示画面の例]



- 3 複数のエラーがあるときは、上下キーでエラー表示を切り換える。

エラー表示画面



- 4 確認が終了したら、メニューキーを押す。
エラー表示灯が消灯し、運用画面に戻ります。

ご注意

- メニューキーを押すと、エラー表示はすべて解除されます。発生内容の再表示はできません。
- メニューキーの代わりに戻るキーを押すと、エラー表示がすべて解除されてメニュー画面に戻ります。エラー内容の再表示はできません。



シャットダウンをする (メニュー画面での操作)

■ シャットダウンとは

本機をシステム停止状態にすることをシャットダウンといいます。
本機の電源を切るには、システム停止状態にする必要があります。

■ シャットダウンをする

メニュー画面を表示させ、以下の操作をします。

1 メニュー画面で上下キーを押して「6. シャットダウン」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

メ モ

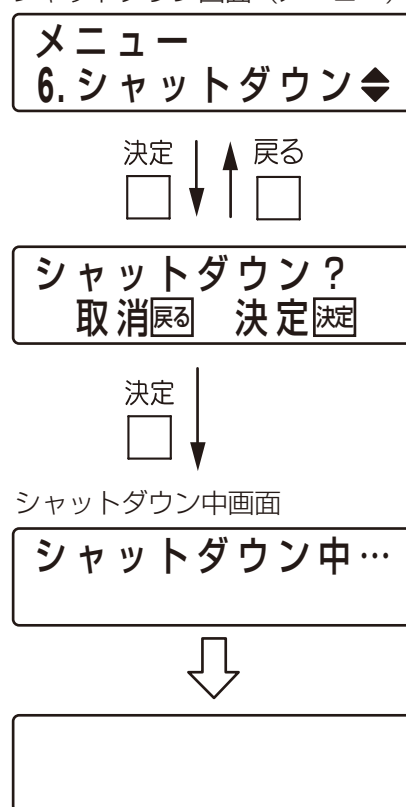
決定キーの代わりにメニューキーを押すと、シャットダウンを中止して、運用画面に戻ります。

3 決定キーを押す。

シャットダウン中画面が表示され、シャットダウンを実行します。

シャットダウン処理が完了すると、システム停止状態になり、画面の表示は消えます。

シャットダウン画面 (メニュー)



ご注意

電源を切るときは、画面の表示が消えたことを確認してから、本機への電源の供給を止めてください。

■ システム停止状態から復帰させるとき

電源表示灯が橙色に点灯し、表示部に何も表示されていないときは、システム停止状態になっています。システム停止状態から通常動作に復帰させることができます。

手順：システム停止中に、メニューキーを3秒以上押す。

再起動します。
再起動完了後、運用画面のスケジュール情報表示画面に移動します。

メモ

システム停止中に、戻るキー、上下キー、決定キーのいずれかを押したときは、「メニューキー長押しで再起動」画面が表示されます。

そのときもメニューキーを3秒以上押すと、システム停止状態から復帰させることができます。

システム停止中（表示なし）



メニュー
3秒以上
押す。

再起動



システム停止中（表示なし）



戻る 決定
↑ ↓

いずれか1つを押す。



メニュー
3秒以上
押す。

再起動



第4章

メンテナンス

メンテナンスメニュー画面

■ メンテナンスメニュー画面を表示させる

- 1 フロントカバー内部の機器設定用 DIP スイッチのスイッチ 2 を ON にする。

[フロントカバー内部]



- 2 メニューキーを押す。

メンテナンスメニュー画面が表示されます。

[メ モ]

メンテナンスメニュー画面表示後、2 分間何も操作をしないと、運用画面に戻ります。

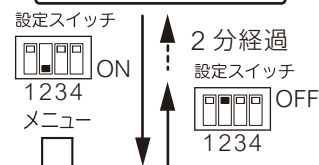
- 3 上下キーを押して、メンテナンスメニュー項目*を選択する。

- 4 メンテナンス作業が完了したら、機器設定用 DIP スイッチのスイッチ 2 を OFF にする。

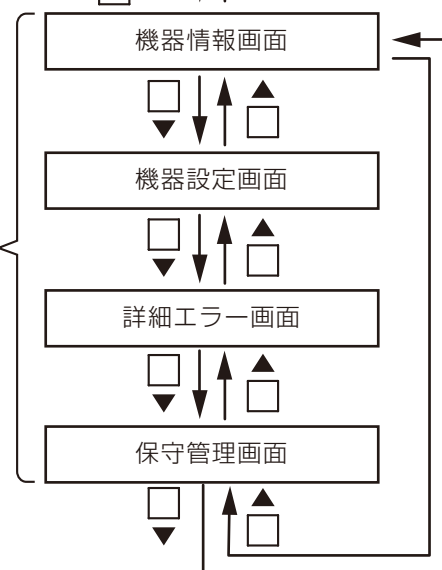
*メンテナンスメニュー項目は 1. ～ 4. のとおりです。

運用画面

宝塚事業場0101◆
2019/01/01(火) 12:34

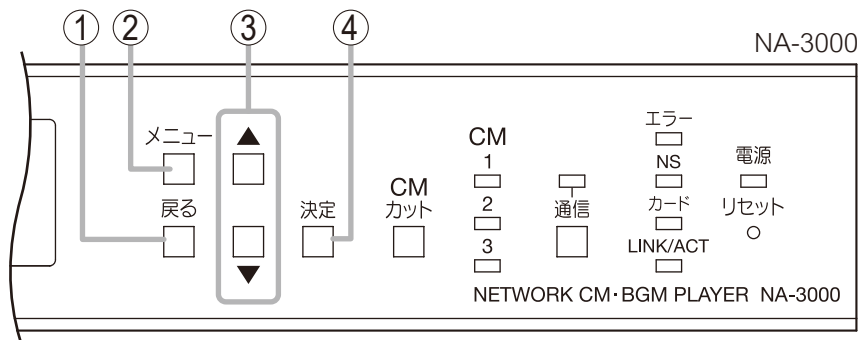


メンテナンス
メニュー画面



メンテナンスメニュー項目	設定・表示項目 1	設定・表示項目 2
1. 機器情報 (P. 4-3)	機器情報表示 (P. 4-4)	バージョン
		基板タイプ
		機器 ID
		通信 I/F
	LAN 設定表示 (P. 4-5)	IP Address
		Subnet Mask
		Default Gateway
2. 機器設定 (P. 4-14)	通信設定 (P. 4-15)	DHCP Setting
		HTTP Port Number
		FTP Port Number (Control)
		FTP Port Number (Data)
		補正設定
		補正開始時刻
3. 詳細エラー (P. 4-19)	画面設定 (P. 4-18)	毎時補正值
		—
4. 保守管理 (P. 4-20)	設定保存 (P. 4-22)	—
	設定読み込み (P. 4-23)	—
	設定初期化 (P. 4-24)	—
	アクセス設定 (P. 4-25)	—
	データ転送 (P. 4-26)	—
	接続確認 (P. 4-27)	—
	ファームウェア更新 (P. 4-29)	—

■ メンテナンスメニュー画面で使用するキー



キー名称	キーの操作による画面の移動
① 戻るキー	前の画面に戻る。 ※ メニュー項目の選択画面で押したときは、メニュー画面を閉じて、運用画面を表示する。
② メニューキー	メニュー画面を閉じて、運用画面を表示する。
③ 上下キー	メニュー項目、設定項目を選択する。
④ 決定キー	次の画面に進む。

機器情報を確認する

機器の各設定を確認します。

- 1 メンテナンスメニュー画面で上下キーを押して「1. 機器情報」を選択する。

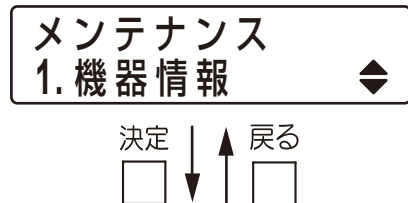
- 2 決定キーを押す。

機器情報項目選択画面が表示されます。
選択項目は次のとおりです。

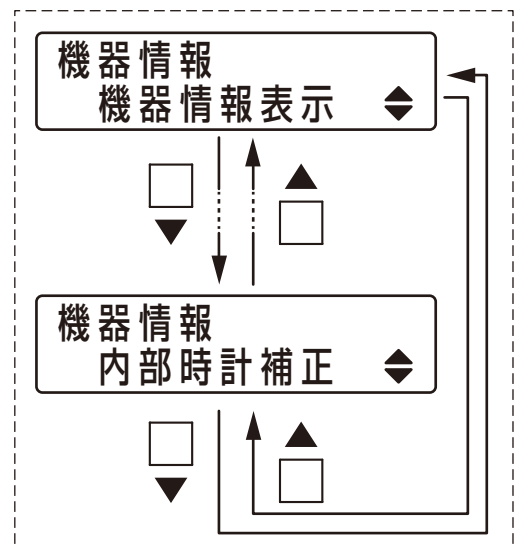
- (1) 機器情報表示 (P. 4-4)
- (2) LAN 設定表示 (P. 4-5)
- (3) IP 再取得 (P. 4-6)
- (4) 動作ログ取得 (P. 4-7)
- (5) 内部時計補正* (P. 4-8)

* この項目は、NA-3000 の基板タイプ (P. 4-4) が「0」のときだけ表示されます。

機器情報画面(メンテナンスメニュー)



機器情報項目選択画面



■ 機器情報表示

本機のファームウェアのバージョン、機器 ID（アカウント）、ネットワーク接続を行う通信の種別を確認します。

- 1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「機器情報表示」を選択する。

- 2 決定キーを押す。

機器情報表示画面が表示されます。

- 3 上下キーを押して確認する項目を表示させる。

次の情報が切り換わりながら表示されます。

- ・バージョン：ファームウェアのバージョン番号
- ・基板タイプ：搭載している基板のタイプ
- ・機器 ID ：機器に付与しているアカウント
- ・通信 I/F ：通信の種別（LAN）

メモ

- メニューキーを押すと運用画面に戻ります。
- 戻るキーを押すと手順 1 の機器情報項目選択画面に戻ります。

機器情報項目選択画面

機器情報
機器情報表示 ◆



機器情報表示画面

バージョン
 Ver. 3.00.00

↓ ↑

基板タイプ
 Type.1

↓ ↑

機器 ID
 ims0001

↓ ↑

通信 I / F
 LAN

↓ ↑

■ LAN 設定表示

ネットワーク（LAN）の詳細設定を確認します。

※ ネットワークの設定はブラウザで行います。（ P.2-6）

1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「LAN 設定表示」を選択する。

2 決定キーを押す。

LAN 設定表示画面が表示されます。

3 上下キーを押して確認する項目を表示させる。

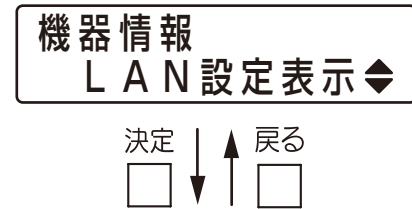
次の情報が切り換わりながら表示されます。

- ・ IP Address
- ・ Subnet Mask
- ・ Default Gateway
- ・ DHCP Setting
- ・ HTTP Port Number
- ・ FTP Port Number (Control)
- ・ FTP Port Number (Data)

- メニューキーを押すと運用画面に戻ります。
- 戻るキーを押すと**手順 1**の機器情報項目選択画面に戻ります。

機器情報項目選択画面

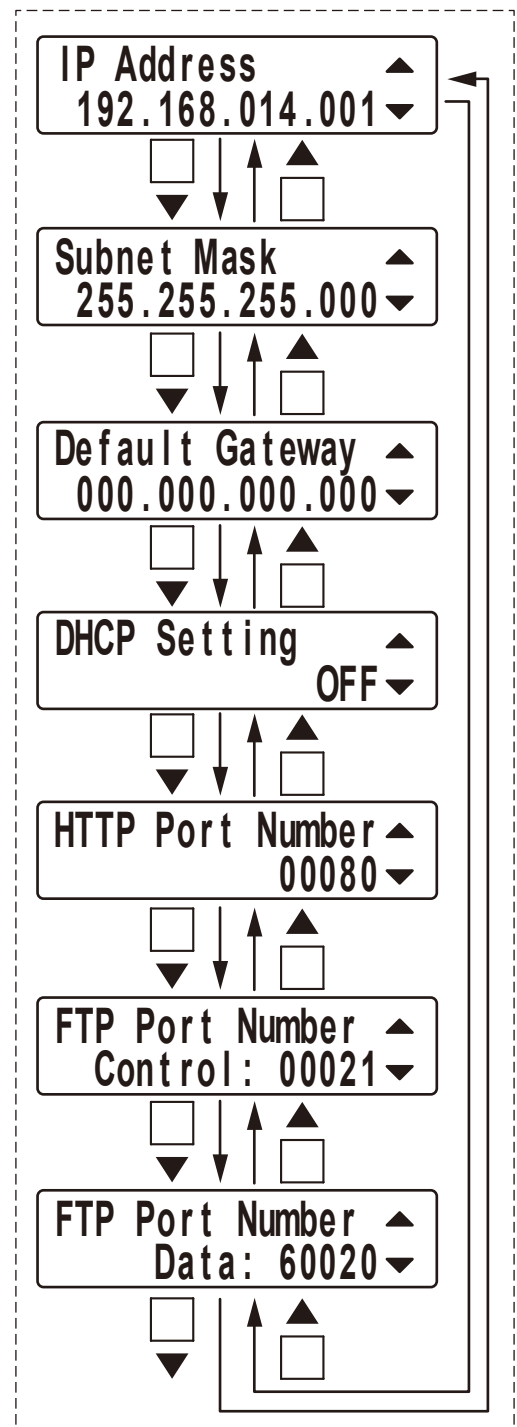


機器情報
LAN 設定表示 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

☐ ☐

LAN 設定表示画面



IP Address
192.168.014.001

Subnet Mask
255.255.255.000

Default Gateway
000.000.000.000

DHCP Setting
OFF

HTTP Port Number
00080

FTP Port Number
Control: 00021

FTP Port Number
Data: 60020

■ IP 再取得

機器が接続されているネットワークが DHCP を使用している場合に、使用可能な IP アドレスを自動で再取得します。

ご注意

次の 2 つの条件を満たしていないと再取得できません。

- ・ IP アドレス自動取得が有効になっている。(参照 P. 2-7)
- ・ 本機がサーバーやパソコンと通信していない。(参照 P. 3-4)

1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「IP 再取得」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

決定キーの代わりに戻るキーを押すと、運用画面に戻ります。

3 決定キーを押す。

再取得に成功すると「IP 再取得完了」と表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

3 秒経過すると機器情報項目選択画面に戻ります。

3 秒経過する前に、戻るキー、上下キー、または決定キーを押しても、機器情報項目選択画面に戻ります。

機器情報項目選択画面

機器情報
IP 再取得 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

IP を再取得？
 取消 決定

決定 ↓

IP 再取得完了



機器情報
IP 再取得 ◆

エラー画面が表示されたときは…

画面の表示	❗ IP 再取得失敗 ↓ 3 秒経過 機器情報 IP 再取得 ◆
表示されたときの状態	IP アドレスの再取得に失敗しました。
対処のしかた	ケーブル接続などが正しいことを確認し、IP 再取得の手順を再度繰り返してください。それでも解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 × モ 画面表示が「IP 再取得失敗」の状態のときは、戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、機器情報項目選択画面に戻ります。

■ 動作ログ取得

メモリーカードに動作ログファイルを作成します。

- 1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「動作ログ取得」を選択する。

- 2 決定キーを押す。

動作ログ取得画面が表示されます。

- 3 決定キーを押す。

「運用 CF へ保存？」と表示されます。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。

- 4 決定キーを押す。

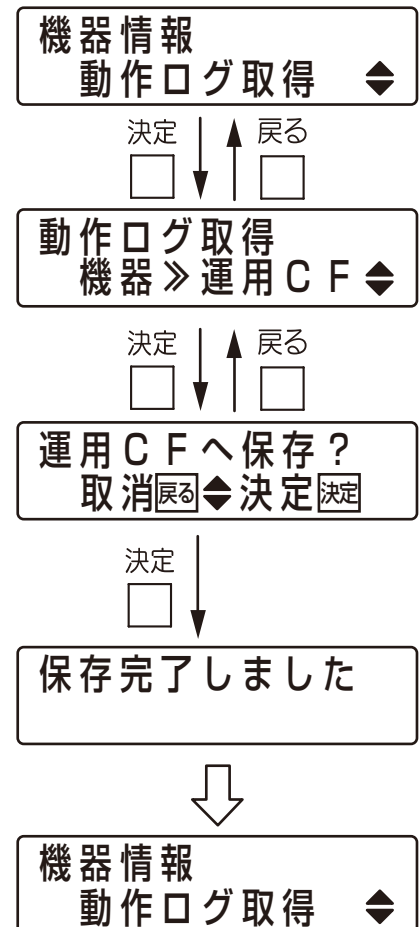
メモリーカードの保存に成功すると、「保存完了しました」と表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは、下表のとおり、対処してください。

3 秒経過すると手順 1 の機器情報項目選択画面に戻ります。

保存完了後、3 秒経過する前に、戻るキー、上下キー、または決定キーを押しても、機器情報項目選択画面に戻ります。

機器情報項目選択画面



エラー画面が表示されたときは…

画面の表示	！CFがありません	❗保存失敗 ↓ 3秒経過 機器情報 動作ログ取得 ◆
表示された ときの状態	メモリーカードが正常に取り付けられていません。	メモリーカードの容量不足などにより、動作ログファイルをメモリーカードに保存することができませんでした。
対処のしかた	メモリーカードを正しく取り付けてください。 (参照 P. 1-3 「メモリーカードの取り付け・取り外し」) ×モ 戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、保守管理項目選択画面に戻ります。	新しいメモリーカードを用意して、作業をしてください。 (参照 P. 1-3 「メモリーカードの取り扱い」) ×モ 画面表示が「保存失敗」の状態のときは、戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、機器情報項目選択画面に戻ります。

■ 内部時計補正

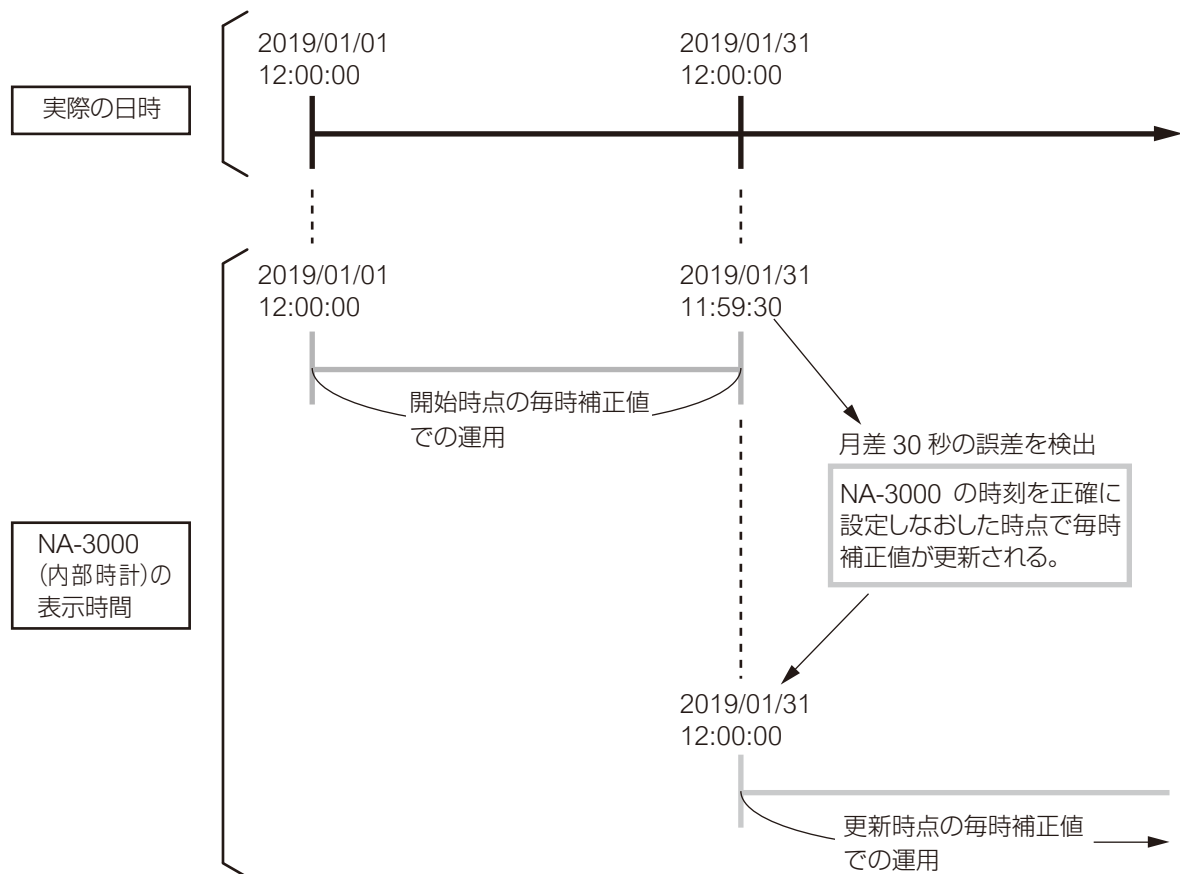
内部時計補正機能は、外部からの調時設定（[P. 2-18](#)）ができない場合、時刻変更時に機器内部時計から実際の時刻との遅れを検出し、その検出結果から内部時計を進めて補正をかけ、時計精度を改善する機能です。

メモ

この設定項目は、NA-3000 の基板タイプ（[P. 4-4](#)）が「0」の場合のみ表示されます。

内部時計補正機能の動作イメージは次のとおりです。

【2019 年 1 月 1 日～ 31 日まで計測し、月差 30 秒の誤差を検出した場合】



● 内部時計補正機能の使いかた

1 補正設定を ON にする。(☞ P. 4-10 「補正設定の ON/OFF 切り換えを変更するとき」)

2 機器の時刻を現在日時に正確に設定する。(☞ P. 3-17 「日時設定のしかた (メニュー画面での設定)」)

で注意

現在日時の設定は、機器前面のメニュー操作で行ってください。

3 補正開始時刻が記録されたことを確認する。(☞ P. 4-11 「補正開始時刻を確認するとき」)

計測開始日時が表示されていれば、毎時補正値の計測が正常に開始しています。

メモ

計測には**手順 1**の時点の毎時補正値が適用され、その毎時補正値で補正がかかりながら実行されます。

4 NA-3000 を 7 日以上動作させる。

メモ

動作させる日数が長い方が正確に計測できます。

5 機器の時刻を現在日時に正確に設定する。(☞ P. 3-17 「日時設定のしかた」)

NA-3000 を 7 日以上動作させて日付の設定をした時点で計測は完了です。

で注意

- NA-3000 が 7 日以上動作していない場合、計測は完了しません。
- 現在日時の設定は、機器前面のメニュー操作で行ってください。

6 毎時補正値を確認する。(☞ P. 4-12 「毎時補正値を確認するとき」)

6-1 補正の精度をさらに上げたいときは、手順 4 ～ 5 を繰り返し行う。

6-2 毎時補正値を確定するときは、手順 7 に進む。

7 内部時計補正機能をロックする。(☞ P. 4-13 「内部時計補正機能をロック状態にする」)

内部時計補正機能は作動していますが、毎時補正値が更新されなくなり、NA-3000 が最新の毎時補正値で動作します。

● 補正設定の ON/OFF 切り換えを変更するとき

ご注意

ロック状態 (P. 4-13) になっている場合は、補正設定の ON/OFF 切り換えはできません。

1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「内部時計補正」を選択する。

2 決定キーを押す。

内部時計補正項目選択画面が表示されます。

3 内部時計補正項目選択画面で上下キーを押して「補正設定」を選択する。

4 決定キーを押す。

補正設定の変更画面が表示されます。

× モ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、設定は変更されずに機器情報項目選択画面に戻ります。
- 初期設定は OFF です。

5 上下キーで、補正設定の ON、OFF を選択し、決定キーを押す。

設定が変更され、内部時計補正項目選択画面に戻ります。

機器情報項目選択画面

機器情報 内部時計補正 ◆



内部時計補正項目選択画面

内部時計補正 補正設定 ◆
内部時計補正 補正開始時刻 ◆
内部時計補正 毎時補正值 ◆



補正設定 OFF ◆
補正設定 ON ◆



内部時計補正 補正設定 ◆

● 補正開始時刻を確認するとき

ご注意

ロック状態（ P. 4-13）になっている場合は、補正開始時刻は更新されません。

1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「内部時計補正」を選択する。

2 決定キーを押す。

内部時計補正項目選択画面が表示されます。

3 内部時計補正項目選択画面で上下キーを押して「補正開始時刻」を選択する。

4 決定キーを押す。

補正開始時刻の確認画面が表示されます。

補正值の計測中の場合、計測開始日時が表示されます。

計測が開始されていない場合、「No Data」と表示されます。

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、機器情報項目選択画面に戻ります。

【補正開始時刻のクリアのしかた】

補正開始時刻は、次の手順でクリアできます。

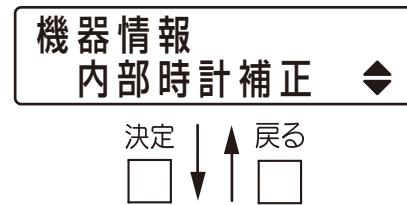
手順：補正開始時刻表示画面で、決定キーを3秒以上長押しする（押し続ける）。

補正開始時刻をクリアすると、表示が補正值の計測開始前の状態に戻ります。

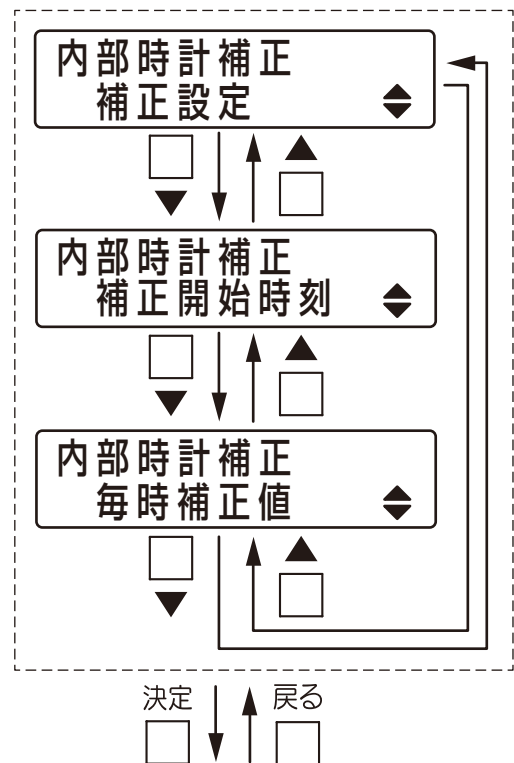
ご注意

ロック状態（ P. 4-13）になっている場合は、補正開始時刻のクリアはできません。

機器情報項目選択画面



内部時計補正項目選択画面



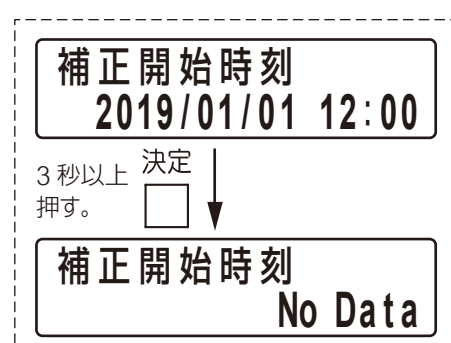
【計測中の表示例】

補正開始時刻
2019/01/01 12:00

または

【未計測時の表示】

補正開始時刻
No Data



● 毎時補正值を確認するとき

補正された値は、下記の手順で確認できます。
補正設定が ON になっているときは、1 時間あたりに毎時補正値分速く進むように、内部時計が補正されています。

ご注意

ロック状態（ P. 4-13）になっている場合は、補正値は更新されません。

1 機器情報項目選択画面で上下キーを押して「内部時計補正」を選択する。

2 決定キーを押す。
内部時計補正項目選択画面が表示されます。

3 内部時計補正項目選択画面で上下キーを押して「毎時補正值」を選択する。

4 決定キーを押す。
毎時補正值の確認画面が表示されます。
1 時間に何ミリ秒速く進むように補正されているかを確認できます。
毎時補正值の範囲は、0 ～ 230 ミリ秒（ms）です。

メモ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、機器情報項目選択画面に戻ります。
- 初期値は 114 ミリ秒です。

機器情報項目選択画面

機器情報
内部時計補正 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
☐ ☐

内部時計補正項目選択画面

内部時計補正
補正設定 ◆

☐ ↓ ↑ ☐

内部時計補正
補正開始時刻 ◆

☐ ↓ ↑ ☐

内部時計補正
毎時補正值 ◆

☐ ↓ ↑ ☐

決定 ↓ ↑ 戻る
☐ ☐

毎時補正值
114ms

【内部時計補正機能をロック状態にする】

内部時計補正機能をロック状態にすることで、毎時補正值の計測や更新を停止し、毎時補正值を確定することができます。

ロック状態では、内部時計補正機能に関する次の操作や更新ができなくなります。

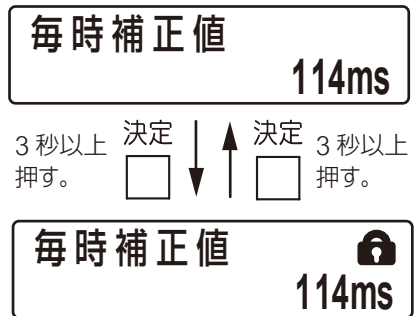
- 補正設定の ON/OFF 切り換え
- 補正開始時刻の更新およびクリア
- 補正值の更新

1 ロック状態にするには、毎時補正值画面で決定キーを 3 秒以上長押しする（押し続ける）。

ロック状態になると、画面の右上に錠前アイコンが表示されます。

2 ロック状態を解除するには、決定キーを 3 秒以上長押しする（押し続ける）。

ロック状態が解除されると、画面右上の錠前アイコンの表示が消えます。



機器設定を変更する

機器の設定を変更します。

- 1 メンテナンスメニュー画面で上下キーを押して「2. 機器設定」を選択する。

- 2 決定キーを押す。

機器設定項目選択画面が表示されます。

選択項目は次のとおりです。

- (1) 通信設定 (P. 4-15)
- (2) 画面設定 (P. 4-18)

メモ

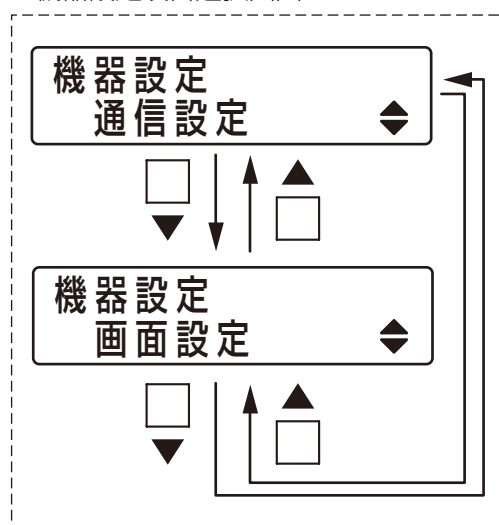
メニューキーを押すと運用画面に戻ります。

機器設定画面(メンテナンスメニュー)

メンテナンス
2. 機器設定

決定 ↓ ↑ 戻る

機器設定項目選択画面



■ 通信設定

通信に関する下記の設定を変更します。

- ・ DHCP 設定の ON、OFF ( P. 4-15)
- ・ プロキシ設定の ON、OFF ( P. 4-16)
- ・ サーバー通信の ON、OFF * ( P. 4-17)

* この設定を OFF にすると、「WEB サーバー」、「NTP サーバー」と接続しません。

● DHCP 設定を変更するとき

1 機器設定項目選択画面で上下キーを押して「通信設定」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示され、「通信が停止しますがよろしいですか？」とスクロール表示されます。

通信が停止しても、放送は継続されます。

3 決定キーを押す。

通信設定選択画面が表示されます。

選択項目は次のとおりです。

- ・ DHCP 設定
- ・ プロキシ設定
- ・ サーバー通信

4 上下キーで「DHCP 設定」を選択して、決定キーを押す。

DHCP 設定の変更画面が表示されます。

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、設定は変更されずに機器設定項目選択画面に戻ります。

5 上下キーで、DHCP 設定の ON、OFF を選択し、決定キーを押す。

設定が変更され、通信設定選択画面に戻ります。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。

機器設定項目選択画面

機器設定

通信設定 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

通信が停止しますが

取消  決定 

決定 ↓

通信設定選択画面

通信設定

DHCP 設定 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

通信設定

サーバー通信 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

DHCP 設定

OFF ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

DHCP 設定

ON ◆

決定 ↓

通信設定

DHCP 設定 ◆

● プロキシ設定を変更するとき

ご注意

この操作は、ファームウェアが Ver. 3.3.0 以降の場合のみ可能です。

1 機器設定項目選択画面で上下キーを押して「通信設定」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示され、「通信が停止しますがよろしいですか？」とスクロール表示されます。

メモ

通信が停止しても、放送は継続されます。

3 決定キーを押す。

通信設定選択画面が表示されます。

選択項目は次のとおりです。

- ・ DHCP 設定
- ・ プロキシ設定
- ・ サーバー通信

4 上下キーで「プロキシ設定」を選択して、決定キーを押す。

プロキシ設定の変更画面が表示されます。

メモ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、設定は変更されずに機器設定項目選択画面に戻ります。

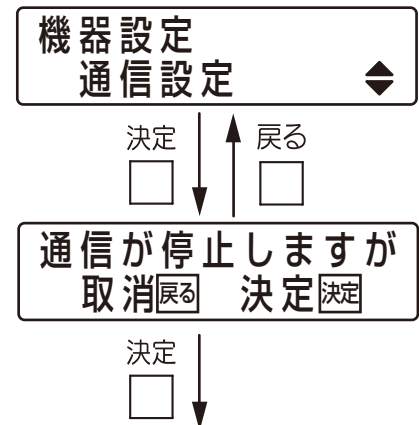
5 上下キーで、プロキシ設定の ON、OFF を選択し、決定キーを押す。

設定が変更され、通信設定選択画面に戻ります。

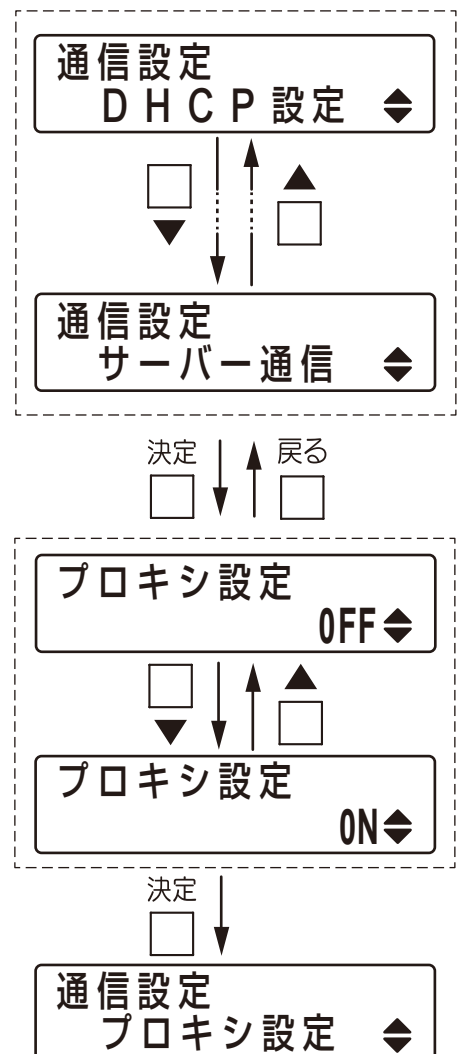
メモ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。

機器設定項目選択画面



通信設定選択画面



● サーバー通信の設定を変更するとき

1 機器設定項目選択画面で上下キーを押して「通信設定」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示され、「通信が停止しますがよろしいですか？」とスクロール表示されます。

× モ

通信が停止しても、放送は継続されます。

3 決定キーを押す。

通信設定選択画面が表示されます。
選択項目は次のとおりです。

- ・ DHCP 設定
- ・ プロキシ設定
- ・ サーバー通信

4 上下キーで「サーバー通信」を選択して、決定キーを押す。

サーバー通信設定の変更画面が表示されます。

× モ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、機器設定項目選択画面に戻ります。

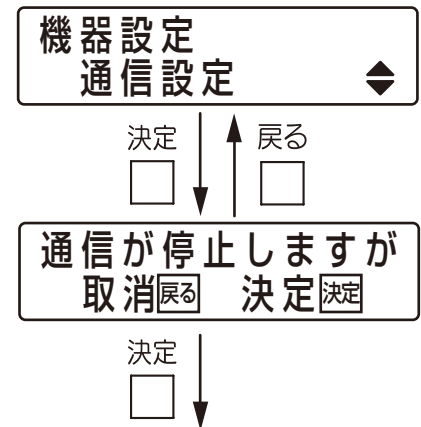
5 上下キーで、サーバー通信の ON、OFF を選択し、決定キーを押す。

設定が変更され、通信設定選択画面に戻ります。

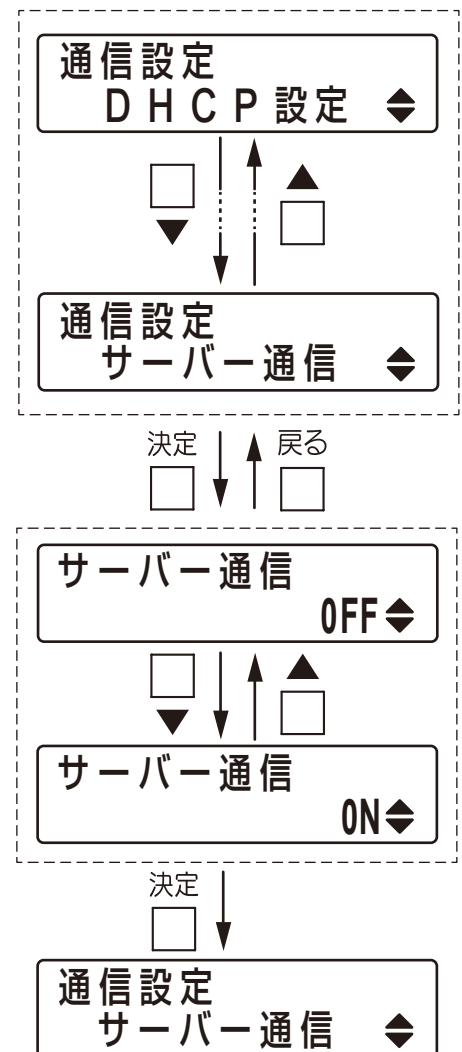
× モ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。

機器設定項目選択画面



通信設定選択画面



■ 画面設定

表示部に表示される文字がスクロールする場合の速度を設定します。

- 1 機器設定項目選択画面で上下キーを押して「画面設定」を選択する。

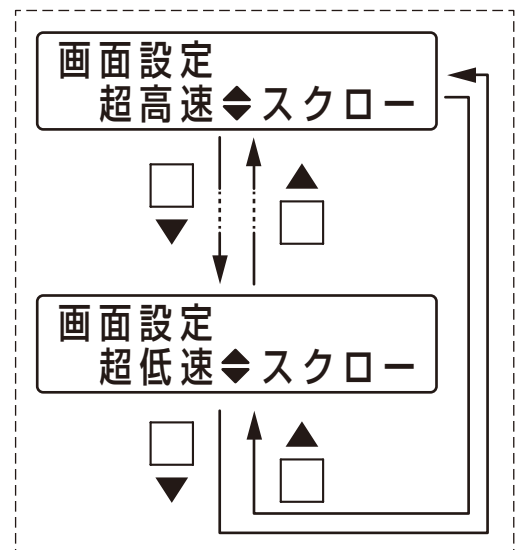
機器設定項目選択画面



- 2 決定キーを押す。

画面設定画面が表示されます。

画面設定画面



- 3 上下キーを押して表示部がスクロールする速度を選択する。

速度は次の5段階で設定できます。

- ・超高速 (速い)
- ・高速
- ・中速
- ・低速
- ・超低速 (遅い)

[画面設定画面の例]



「スクロール速度変更」という文字が、左側に表示されている速度（上の例では「超高速」）でスクロールします。



- 4 決定キーを押す。

表示部のスクロール速度が設定され、機器設定項目選択画面に戻ります。

メモ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、設定は変更されずに運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、設定は変更されずに手順1の機器設定項目選択画面に戻ります。



詳細エラーを確認する

本機に発生したエラーの内容と発生日時が確認できます。

すでに確認されたエラー表示も解除されないため、メニュー画面（ P. 3-8）で再表示できないエラーも確認できます。エラーの履歴表示は最大 99 件で、その件数を越えた場合は日付の古い履歴から削除されます。エラー表示灯が点滅している場合は、エラー確認をすると、エラー表示灯は消灯します。

メモ

メニュー画面でもエラー内容の確認はできますが、一度エラー表示を確認した後は再表示できません。

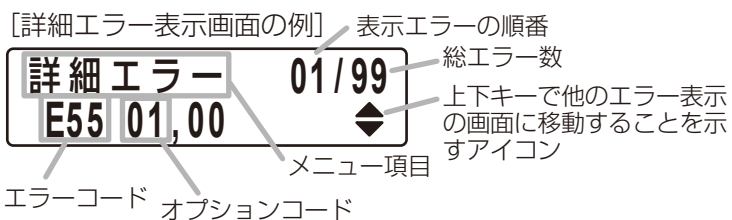
【確認のしかた】

- 1 メンテナンスメニュー画面で、上下キーを押して「3. 詳細エラー」を選択する。

- 2 決定キーを押す。

詳細エラー表示画面が表示されます。

エラーコードの内容とオプションコードについては、エラーコード一覧表（ P. 6-3）で確認してください。



メモ

- 発生日付の新しいエラーから順番に表示されます。
- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、エラー表示灯が消灯して運用画面に戻ります。
- 決定キーの代わりに戻るキーを押すと、エラー表示灯が消灯してメンテナンスメニュー画面に戻ります。

- 3 複数のエラーがあるときは、上下キーでエラー表示を切り換える。

- 4 発生日時を確認したいときは、決定キーを押す。

発生した年月日時分秒*が表示されます。

* 右図の例は 2018 年 12 月 30 日 18 時 45 分 37 秒を示しています。

メモ

決定キーを押した後に決定キーまたは戻るキーを押すと、手順 2 の詳細エラー確認画面に戻ります。

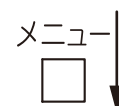
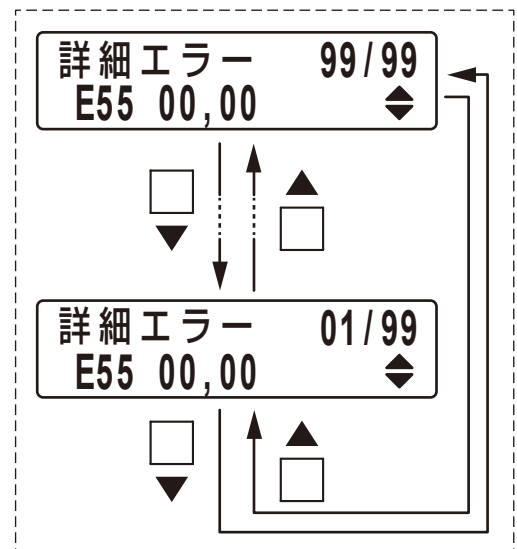
- 5 エラーの詳細内容確認が終了したら、メニューキーを押す。

エラー表示灯が消灯し、運用画面に戻ります。

詳細エラー画面(メンテナンスメニュー)



詳細エラー表示画面



保守管理を行う

各種保守管理作業を行います。

ご注意

保守管理作業中は、コンテンツの再生と外部サーバーとの通信が停止し、本機の運用はできません。

【保守管理作業の開始のしかた】

1 メンテナンスメニュー画面で、上下キーを押して「4. 保守管理」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示され、「再生・通信が停止しますがよろしいですか？」とスクロール表示されます。

3 決定キーを押す。

機器の運用が停止し、保守管理項目選択画面が表示されます。

選択項目は次のとおりです。

- (1) 設定保存 (P. 4-22)
- (2) 設定読み込み (P. 4-23)
- (3) 設定初期化 (P. 4-24)
- (4) アクセス設定 (P. 4-25)
- (5) データ転送 (P. 4-26)
- (6) 接続確認 (P. 4-27)
- (7) ファーム更新 (P. 4-29)

メモ

決定キーの代わりに戻るキーを押すと、機器の運用を継続したままで**手順1**のメンテナンスメニュー画面に戻ります。

保守管理画面(メンテナンスメニュー)

メンテナンス
4. 保守管理 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

再生・通信が停止し
取消戻る 決定決定

決定
□ ↓

保守管理項目選択画面

保守管理
設定保存 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

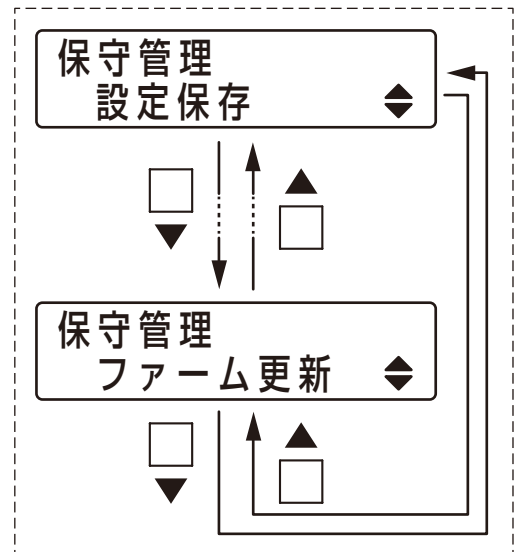
保守管理
ファーム更新 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

[保守管理作業の終了のしかた]

- 1** 保守管理項目選択画面で、戻るキーかメニューキーを押す。

保守管理項目選択画面

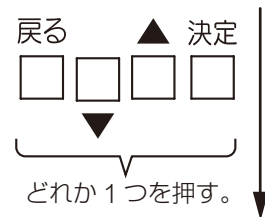


メニュー 戻る
☐ または ☐

表示部に「再生・通信が再開します」とスクロール表示されます。

再生・通信が再開し

- 2** 戻るキー、上下キー、または決定キーを押す。



本機の運用が再開し、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

メンテナンスメニュー画面

メンテナンス
4. 保守管理

■ 設定保存

機器の更新で置き換えをする場合などに、メモリーカードを使用して機器の設定を引き継ぐことができます。設定保存画面では、現在の機器設定ファイル（ファイル名：NA3000.cfg）を運用メモリーカードに保存します。

- 1** 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「設定保存」を選択する。

- 2** 決定キーを押す。

設定保存画面が表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

- 3** 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

- 4** 決定キーを押す。

運用メモリーカードに現在の機器設定ファイルが保存されます。

保存が完了すると、完了画面が表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

3 秒経過すると**手順 1**の保守管理項目選択画面に戻ります。

メ モ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。
- 保存完了後、3 秒経過する前に戻るキー、上下キー、または決定キーを押しても、保守管理項目選択画面に戻ります。

保守管理項目選択画面

保守管理
設定保存



設定保存
機器 » 運用 C F



運用 C F へ 保存 ?
 取消 **戻る** 決定 **決定**



保存完了しました



保守管理
設定保存

エラー画面が表示されたときは…

画面の表示	! C F がありません	❗ 保存失敗 ↓ 3 秒経過 保守管理 設定保存
表示されたときの状態	運用メモリーカードが正常に取り付けられていません。	運用メモリーカードの容量不足などにより、機器設定ファイルを運用メモリーカードに保存することができませんでした。
対処のしかた	運用メモリーカードを正しく取り付けてください。（ メ モ P. 1-3 「メモリーカードの取り付け・取り外し」） メ モ 戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、保守管理項目選択画面に戻ります。	新しい運用メモリーカードを用意して、作業をしてください。（ メ モ P. 1-3 「メモリーカードの取り扱い」） メ モ 画面表示が「保存失敗」の状態のときは、戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、保守管理項目選択画面に戻ります。

■ 設定読み込み

機器の更新で置き換えをする場合などに、メモリーカードを使用して機器の設定を引き継ぐことができます。設定読み込み画面では、運用メモリーカードスロットに、機器設定ファイル（ファイル名：NA3000.cfg）が保存されたメモリーカードを取り付けて、保存された機器設定ファイルを読み込んで、機器の設定を更新します。あらかじめ、運用メモリーカードスロットに、機器設定ファイルが保存されたメモリーカードを取り付けておいてください。（ P. 1-3 「メモリーカードの取り扱い」）

1 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「設定読み込み」を選択する。

2 決定キーを押す。

設定読み込み画面が表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

3 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

4 決定キーを押す。

運用メモリーカードから機器設定ファイルが読み込まれます。

読み込みが完了すると、完了画面が表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

3 秒経過すると**手順 1**の保守管理項目選択画面に戻ります。

 **メモ**

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。
- 転送完了後、3 秒経過する前に戻るキー、上下キー、または決定キーを押しても、保守管理項目選択画面に戻ります。

保守管理項目選択画面

保守管理
設定読み込み ◆

決定 ↓ ↑ 戻る

☐ ☐

設定読み込み
機器<<運用CF

決定 ↓ ↑ 戻る

☐ ☐

運用CFから読込？
取消 決定

決定 ↓

☐

読込完了しました



保守管理
設定読み込み ◆

エラー画面が表示されたときは…

画面の表示	！CFがありません	！設定ファイルがあ （！設定ファイルがありません） ↓ 3 秒経過 保守管理 設定読み込み ◆
表示された ときの状態	運用メモリーカードが正常に取り付けられていません。	運用メモリーカードに機器設定ファイルがありません。
対処のしかた	運用メモリーカードを正しく取り付けてください。（  P. 1-3 「メモリーカードの取り付け・取り外し」）  メモ 戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、保守管理項目選択画面に戻ります。	機器設定ファイルが保存された運用メモリーカードに交換して、作業をしてください。（  P. 1-3 「メモリーカードの取り付け・取り外し」）  メモ 画面表示が「！設定ファイルがありません」の状態のときは、戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、保守管理項目選択画面に戻ります。

■ 設定初期化

機器の設定を工場出荷状態に戻す場合に使用します。

初期化する対象を「機器固有値のみ」（「ネットワーク」と「外部サーバー」以外）または「全設定値」から選択できます。初期値については2章「ブラウザーでの設定」を参照してください。

- 1 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「設定初期化」を選択する。**

保守管理項目選択画面

保守管理
設定初期化 ◆

- 2 決定キーを押す。**

設定初期化対象選択画面が表示されます。

決定
↓
☐

↑
戻る
☐

設定初期化対象選択画面

- 3 上下キーを押して、初期化したい対象を選択する。**

機器固有値のみ：「ネットワーク」と「外部サーバー」以外の情報を初期化

すべての設定値：すべての設定値を初期化

設定初期化
機器固有値のみ ◆

↓
☐

↑
☐

設定初期化
すべての設定値 ◆

- 4 決定キーを押す。**

確認画面が表示されます。

× モ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

機器固有値初期化？
 取消 ☐ 戻る 決定 ☐ 決定

または

全設定値初期化？
 取消 ☐ 戻る 決定 ☐ 決定

- 5 決定キーを押す。**

選択した初期化対象が初期化されます。

初期化が完了すると、完了画面が表示されます。

決定
↓
☐

初期化完了しました



保守管理
設定初期化 ◆

3 秒経過すると**手順 1**の保守管理項目選択画面に戻ります。

× モ

- 決定キーの代わりにメニューキーを押すと、初期化されずに機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。
- 初期化完了後、3 秒経過する前に戻るキー、上下キー、または決定キーを押しても、保守管理項目選択画面に戻ります。

■ アクセス設定

ブラウザでの設定時に機器にログインできないなど、ネットワーク設定が不明になった場合に、一時的にネットワーク設定を初期値に戻してログインすることができます。

- 1 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「アクセス設定」を選択する。

保守管理項目選択画面

保守管理
 アクセス設定 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
☐

- 2 決定キーを押す。
確認画面が表示されます。

初期値に一時変更？
 取消 ☐ 決定 ☐

決定 ↓
☐

- 3 決定キーを押す。
ネットワーク設定が一時的に初期値になります。
一時的に初期値になる設定項目は次のとおりです。

- DHCP
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ポート番号
- HTTP ユーザー情報
- 内部 FTP ユーザー情報

ご注意

LAN 設定初期状態のときは、機器を再起動しないでください。

メモ

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

LAN 設定初期状態

メニュー 戻る
☐ または ☐ ↓

保守管理
 アクセス設定 ◆

- 4 機器設定値に戻すときは、戻るキーまたはメニューキーを押す。

設定が機器設定値になり、手順 1 の保守管理項目選択画面に戻ります。

ご注意

LAN 設定初期状態で設定変更を行い機器設定値に戻した場合、以下の設定項目は LAN 設定初期状態中の設定変更が反映されません。

- DHCP
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- ポート番号

■ データ転送

NA-3000 スケジュール書き込みソフトウェアとデータのやり取りができる状態にします。

ご注意

- この操作は、ファームウェアが Ver. 3.2.0 以降の場合のみ可能です。
- ソフトウェアとの接続は、**手順 2** の画面を表示させた後に行ってください。

- 1** 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「データ転送」を選択する。

保守管理項目選択画面

保守管理
データ転送 ◆

- 2** 決定キーを押す。

「データ転送可能状態」と表示され、ソフトウェアと接続できる状態になります。



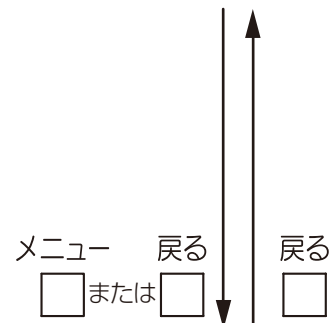
データ転送可能状態

- 3** ソフトウェアから NA-3000 に接続し、データ転送をする。

ソフトウェアからの操作については、別冊の NA-3000 スケジュール書き込みソフトウェア取扱説明書をお読みください。

(ソフトウェアとの通信中はこの画面が表示されたままにする。)

- 4** データ転送が終わったら、ソフトウェアから NA-3000 との接続を切断する。



- 5** 戻るキーまたはメニューキーを押す。

確認画面が表示されます。

転送可能状態解除？
 取消 ☐ 戻る ☐ 決定 ☐

- 6** 決定キーを押す。

接続可能状態が解除され、**手順 1** の保守管理項目選択画面に戻ります。



保守管理
データ転送 ◆

■ 接続確認

外部サーバーとの接続を確認します。(P. 2-8「外部サーバー通信設定」)

ご注意

この操作は、ファームウェアが Ver. 3.3.0 以降の場合のみ可能です。

1 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「接続確認」を選択する。

保守管理項目選択画面

保守管理	◆
接続確認	◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

2 決定キーを押す。

接続確認対象選択画面が表示されます。

接続確認対象選択画面

接続確認	◆
NTP (1st)	◆
↓	↑
□	□
↑	↓
□	□
接続確認	◆
WEB	◆

決定 ↓ ↑ 戻る
□ □

4 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

☒ ☒

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

NTP (1st) 接続確認
取消☒ 決定☒
または
NTP (2nd) 接続確認
取消☒ 決定☒
または
WEB 接続確認?
取消☒ 決定☒

次ページへ

5 決定キーを押す。

選択したサーバーに対して、接続確認を行います。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、接続確認されずに機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

接続確認が成功すると、右の画面が表示されます。

前ページから

決定



接続確認中…



接続成功しました

決定



接続確認対象選択画面

接続確認
NTP (1st) ◆

または

接続確認
NTP (2nd) ◆

または

接続確認
WEB ◆

戻る



保守管理項目選択画面

保守管理
接続確認 ◆

7 戻るキーを押す。

手順 1 の保守管理項目選択画面に戻ります。

エラー画面が表示されたときは…

画面の表示	接続失敗 * * * ***：エラー内容が表示されます。
表示されたときの状態	指定サーバーへの接続に失敗しました。
対処のしかた	エラー表示に対応する対処のしかた（P. 6-4「外部サーバー接続確認エラー一覧」）を確認の上、再度接続確認の手順を実施してください。 × モ 戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、接続確認対象選択画面に戻ります。

■ ファームウェアの更新

ネットワーク経由でブラウザーによる本機のファームウェアの更新ができない場合に、本機に取り付けたメモリーカードからファームウェアを更新することができます。

あらかじめ、ファームウェアの更新データ（ファイル名:NA3K***.bin）をメモリーカードに保存し、そのカードを運用メモリーカードスロットに取り付けておいてください。

- 1 保守管理項目選択画面で、上下キーを押して「ファーム更新」を選択する。

- 2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

決定キーの代わりにメニューキーを押すと、機器の運用が再開され、メンテナンスメニュー画面に戻ります。

- 3 決定キーを押す。

ファームウェア更新が始まります。

更新中は表示部に「更新中・・・」と表示されます。

※ エラー画面が表示されたときは下表のとおり対処してください。

- 4 「再起動して下さい」と表示されたら、メニューキーを3秒以上押す。

本機が再起動します。

保守管理項目選択画面

保守管理
ファーム更新 ◆

決定 ↓ ↑ 戻る
☐ ☐

Ver. 3.00.01に更新
 取消 決定

決定 ↓
☐

更新中・・・



再起動して下さい

メニュー ↓
3 秒以上
押す。 ☐ (再起動)

エラー画面が表示されたときは…

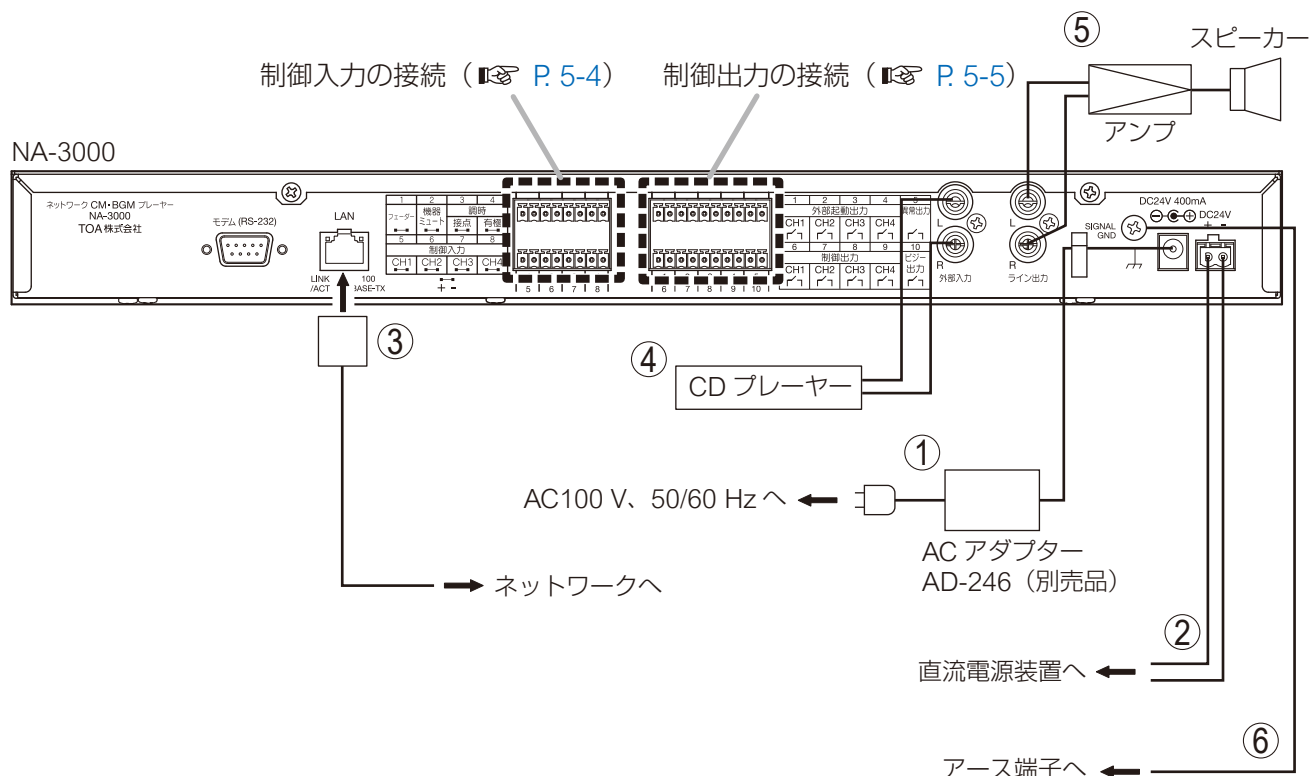
画面の表示	！更新用ファイルが （！更新用ファイルがありません）	❗ファーム更新失敗 ↓ 3秒経過 保守管理 ファーム更新 ◆
表示されたときの状態	ファームウェアの更新データがメモリーカードに保存されていません。	ファームウェアの更新に失敗しました。
対処のしかた	ファームウェアの更新ファイルが保存された運用メモリーカードに交換して、作業をしてください。（ P. 1-3「メモリーカードの取り付け・取り外し」） ×モ 戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、保守管理項目選択画面に戻ります。	更新データが正しいことを確認し、再度更新の手順を繰り返してください。 ×モ 画面表示が「！ファーム更新失敗」の状態のときは、戻るキー、上下キー、または決定キーを押すと、確認画面に戻ります。

第 5 章

設置・接続

接続のしかた

本機に、外部機器などを次のとおりに接続します。



■ 電源の接続

AC アダプターまたは DC24 V 電源を使用します。

本機には電源スイッチがないため、どちらかの電源を接続すると起動します。

× モ

AC アダプター入力端子と DC 電源入力端子の両方に電源供給すると、電圧の高い方から電源が供給されます。

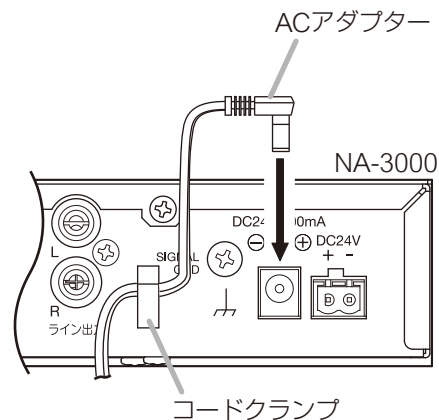
① AC アダプターの接続

⚠ 注意

AC アダプターを使用するときは、別売の AD-246 を使用してください。

それ以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

AC アダプターのプラグが抜けないように、右図のようにコードクランプに固定してください。



② DC 電源の接続

DC24 V 電源は別途ご用意ください。

接続には付属の着脱式ターミナルプラグ 2P を使用します。(参照 P. 5-7 「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」)

表示の極性どおりに接続してください。

■ LAN の接続

③ LAN の接続

インターネットに接続可能なネットワークに接続します。
同一のネットワークに接続したパソコンから各種設定をすることができます。
接続可能なネットワークインターフェース：100BASE-TX

■ 外部機器の接続

④ 外部演奏機器の接続

CD プレーヤーなどの外部演奏機器を接続し、本機が再生するスケジュールとは別に、任意の音楽などを放送することができます。

外部入力仕様：0 dB（0 dB = 1 V）、10 k Ω 、RCA ピンジャック（ステレオ）、不平衡

- 外部演奏機器がモノラルのときは、L 側に接続してください。
- 外部演奏機器の音量は、メニュー画面の「外部入力音量」で調節できます。

⑤ 外部アンプの接続

本機からの出力を、外部アンプやミキサーなど、別の機器に入力することができます。
ライン出力仕様：0 dB（0 dB = 1 V）、600 Ω 、RCA ピンジャック（ステレオ）、不平衡

- 外部アンプがモノラルのときは L 側に接続してください。
- 出力音量レベルは、前面の音量調節つまみで調節できます。

■ 機能アースの接続

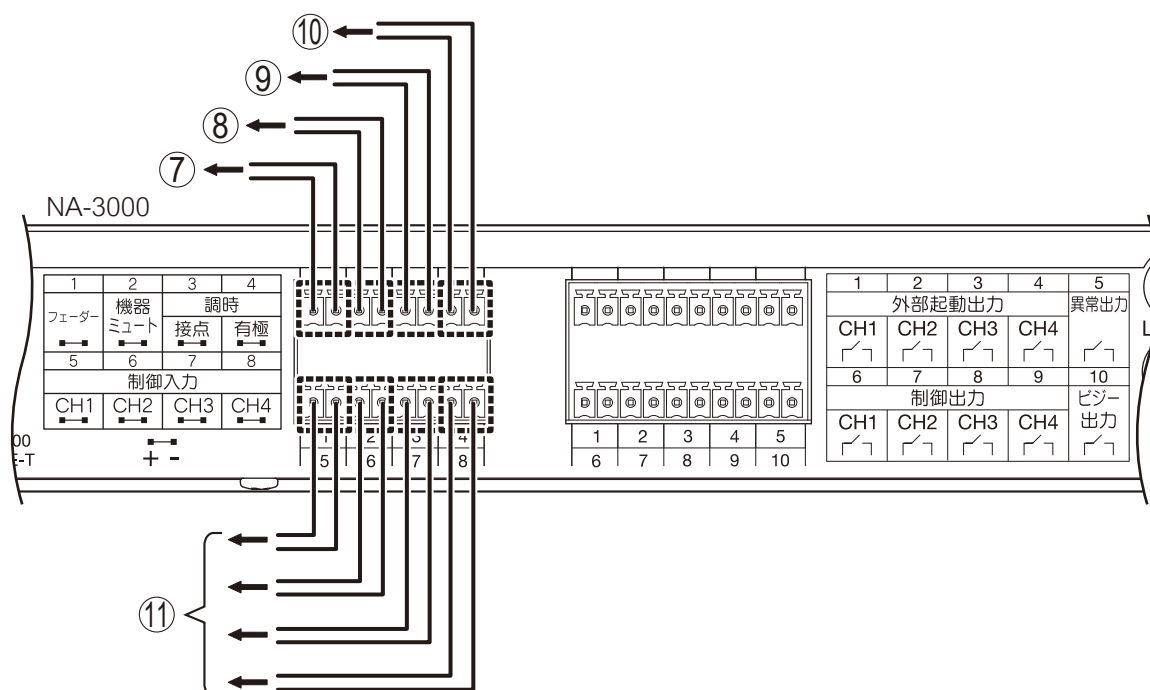
⑥ 機能アースの接続

アース端子や筐体アースに接地してください。

ご注意

本機の機能アース端子は安全アースではありません。

■ 制御入力端子の接続



⑦ フェーダー入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上
メイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

⑧ 機器ミュー入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上
メイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

● 調時入力

本機の内部時計は、外部時計と同期がとれます。同期がとれる外部時計は、次の2種類です。

- 無電圧メイク接点を出力する親時計
- 有極式親時計

⑨ 調時(接点)入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上
調時(接点)入力端子に、無電圧メイク接点を出力する親時計の接点出力線を接続します。

⑩ 調時(有極)入力端子

DC24 V、30 秒有極信号、パルス幅 0.5 秒
調時(有極)入力端子に有極式親時計の有極信号出力線を接続します。

ご注意

- 有極式親時計の有極信号出力は、必ず調時(有極)入力端子に接続してください。調時(接点)入力端子に接続すると回路が破壊されることがあります。
- 調時(有極)入力端子と調時(接点)入力端子の併用はしないでください。
- 30 秒有極信号以外の信号を調時(有極)入力端子に入力しないでください。本機の内部時計がずれることがあります。親時計によっては、自動合わせ機能などにより、30 秒有極信号以外の信号を出力するものがあります。

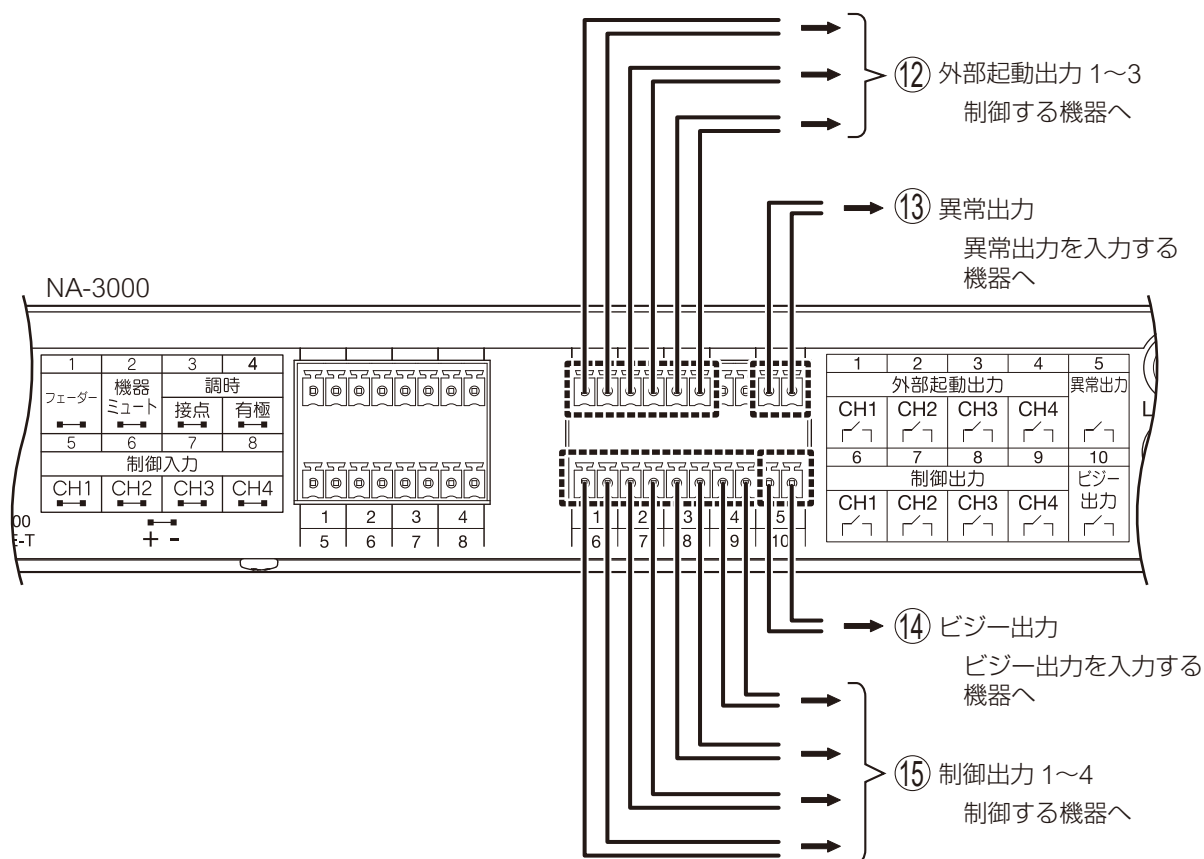
メ 毛

外部機器の時計との同期のタイミングが 30 秒ほどずれる場合は、調時(有極)入力端子のプラスとマイナスの線を逆に接続すると、症状が解消することがあります。

⑪ 制御入力端子

無電圧メイク、開放電圧 DC30 V 以下、短絡電流 10 mA 以下、短絡時間 100 ms 以上
メイク接点を出力する外部制御機器を接続します。

■ 制御出力端子の接続



制御線を接続し、本機から各種信号を出力します。
接続には付属の着脱式ターミナルプラグ 10P を使用します。
( P 5-7「着脱式ターミナルプラグの接続のしかた」)

- 該当する端子間からメイク信号が出力されます。該当する動作が継続している間は、接点がメイクした状態を保持します。
- 信号の仕様は次のとおりです。
 - 接点種別：リレー接点出力
 - 接点容量：DC30 V、0.5 A

⑫ 外部起動出力 1 ～ 3

スケジュールで設定された時間に従ってメイク信号を出力します。

- 外部起動出力端子 1 ～ 3 から、それぞれメイク信号を出力します。
- 3 つの信号は独立して動作するので、スケジュールで自由に設定することができます。

【ご注意】

外部起動出力端子 4 は使用しません。

⑬ 異常出力

機器またはメモリーカードに異常があるときと機器の電源が停止しているときに、外部機器に対してメイク信号を出力します。

⑭ ビジー出力

コンテンツを再生しているときに、外部機器に対してメイク信号を出力します。

【メモ】

外部機器から放送しているときにビジー信号を出力するには、本機の設定が必要です。

- ビジー信号を出力しているときは、本機から放送していることを示します。
- ビジー信号を出力していないときは、本機から何も放送していないことを示します。

⑮ 制御出力 1 ～ 4

設定された機能に従ってメイク信号を出力します。

■ 着脱式ターミナルプラグの接続のしかた

ご注意

- 着脱式ターミナルプラグに結線するときは、マイナスドライバーを使用してください。
- より線、シールド線を使用するときは、むきしろ部分にはんだめっきをしないでください。
線材を締め付けたときに、はんだスズが破碎し接触抵抗が高くなるため、接続部の温度が異常に上昇することがあります。
- 接続電線サイズ

	DC 電源入力端子	それ以外
導体断面積	0.2~2.5 mm ²	0.14~1.5 mm ²
AWG	AWG24~12 相当	AWG28~16 相当

- 1つの端子に2本の線材を接続する場合や信号線を接続する場合などに、心線がばらけるのを防ぐためには、絶縁スリーブ付き棒端子で圧着してください。

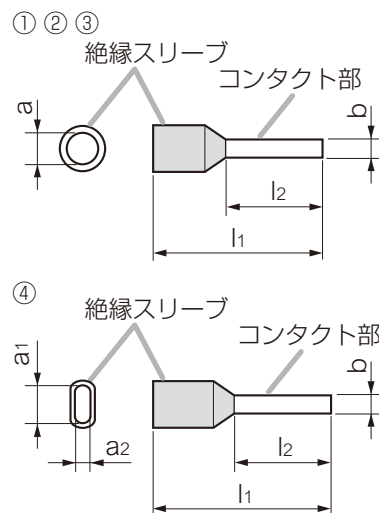
推奨棒端子：信号線用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	b	l ₁	l ₂
①	AI 0,34-8 TQ	2 mm	0.8 mm	12.5 mm	8 mm
②	AI 0,5-8 WH	2.5 mm	1.1 mm	14 mm	8 mm

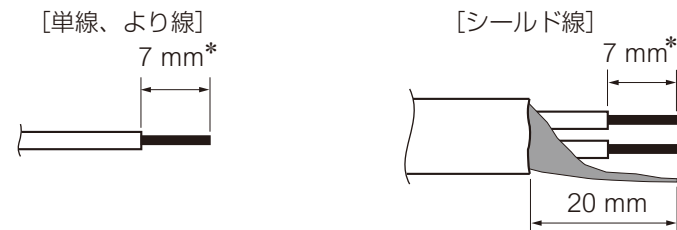
推奨棒端子：DC 電源入力端子用（フェニックス・コンタクト製）

	品番	a	a ₁	a ₂	b	l ₁	l ₂
③	AI 1,5-8 BK	3.4 mm	—	—	1.8 mm	14 mm	8 mm
④	AI-TWIN 2x1,5-8 BK	—	6.6 mm	3.6 mm	2.3 mm	16 mm	8 mm

かしめ工具：CRIMPFOX 10S（フェニックス・コンタクト製）



- 線材のむきしろ



* 絶縁スリーブ付き棒端子を使用する場合は8 mm以上とし、はみ出た分はカットしてください。

● 配線手順

1 着脱式ターミナルプラグに線材を接続する。

1-1 端子ねじをゆるめて、線材を差し込む。

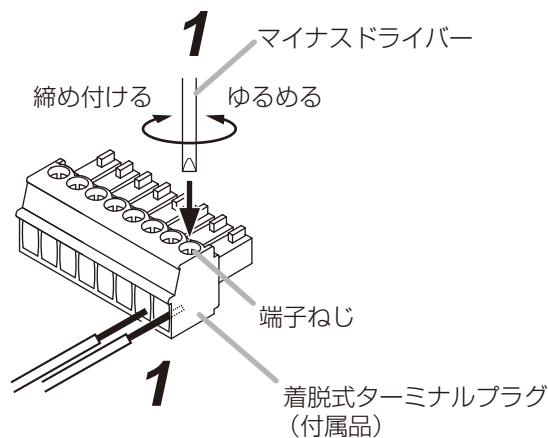
1-2 端子ねじをしっかりと締め付ける。

線材を引っ張って抜けないことを確認してください。
抜けたら、端子ねじをゆるめてやり直してください。

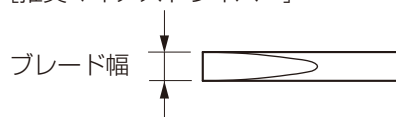
2 ターミナルプラグを機器側のターミナルブロックに差し込む。

ご注意

手順の1と2を逆にしないでください。
端子ねじを締め付けるときに、ボードとの接続部のコネクターピンに力が加わり、接触不良になる恐れがあります。



[推奨マイナスドライバー]

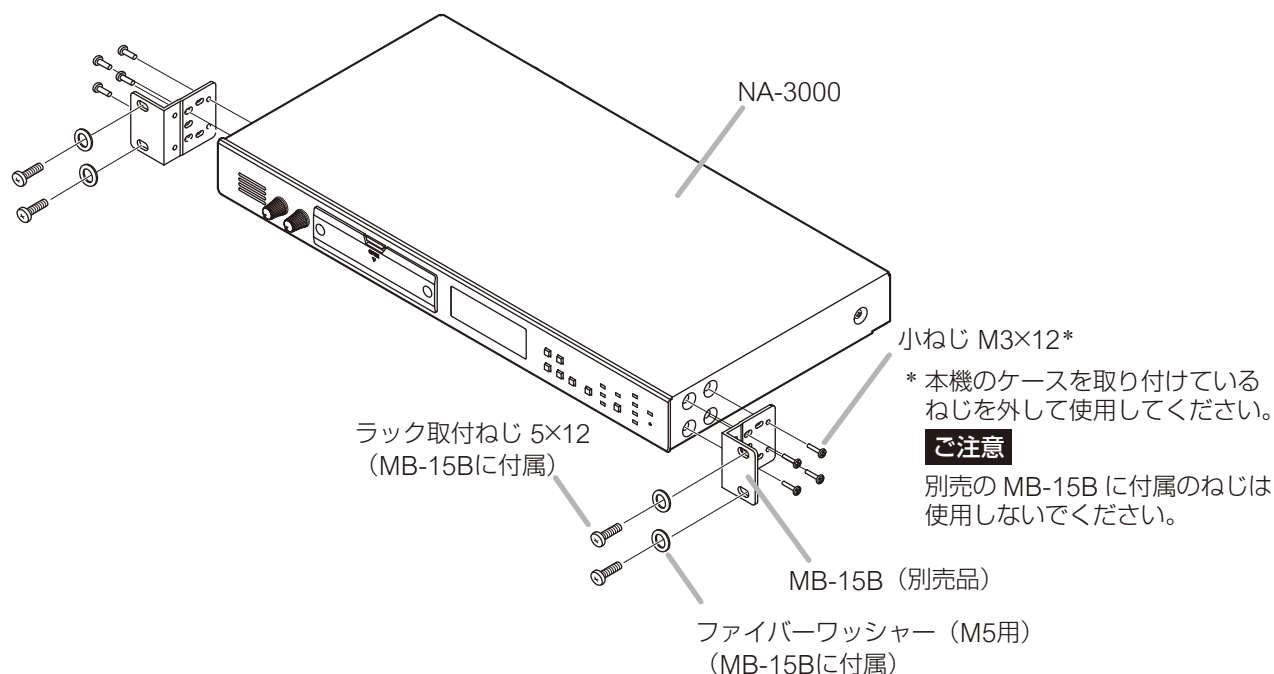


DC電源入力端子の場合：ブレード幅が3.5 mm程度のもの
それ以外の場合：ブレード幅が2.5 mm程度のもの

設置のしかた

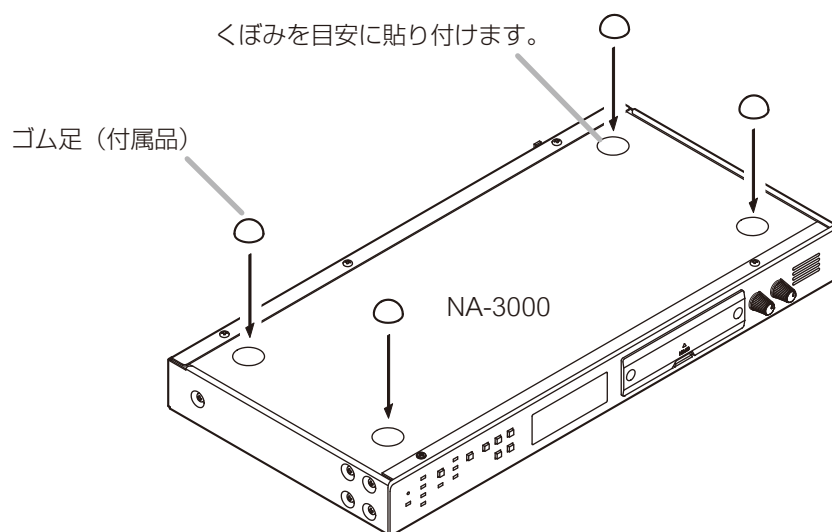
■ ラックマウントのしかた

ラックに取り付けるときは、別売のラックマウント金具 MB-15B を使用します。



■ 卓上設置のしかた

卓上に置いて使用するとき、付属のゴム足を本機の底面に貼り付けてください。



第 6 章

資 料

サンプル音源の再生

付属のメモリーカードには、BGM のサンプル音源が 10 曲収録されています。
本機のダイレクト再生機能を使って、これらの音源を再生・停止することができます。

【音源リスト】

ダイレクト再生登録番号	再生リスト名	再生 順	曲名	演奏時間
99	サンプル音源	1	Feel on the floor	2 分 17 秒
		2	Splash	3 分 21 秒
		3	Rainy afternoon	4 分 54 秒
		4	County dance	3 分 9 秒
		5	Cheese & wine	2 分 34 秒
		6	Old castle	2 分 40 秒
		7	Mountain air	3 分 29 秒
		8	Dear friend	2 分 44 秒
		9	Snowscape	4 分 50 秒
		10	No regrets	3 分 17 秒

【サンプル音源の再生・停止のしかた】

ダイレクト再生の操作（ [P.3-13](#)）で、「登録番号 99：サンプル音源」を指定してください。
再生開始操作から停止操作まで、リピートで再生し続けます。
サンプル音源内の曲を個別に指定して再生することはできません。

【ご注意】

- サンプル音源を NA-3000 以外の製品で使用しないでください。NA-3000 でのみ使用できます。
- サンプル音源を権利者に無断で複製または転用しないでください。

エラーコード

エラーコード	エラー名称	エラー内容	考えられる原因	対処のしかた
E02	CF 異常	運用メモリーカードが挿入されていません。	運用メモリーカードが挿入されていない。	運用メモリーカードを挿入してください。
E03		運用メモリーカードの容量が不足しています。	運用メモリーカードの容量が不足している。	運用メモリーカードの内容を見直してください。
E27	電源異常	シャットダウンを行わずに電源リセットもしくは電源断が行われました。	シャットダウンを行わずに電源リセットもしくは電源断が行われた。	対処のしかたはありません。 (次回から電源リセットもしくは電源断を行う場合は、先にシャットダウンを行ってください。)
E29	時計異常	内部時計がリセットされています。	電源断が 1 日以上続き、内部時計がリセットされた。	正確な時刻に修正してください。
E30		内部時計に異常が発生しました。表示時刻がずれる可能性があります。	内部時計へのアクセスに失敗した。	機器を再起動してください。再起動しても問題が解決されないときは、サーバー管理者にお問い合わせください。
E44	通信異常	IP アドレスの取得に失敗しました。	DHCP サーバーがネットワークに存在しない。	固定 IP アドレスに設定して接続してください。
			IP アドレスが競合している。	メンテナンスメニューの「IP 再取得」により、IP を再取得してください。( P. 4-6)
			DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスが不足している。	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
E46		通信タイムアウトなどにより DNS サーバーとの通信が確立しませんでした。	DNS サーバーアドレスが間違っている。	DNS サーバーアドレスを修正してください。( P. 2-7)
			サーバーがダウンしている。	時間を置いて再度接続してください。
			IP アドレスが競合している。	ネットワーク内の他機器の IP アドレスと重複しない IP アドレスに設定するか、DHCP 設定に変更してください。( P. 2-7)
			サーバー名が間違っている。	サーバー名を修正してください。
E55 *		通信タイムアウトなどにより NTP サーバーとの通信が確立しませんでした。	サーバー名・ポート番号が間違っている。	サーバー名・ポート番号を修正してください。( P. 2-9)
				HOSTS ファイルを修正してください。
			IP アドレスが間違っている。	機器の IP アドレスを修正してください。( P. 2-5)
			サーバーがダウンしている。	時間を置いて再度接続してください。
E56		NTP サーバーからの時刻取得に失敗しました。	NTP サービスがダウンしている。	サーバー管理者にお問い合わせください。
			NTP サーバーから渡される時刻が不正。	サーバー管理者にお問い合わせください。
E67		シャットダウン操作により通信が中断されました。	通信中にシャットダウンが行われた。	時間を置いて再度通信を開始してください。 (次回からシャットダウンを行う場合は、通信が完了してから行ってください。)
E70		通信タイムアウトなどにより、Web サービスとの通信が確立しませんでした。	LAN ケーブルが接続されていない、またはルーターが一時的に不安定になっている。	LAN ケーブルを抜き差し、またはルーターの電源を入れ直してください。
			サーバー名・ポート番号が間違っている。	サーバー名・ポート番号を修正してください。
			プロキシ設定が間違っている。	プロキシ設定を修正してください。
			IP アドレスが間違っている	機器の IP アドレスを修正してください。
			サーバーがメンテナンス中、またはダウンしている。	時間を置いて再度接続してください。
E71		Web サービスとの通信時に、Web サービスからエラーが返却されました。	Web サービスとの通信時に、Web サービスからエラーが返却された。	時間を置いて再度接続してください。
E72		ユーザー名、パスワードが間違っているため、Web サービスにログインできません。	ユーザー名、パスワードが間違っている。	ユーザー名・パスワードを修正してください。
E73		Web サービスからのファイルダウンロードがエラーにより失敗しました。	ネットワークが不安定のため、通信時にデータの欠落が発生した。	時間を置いて再度接続してください。
E74		Web サービスからのファイルアップロードがエラーにより失敗しました。	ネットワークが不安定のため、通信時にデータの欠落が発生した。	時間を置いて再度接続してください。

* 詳細エラー表示画面のエラーコードの右に表示されるコードはオプションコードです。
オプションコードでは、次のとおりにエラーの詳細がわかります。

● オプションコード

【詳細エラー表示画面の例】

右図の表示の場合、エラーコードは E55、
オプションコードは 01 です。



【オプションコード一覧】

エラーコード	オプションコード	内容
E55	01	HOSTS ファイルによって名前解決した場合
	02	DNS サーバーによって名前解決した場合
	03	名前解決しなかった場合

外部サーバー接続確認エラー一覧

接続確認対象	エラー表示 (ブラウザ表示)	エラー表示 (前面表示部)	考えられる原因	対処のしかた
共通	IP アドレスが正しく取得できていません。	IP 不正	DHCP が ON の場合：IP アドレスが正しく取得されていない。	メンテナンスメニューの「IP 再取得」により、IP を再取得してください。(P. 4-6)
			DHCP が OFF の場合：IP アドレスが正しく設定されていない。	IP アドレスを修正してください。
	デフォルトゲートウェイに到達できませんでした。	Default-GW 未到達	LAN ケーブルが接続されていない、またはルーターが一時的に不安定になっている。	LAN ケーブルを抜き差し、またはルーターの電源を入れ直してください。
			DHCP が ON の場合：LAN 情報が正しく取得されていない。	メンテナンスメニューの「IP 再取得」により、IP を再取得してください。(P. 4-6)
			DHCP が OFF の場合：LAN 情報が正しく設定されていない。	LAN 情報を修正してください。
	DNS サーバーへの接続に失敗しました。	DNS 接続失敗	DNS サーバーが正しく設定されていない。	DNS サーバーの設定を修正してください。
			DNS サーバーがダウンしている。	サーバー管理者にお問い合わせください。
	名前解決に失敗しました。	名前解決失敗	外部サーバーやプロキシ設定が正しく設定されていない。	外部サーバーやプロキシ設定を修正してください。
	サーバーが見つかりません。	アクセス失敗	外部サーバーが正しく設定されていない。	外部サーバー設定を修正してください。
			インターネットへ接続されていない。	ルーターがインターネットへ接続されていることを確認してください。
			外部サーバーがダウンしている。	サーバー管理者にお問い合わせください。
	サーバーリクエスト中のため、○○○*との接続確認ができませんでした。	なし	NA-3000 がサーバーリクエスト中。	時間を置いて再度接続確認してください。
	通信停止状態のため、○○○*との接続確認ができませんでした。	なし	メニュー画面で通信設定作業中または保守管理作業中。	メニュー画面での通信設定作業または保守管理作業を終了してください。
Web サーバー	ユーザー名またはパスワードが一致しません。	認証失敗	ユーザー名またはパスワードが正しく設定されていない。	ユーザー名またはパスワードを正しく設定してください。
	API へアクセスできませんでした。	API 通信失敗	Web サービスとの通信時に、Web サービスからエラーが返却された。	時間を置いて再度接続確認してください。
	テストファイルをダウンロードできませんでした。	ダウンロード失敗	ネットワークが不安定のため、通信時にデータの欠落が発生した。	時間を置いて再度接続確認してください。
	プロキシサーバーの認証に失敗しました。ユーザー名またはパスワードが一致しません。	プロキシ認証失敗	認証が必要なプロキシサーバーへの接続に失敗した。	認証が必要なプロキシサーバーには対応していません。

* 接続確認の対象サーバーが表示されます。

故障かな？と思ったら

症状	調べるところ	対処のしかた
電源が入らない。	AC アダプターと電源コードは差し込まれていますか？本体側とコンセント側と両方を確認してください。	電源コードを確実に接続してください。
	コンセントに電気がきていますか？	電気がきているコンセントを使用してください。
スピーカーから音が出ない。	音声ケーブルが抜けていませんか？	音声ケーブルを正しく接続してください。
	接続しているアンプの操作を間違えていませんか？	接続しているアンプを正しく操作してください。
	音量調節つまみが最小になっていませんか？	音量調節つまみで音量を調節してください。
雑音が入る。	音声ケーブルが抜けかかっていませんか？	音声ケーブルを正しく接続してください。
音が歪む。	テレビや無線機などからノイズが出ていませんか？	ノイズの発生源から離してください。
外部の曲と混ざってしまう。	ミックスレベルの設定が間違っていますか？	メニュー画面の音量設定でミックスレベルを調節してください。
サーバーリクエストができない。	ネットワーク機器は正常に動作していますか？	各ネットワーク機器を確認してください。 ネットワーク管理者に確認してください。
	LINK/ACT 表示灯が点灯していますか？	LAN ケーブルを正しく接続してください。
	特殊なネットワークに接続していませんか？	インターネットに接続可能なネットワークに接続してください。
指定した時刻に放送されない。	正しい時刻になっていますか？	正しい時刻に合わせてください。
	放送しているスケジュールは合っていますか？表示部でスケジュール名を確認してください。	スケジュールの内容を確認してください。
表示時刻がずれている。	調時（有極）入力端子を使用している場合、プラスとマイナスは正しく接続されていますか？	調時（有極）入力端子のプラスとマイナスを正しく接続してください。
	インターネットに接続する設定の場合、長期間データセンターと通信をしていないと、時刻がずれることがあります。	前面パネルの通信キーを押してください。 それでも正しい時刻にならない場合は、手動で時刻を設定してください。 ( P. 3-17)
エラー表示灯が点灯している。	機器の内部時計に異常が発生しています。「エラー確認のしかた」( P. 3-21) を参照してエラー内容を確認してください。	「エラーコード」( P. 6-3) で対処のしかたを確認してください。
エラー表示灯が点滅している。	機器内部で異常が発生しています。「エラー確認のしかた」( P. 3-21) を参照してエラー内容を確認してください。	「エラーコード」( P. 6-3) で対処のしかたを確認してください。

仕 様

電 源	外部電源 DC24 V (21.6 ~ 26.4 V)、400 mA、着脱式ターミナルプラグ (2P) または AC アダプター AD-246 (別売) から供給
消 費 電 力	10 W
周 波 数 特 性	50 Hz ~ 18 kHz、-4 ~ +2 dB (1 kHz 基準)
S N 比	73 dB 以上 (JIS-A)
歪 率	0.5%以下
セ パ レ ー シ ョ ン	70 dB 以上 (1 kHz BPF)
出 力 回 路	ライン出力 (L、R) : 0 dB*1、600 Ω、不平衡、RCA ピンジャック
入 力 回 路	外部入力 (L、R) : 0 dB*1、10 kΩ、不平衡、RCA ピンジャック 入力検知 : -30 dB*1 以上
制 御 入 力	フェーダー入力、機器ミュート入力、調時 (接点) 入力、制御入力 1 ~ 4 無電圧メイク (開放電圧 : DC30 V 以下、短絡電流 : 10 mA 以下) 調時 (有極) 入力 24 V、30 秒有極信号 着脱式ターミナルブロック (8P)
制 御 出 力	外部起動出力 1 ~ 3、ビジー出力、異常出力、制御出力 1 ~ 4 リレー接点 (耐電圧 : DC30 V、制御電流 : 0.5 A 以下) 着脱式ターミナルブロック (10P)
記 憶 メ デ ィ ア	付属品または NA-CF32G (容量約 32 GB) のみ (CompactFlash™ 仕様準拠メモリーカード)
メ モ リ ー カ ー ド 実 装 可 能 枚 数	1 枚 運用メモリーカード 1 枚 (32 GB) : 付属品または NA-CF32G (別売)
モ デ ム 接 続 I/F*2	シリアルインターフェース (RS-232)、D-Sub 9 ピン (インチねじ、オス)
ネ ッ ト ワ ー ク I/F	100BASE-TX、AutoMDI/MDI-X、RJ45 コネクター
時 計 精 度	月差± 30 秒以内 (20°C)
時 刻 調 整	NTP サーバーによる調時機能、手動調時機能、接点・有極信号入力による調時機能
操 作 表 示	LCD 表示 (日本語表示)
使 用 温 度 範 囲	0 ~ 40°C
使 用 湿 度 範 囲	20 ~ 80% RH (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	パネル : アルミ、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶、塗装 ケース : プレコート鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶
寸 法	420 (幅) × 44 (高さ) × 231 (奥行) mm
質 量	2.4 kg

*1 0 dB = 1 V

*2 Ver. 3 以降のファームウェアでは使用しません。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ CompactFlash™ (コンパクト フラッシュ) はサンディスク社の商標です。

● 付属品

メモリーカード (32 GB、サンプル音源内蔵) ...	1	着脱式ターミナルプラグ (8P)	2
着脱式ターミナルプラグ (2P)	1	ゴム足	4
着脱式ターミナルプラグ (10P)	2	小ねじ 3 × 12	2

● 別売品

メモリーカード	: NA-CF32G
AC アダプター	: AD-246
ラックマウント金具	: MB-15B

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ IP 電話からはつながりません。	
当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。		

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

202411